

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-89)、
廃棄物管理施設(64)、MOX燃料加工施設(2-50))」

2. 日時：令和5年8月23日(水) 13時30分～18時35分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他4名

九州電力株式会社

テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部 副本部長

三菱重工業株式会社

原子力セグメント 安全高度化対策推進部 主幹プロジェクト統括

株式会社大林組 原子力本部 設計第一部 担当部長

東電設計株式会社 土木部 耐震技術部 担当職

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年8月21日及び当日の提出資料に基づき、次回審査会合における説明内容等に関して、以下の事項について確認を行った。

- ・構造設計等の説明
- ・基準地震動に基づく入力地震動の策定

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・構造設計等の説明については、整理が進んだ内容、整理に時間を要した理由等を明確にし、前回会合からの進捗を説明する。その際、グローブボックスの構造設計等の説明に係る図等も併せて示す。

- ・ 基準地震動に基づく入力地震動の策定については、前回審査会合で説明した反省点を踏まえ、計画の全体像を示すとともに、今後どのように検討や説明を進めるか体系的に整理するとともに、具体の検討状況の説明においてもこの体系を踏まえて考え方や現状の進捗が明確になるよう説明する。本日のヒアリングを踏まえて補足説明資料で整理する事項も含めて対応方針を整理する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

「設工認申請の対応状況について」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃(株)から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年8月21日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	公開しました、規制庁ヤマグチリストそれではプライムから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:07	本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、また令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設の設工認申請について、
0:00:21	ヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:24	ヤマザキ町側の出席者を紹介しますと、本庁会議室からタジリハバサキヨコヤマオノカミデ。
0:00:35	ヤマグチitその他WEBから、
0:00:38	コサクフジワラオオハシオオオカキシノ。
0:00:42	以上。
0:00:44	コサク以上になります。
0:00:46	それでヤマザワ日本原燃の、日本原燃から出席者を紹介するつなぎラインの構成を説明している。
0:00:53	はい。
0:00:56	はい、姫野石田でございます。はい。本日のヒアリングのアイテムですが、
0:01:02	審査会合の抜けた資料の、
0:01:08	確認をさせていただきたいという案件と、あと耐震建物ではあります
0:01:13	前半部分の出席者をまず先ほどご紹介させていただいて後程耐震タケノ081からまた別途にご紹介をさせていただきます。
0:01:23	前半部の出席者ですが、日本原燃河内タイイングチームからケツクノモトイシハラでございます。
0:01:37	はい。
0:01:41	1点、説明をお願いします。
0:01:45	はい。新美イシハラでございます。はい。審査会合に向けてということで、資料の案を提出をさせていただきました。まずもって
0:01:56	21日に資料を出してましたのでも乾かない状態で、本日また出し直しをさせていただきます。
0:02:07	それぞれにその修正をした経緯、考え方なりを、説明をさせていただきます。まず最初に
0:02:15	21ページ以降の2ポツの方から説明をさせていただければと思います。

0:02:22	審査会合 2 ポツということで、第二課移設等に係る当面の説明方針ということでボックス閉じ込め業務に係る構造設計等の説明というのが 21 ページ 2 ポツのタイトルでございます。
0:02:35	この枠組みの話としまして 21 日にお出しをしたときから、22 ページは特段書いてます。23 ページ以降、
0:02:46	大きく修正をさせていただいております。
0:02:50	その考え方としましてはまず作った本人が言うのもなんですが、
0:02:56	前回の審査会合でどこまで御説明ができていて、今回どういう本来ステージであって、結局進捗が思わしくないのもまだ本来の姿になっていないと。
0:03:10	いうことをしっかりとまず念頭に置いた上で御説明の展開をすべきところ、最初の話も含めてですねいろいろごちゃまぜに説明を
0:03:21	21 日の資料ではしてしまってたところがありましたので今一度、
0:03:25	審査会合で説明している対象を踏まえた上で、今回の位置付けというのを、整理をさせていただいたということでございます。
0:03:34	入っている多くの細かい内容については順番を入れ替わったりしてることにはありますけども大きくは変えていないところですが特に 23 ページの頭のところのスタートがですね、前回 21 日オダしたところが大きく変わっております。
0:03:50	はい。
0:03:51	認識違いがあったところ、私自身に違いがあったところを是正をさせていただいて、再度お出しをさせていただきました。
0:04:00	前回の審査会合で設備等の構造設計の説明として、MOX の主要設備であるグローブボックスの閉じ込めがこの四条分だということも含めてかつ、グローブボックスに関連する一連の設計を、あるまとまりで、
0:04:16	説明をさせていただくということで、換気設備 1 回搬送設備、ラックピットだといったものの構造設計等を合わせて、一番トップバッテリーの説明項目として、説明を今後しますと。
0:04:28	優先的にさせていただきますという話をさせていただいてました。前回のステージからいきますと今回の審査会合で本来であればこの部分の、
0:04:38	説明をですねさせていただく日、
0:04:41	ことになるはずだったという認識をしておりますそれが
0:04:45	整備方針への説明方針等の整理に時間を要して、現在まだ説明できるステータスになっていないということでございます。

0:04:54	何時間がかかっているかというポイントが、23 ページの下から、下の二つ目三つ目、四つ目のポツだと認識しております。
0:05:06	一つ一連の設計がどう関連していったというその関連性も含めて、
0:05:13	インプットアウトプットの関係を明確にした上で構造設計等を説明すると、体系的な説明というのを、どう示していくかというところの検討がまだ
0:05:24	詰め切れてない部分があるということ。
0:05:26	あと全体の仕組みの中で 2-1 のシステム設計構造設計等に係る説明を、まずはやった上で 2-2 につなげるということでしたが結局、
0:05:39	具体的な設備等の設計をどう説明していくかという時に、評価を完全に切り離して説明することができずですね、評価のことを考えた上で構造設計として示すべきことがないかと。
0:05:50	いうことをしっかりと念頭に置いて抜け漏れなく整理をしていく必要があるということで、そういった整理のことも、時間をかけてやらせていただいているという点。
0:06:02	あとは、網羅的かつ合理的な説明をするという意味で、
0:06:08	いろんな分類額を持ち込んで、まとめていくということをやリかつ、その中で、類似性をもって代表を選定して説明していくというやり方ですね。
0:06:18	そういったことの示し方というのも、今、整理示し方のところの整理を
0:06:26	進めさせていただいているというところかと思っております。
0:06:29	こういうところがある程度決着がつけば、24 ページの、
0:06:35	今後の対応に書いてある通り、床のグローブボックスを含めた一連の設計構造設計等の説明を、
0:06:42	させていただけるステージになるという認識でございます。
0:06:46	可能な限りできれば次回に、そういったことが説明できるように持っていきたいということ、あとは
0:06:55	前回は結局資料に何も書かずに、再処理もやるんですよというやりとりがあった通り最初のこと結局まだ置き去りにされている部分ありますのでそういったことも含めて、
0:07:07	しっかりと対応を進めていくということで 24 ページをさせていただいております。
0:07:13	25 ページにありますのはその設計だけでなく評価も含めた全体の体系的な整理と、
0:07:21	いうのを、今構造的設計等の説明としてどう説明していくかというところをイマセ整理しているさまをですね、25 ページに、

0:07:30	体系的なという意味で全体の思想を示させていただいているということ でございます。
0:07:36	今回、そういった検討を進めている最中だという状況をですね説明させ ていただくという意味で、
0:07:43	参考 1 というのが 26 ページでございます。26 ページの次の 27 ページ 以降が前回の審査会合でもご説明した説明グループをいくつかに分け て、
0:07:54	優先順位を決めて段階的に説明をさせていただくという、まさしく今回本 当は説明するはずだったのが 27 ページの説明グループ 1 ということだ と認識をしています。
0:08:06	今、時間がかかってそんな、どういうところを工夫しているのかというところ の舞台を、この後、参考 2 の中でも含めて説明させていただこうと思 っているのが、
0:08:17	27 ページの青枠でくくってあるイセ説明グループ 1 の中の項目の一 番、
0:08:23	グローボックスの関係で、具体的なイメージというのを示させていただ こうと思っております。
0:08:30	それ以後の説明グループアダチナガタ再掲の感じになりますので、あく まで参考ということで参考一番につけさせていただきました。
0:08:38	で、参考 2 というのが 31 ページ以降でございますが、こちらが、
0:08:43	先ほどの、
0:08:44	あった。
0:08:48	25 ページにあった、体系的どう構造設計等を説明していくかという中の それぞれのアイテムで、どういうことをやることによって、
0:08:58	網羅的かつ合理的な説明につなげていくのかというところを、32 ページ に資料 1 の話。
0:09:06	33 ページ、34 ページ資料 23 と。
0:09:10	そういうところの繋がりの話。
0:09:12	35 ページ 36 ページは三十三、四の繋がりの評価との関係というのを 整理の仕方、
0:09:19	いうのを示させていただいてます。
0:09:22	前回もやりとりがありました審査会合ですので、公開の場で、
0:09:28	図も使いながら説明できるようにということで今、34 ページなんかは、
0:09:34	公開できるような図ということで実際は共通順位でお示するのは図面 をそのまま付けてますけども、

0:09:42	図面に代わるものとして、
0:09:45	その1階構造がわかるような図ということで、差し替えて今展開をしているということでございます。
0:09:54	はい。
0:09:56	現状の生活、あと時間がかかっているポイントがどこか、プラス、今後どうしていきたいのかと、いうこと。
0:10:06	を、説明をしたいというのが大枠でございました。説明以上でございます。
0:10:12	長山内です。
0:10:14	ちなみにあの今画面共有されてる資料って本日、提出版で間違いないですかね。側で確認をお願いします。それでは
0:10:26	これまで決めにに関して規制庁側から確認をお願いします。
0:10:32	田尻です。結局のところ前回会合でやるって言ってたところから何が進んだのか、何時間かかっているのかをはっきりと言っていたかということなんだと思うんですけど。
0:10:43	まずちょっと1点、認識の確認なんですけど藤さん、23ページ以降のところ、
0:10:49	ちょっと関連してでいうと
0:10:52	27ページ目なんですけど、今回グループ4月5日付という形になっていると思うんですけど、
0:10:58	グローボックス単体っていうとある程度ものも用意できてきてるけど、その関連するものについてはそこまで説明してとりあえずグローボックスを例にっていうぐらいのイメージかと思ったんですけど。
0:11:10	今、ブロックボックスはどのような状況だっていう説明になっていたっけ。はい。与儀西原でございます。はい。23ページで書いてあるパッケージがあくまで、説明単位だと思っておりますのでそういう単位で説明をするということに対して現状の
0:11:27	状況というのを示すようにグローボックスを例として、現状のまとめているさまを示すということで考えて付けさせていただきました。これが説明をせ設計を説明してるというつもりではないです。
0:11:40	一応、同じです。詳細な部分はともかく、グループ団体であると一定程度進めている状況というのが前回の進捗なのかなと思ってたところも多少あってですね
0:11:52	要は何かっていうとさっき言った後ろの方のページで、

0:11:58	表参考 1 の頭のページんとこでグローブボックスですっていうふうにごこ行ったらグローブボックスってキタノねっていうのがわかるんですけど、その前のページが、結局何を説明してるのかというところがそこが見えづらくて。
0:12:10	23 ページに書かれてるのも、あわせて説明してみますよっていうところだけ書かれていって要は、今回でどこまで説明できるのっていうところがはっきりしないのでその点ははっきりしていただいた方が、
0:12:22	何も久喜や要はこの説明だと前回何も変わってないような感じになるので、はい。そのうちこういった部分ところまでは整理できてるけれど、まだできてないのも当然あるんですけどこういうところまでできましたよって、
0:12:34	そこのところから見て何に時間がかかったのかっていうところをはっきりしていただければいいのかなと。うん。23 ページも時間がかかったっていうのが累計のところだけが時間かかった雰囲気になってるんですけど、
0:12:45	どっちかっていうと最近そっち話題になっただけでその手前もかかってましたよね。はい、弓削西尾でございますはいさんをおっしゃっていただいている通りかと思しますので、はい。
0:12:54	特に資料 3 の②とかで、どこまでどういう形でその構造設計等として示すのかっていうことの、記載いいの。
0:13:05	なんてそういう観点からといった書き方というか、そういうところにも時間がかかってたのは事実でございますグローボックスに対しては、まだ直さなきゃいけないところもありますけど一定程度、
0:13:17	まとまってきてるという様でもあると思うので、そういうステータスであったりがちゃんとわかるように、示させていただきます。はい。はい、規制庁さんニイツ、そこで要は時間かかったところに対して参考のところでもグローボックスだけのルールはあるけれど、こういうふう整理ができて見えるようになってきた
0:13:33	っていうので、多少の進捗したんですよというふうな説明をされるんですよ。
0:13:39	だと思う。何が今状況として起こってるのかしらと前回会合が 6 月ですか、6 月から結局どうなってるのかっていうところがわかるようにしないと多いと思うんでその辺はよろしく願いいたします。
0:13:51	はい、与儀イセでも財務省としました。
0:13:57	成長タジリです。

0:13:59	ざっくりとは、すみませんちょっと今日来たやつの方で言うと続くさっき始めてしまったので他の方あれば先お願いします。
0:14:08	今の、
0:14:10	話で
0:14:11	参考1で、
0:14:17	共通12の、
0:14:19	参考資料的なものになるんですけど、
0:14:23	グローボックスの資料3②そのものみたいなのを出すつもりはない。
0:14:29	はい、弓削西田でございます。はい。
0:14:33	おっしゃっていただいている資料3の周りが正しく具体として整理に時間がかかり、かつ今、グローボックスについてはある程度
0:14:41	記載の、
0:14:43	四方というのも、
0:14:47	我々として検討できてたかなというところなんで資料3の②、前回もお話出たように34ページみたいな、図のところでは公開できる形でっていうのがどこまでできるかっていうのを今精査してますけども、
0:15:01	資料3②自体も、つけさしていただくかというふうには思っていました。
0:15:09	はい、蘇武です。そうだとするとどういうふうに入っていきますかっていうのが、イメージが湧かなかったんですけど。
0:15:17	はい、よろしいでしょうか。はい。姫野イシハラでございます。
0:15:20	一つ23ページのところでの現状認識ですかね、のところをまずしっかりと書いた上で、構造設計等として
0:15:33	どういう視点で、どういうものを整理して示していくのかというところをグローボックスに対して、詰めてきた様。
0:15:42	というのを言った上で、その
0:15:45	ターゲットを紐づけるために、25ページが27ページでグローボックス説明状況を説明しますよと言って、
0:15:54	具体的な
0:15:57	今の形成果物として、資料3の②等の2、飛ばすというイメージで考えてました。
0:16:07	そこです。具体的に言うと、25ページの次に繋がってくるのか。
0:16:12	2の後ろにつくのかどっちですか。
0:16:14	はい、乳井西原でございます。25ページでも、27を先に言わないと、

0:16:21	もう炉心状態ですけど、27 ページの要はグローボックスを今回やるんですよっていうのを頭に書いてしまえば、参考 1 っていうのは、行政が多分一気に下がってきててもよくなるんじゃないかなと。
0:16:33	お聞かせいただいたらありがとうございます。すいませんでした。はい。そういう意味ではグローボックスについてのことを今回の状況として説明をしますよと言った上で 25 ページの次に、
0:16:44	ここで言ってる、詳細説明図っていうんすかね。資料 3 の②のところの該当部分を、現状の整理様として見せるという形で考えたいと思います。はい。
0:16:58	はい、わかりました。その時には、
0:17:01	3、資料 302 の目次も含めてっていうことでいいですかね。はい。日本イシハラでございます。はい。そこが正しく条文間の関連性だったというのとあとグローボックスとしてどういう視点で、
0:17:15	構造整理をして説明すればいいかというポイントになると思いますので目次も合わせて展開をさせていただこうと思ってます。
0:17:24	はい、藤堂です。わかりました。
0:17:26	それ先ほど公開できるようっていうふうに言われましたけど、資料 3②グローボックスだけでもそれなりのページ数になるんですけど、どれぐら
0:17:40	対応するつもりかとか、
0:17:42	今日、
0:17:44	はい。日本原燃石原でございます。
0:17:49	少なくとも次、月曜日ですかね、にお出しをする時にはどこまでの範囲が出せるかっていうのは確定した上で、
0:17:59	お出しをしようと思ってます。実際、すでにどういうもので、が差し替えられるかもう作業を進めていますので、全く今全く手つかずというわけではないですねそこも含めて、示せると思ってます。
0:18:17	はい、わかりましたよろしくお願いします。その時に、幾つか一絞られるんだとするとですねできるものってことではあるんですけど、
0:18:29	条文間関係してて、検討したこととかですね。
0:18:35	そういったところが見えるように、異種といアノ、そういうものが除外されちゃうと、議論できなくなっちゃうので、
0:18:41	ちゃんと論点のところっていうのはわかるようにしてください。
0:18:45	はい。人間必要でございますはい。おっしゃっていただいたように大事なのが、

0:18:52	支持構造のところとか、豆腐負圧とか閉じ込めの関係で、換気システム設計の絡むところとか、そういう部分が抜けないように、
0:19:02	うまい具合というか、考えたいと思ってました。はい。
0:19:29	補足です。阿藤。参考1なんですけど、
0:19:33	これ、
0:19:35	本説明グループで説明しない条文というのを削ってきてるんですけどそれって何ですか。
0:19:50	はい。
0:19:51	右のイシハラでございますはい。
0:19:53	これこんな形がすいません私がミスリードしちゃったかもしれませんけど、ええとですね。
0:20:01	最終的に受けるところで、キャッチアップしてる様を見せようと思ってですね、
0:20:08	関連条文で別のグループでやりますよって言ったやつが、最終的に集結するところに、全部固めた。
0:20:18	形にしたつもりです。ちょっとそこが、すいません前回のやりとりを踏まえて私が、
0:20:25	方向性を見誤ったかもしれません。はい。
0:20:31	ちゃんとパス出しはしなきゃいけないので、これだとグローボックスでこれまで関連し、当本グループで説明しないって言ったやつが、対象条文じゃないって思ってるっていうふうな意思表示が見えちゃうので。はい。はい。
0:20:45	はい。ちょっと細かくなっちゃいますけど、
0:20:48	何らか入れといていただいた方がいいかなと。
0:20:51	はい。新居上西でございます。はい。承知いたしましたすいません。
0:20:58	かなりのミスリードしたかもしれません。はい、承知しました。はい。
0:21:02	はい。補足です。あとわあ、アンダーラインの引き方が、
0:21:09	ちょっと危ないなと思うのは、
0:21:11	グローボックスのところ2耐震でアンダー引いてますけど、最初に説明し切れるわけじゃなくて、
0:21:19	何の、何の説明が包含できてるのっていうことまで言わなきゃいけないと思うんですけど。
0:21:27	はい、インフォメーション、そうですね。おっしゃっていただいたように代表で説明はしながらもさ分も含めて全体キャッチアップできるのがどこかっていうところも含めて、整理をさせていただきます

0:21:41	そこがさっき言ったように一番右の欄を削ったことよっての、
0:21:46	弊害な気もしますので、
0:21:51	はい。考えます。はい。すいません。
0:22:13	規制庁谷です。ちょっともう1個
0:22:16	下から二つ目
0:22:18	でなんですけど、
0:22:20	それに関しては、
0:22:22	整理しているっていうのは、やろうとしてますよぐらいの意味合いでいい ですよ。いや、ちょっと語尾が微妙にみんな違ってて、何がよろしいで すね。はい。西原でございます。
0:22:35	はい。そこも統一的に書きいいようにします
0:22:40	おっしゃって大体そういうことも整理をしているというステータスを行って ないんですが、
0:22:45	ちょっと、なぜ25ページのように資料構成としては資料4みたいなを立て て解析評価の説明をするっていう考え方をやってるもののその具体 に関しては今後整理して説明しますっていうのは追っかけていいじやな いかそういう状況ですよっていう。
0:22:57	確認ですはい。人間のインダでございます。はい。おっしゃっていただい てる通りですアプラスちょっとうまく書ききれないですけど、25ページ で資料2の段階で構造設計とかの評価っていうのも挙げて、それを、
0:23:11	資料4に跨ってそういうところの整理もしてるっていう意味で書いてまし た。はい。
0:23:15	規制庁谷です23ページで要は今回グローブボックスについてはって いう説明していく流れになったときにそれが2-1名のところですよって いうことだと思うので
0:23:24	どこができて今どこやってというかbarrierしていただければと思います 。自分から以上です。
0:23:32	規制庁コサクです。今で言うと、文章もちょっと整理が必要かなと思 うんですけど。
0:23:37	2-2の説明についても体系を主体として整理をしますっていうのは、 それはそれでやってることとしていいんですけど。
0:23:48	それ一をやらなきゃいけない理由としては、2-1の中で評価 を踏まえて、考慮すべき設計の内容っていうのをちゃんと説明する っていうことであって、

0:24:02	なのでそれを踏まえて評価に繋がるっていうのを先ほどの図でも示すということなんですけどそこが書きあらわされてないんですよね。
0:24:10	それを変えたことによって、先ほどの関連の図があり、具体的に資料3-2の、この部分で評価を踏まえた、
0:24:20	ゴトウを設計として整理してますっていう説明になるんだと思うんでよろしくをお願いします。
0:24:25	はい。新居上西でございますはい。ありがとうございます。はい。自分でしゃべりながら書いてることになってない計画ということではいありがとうございます。修正をさせていただきます。
0:24:40	山内です。他ほどポツに関して規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:24:50	よろしければ、スポーツの対象外と井清長っらしいんですけど、振り返りの方がいいですかね。ちょっとは何か、どのタイミングでやるかだけなんですけど、
0:25:04	はい。
0:25:05	乳井瀬谷でございます。はい。
0:25:08	ここで、そうですね。振り替えさせていただいた方が経路が変わるので、
0:25:13	はい。乳井西尾でございます。はい。
0:25:17	まず、23からの流れで現状、今回説明する対象物をまずしっかりと明示をするということ。
0:25:27	あと特に2-2の絡みのところは現状のステータスっていうのは何なのかということとどちらかという2-1の説明の中で、評価が絡んできてそういったところもぜひ体系的に整理をしないとイケない。
0:25:41	いう状況に今なっているところをしっかりと明示をするということ。
0:25:46	と思います後は全体的に記載のトーンが合っていないので、そこを整理をさせていただきます。あとの今回、その何を説明するかっていうので現状せ、整理を進めてよさとしてグローブボックスに当貸していつてるけど整理が進んでいるところの様として、
0:26:03	25ページで言う詳細説明図を例にして、具体の整理をしているさまをつけさせていただいて説明をさせていただくということ。
0:26:13	等そういう意味で25ページ以降の参考1の位置付けが若干
0:26:20	ウミガメなくなるので、参考としてつけにしてもここに対しては
0:26:27	前回まで一番右側にあった別のグループで説明すると言った関連条文ですねこれが抜け漏れがないようにということでその中で明示をした上で、全体が網羅的になっているということを示すということ。

0:26:40	あと下線で引き方でここで説明が終わりますといったところの位置付けがですね、
0:26:47	全体的には、共通的である条文点があるのでその説明がどう展開されるのかっていうのは、一番右側の穴を元に戻すことによってそこも含めて、イメージができると思いますんで、
0:27:00	整理をさせていただくということかと思います。
0:27:03	はい。
0:27:05	以上です。
0:27:08	規制庁変わります。
0:27:13	なければ、1 ポツ開始について説明をお願いします。
0:27:17	日本原燃野本でございます。それでは、1 ポツの基準基準に基づく基準の策定、今までの方ですけれども、とぴあの方を、
0:27:29	谷コサクなってる。
0:27:31	今後、
0:27:34	またちょっと今日採決させていただいてる状況でございます。
0:27:39	等ですねこれちょっと社内でも議論しておりましてまたちょっとここからですねまた手を入れていかねばならないという議論もしてるところでございまして、
0:27:50	まずはですね本日のバージョンで水木監査部をご説明いたしまして、それからちょっと今後また知恵を入れる必要があるかなと思っている項目を少しすいませんちょっとアノを述べさせていただきまして、ご説明、
0:28:03	いただくというふうに思います。ですね、同じですか。21 からの差分は特にじゃないんで。はい。今何か言ってある。
0:28:13	ずっと。
0:28:15	だけ。
0:28:19	時間差分じゃなくって、今どういう形になってるか。
0:28:23	いうところでのご説明に差し上げたいと。
0:28:27	それではですね六条研究は自分の大任町のところですので割愛させていただきまして、6 ページからが説明でございます。
0:28:37	6 ページの
0:28:38	ところが 0 関夏井 1 ポツということで、2 番までの検討方針。
0:28:45	いうことで記載してございまして 6 ページの方がですねこれまでの経緯と、それから反省を踏まえた対応ということで、このこれまでの経営のところを説明させていただいてると。
0:28:59	ところでございます。

0:29:01	で、7 ページ目のところがですね、今回、今までの設定における対応方針ということで、当然、られてるデータをすべて持っているんであると、いうことを書いているところと、
0:29:12	それから、今、木津主事おりましたですね、4 日を策定するに至るまでのですねプロセス的なところを少し概略的に述べさせていただいてるところでございます。
0:29:26	8 ページがですね今回の御説明の骨子を全般、全体像としてお示しするつもりのものございまして、ABC、DのA41、
0:29:37	につきまして、御説明ですね、入れさせていただいているところございましてそれぞれのですね、前回の検討と今回の検討のステータス、
0:29:47	というものを記載する形にしておりまして、前回からのですね、
0:29:54	すいません、今回の説明する内容それから追加検討で今後ご説明する内容というのがございますので、それぞれが項目ごとにわかんなかった規定と、
0:30:04	ということで記載させていただいてるものがございます。この公開で先日御説明という項目について、以降をご説明するという立て付けにしております。
0:30:14	で、9 ページ目がですね、こちらが株の減衰拠出についてのご説明内容でございまして、これはですね、前回のご説明事項はもう走らせていただきまして今回の御説明機構と、
0:30:28	ということで、地震観測記録を用いた評価結果の中でですね、この現在、一次の干渉法も用いた検討をするということとした時には大事な点の追加検討をやっている。
0:30:44	ということにつきまして、述べているとともにですね中央についての結果がえられている状態であるということでそのデータをお示しているものがございます。それとともにですねこのですね検討の中で、この実際のですね、
0:30:59	減衰の検討といたしまして、最もですね地盤の実態を反映したパラメータ設定という選手は、このフィギュア形が最もものを反映してるものであるねと。
0:31:13	というようなところを分析結果を示しているところでございます。
0:31:16	で、
0:31:19	次のページなんですね 10 ページのところですねこの 9 ページで設定した懸垂の日にあたってのアノ減衰を、実際の 8 番は遺産払い出し設置したものを踏まえまして、

0:31:33	施設の設計に用いるパラメーターとしてですね、この
0:31:40	一定限っていうか、ものを実設計に考慮するというのも踏まえまして、
0:31:48	入ってきやすいの設計としては、これが
0:31:53	講習としてですね、想定した結果が、その次にをとってきた結果に比べましてシミュレーションで、案A等を一定年数の方が、保守側の結果を与えるというところの関係性を示しているものでございます。
0:32:10	こういうふうな案と中央道の検討結果をお示した状況と言うのを、をここでまとめていくとともに、ニシノヒガシについての、
0:32:21	の整合性に今ちょっと課題が残る状態であって継続して検討して参りますと、いうことを、ここではさせていただこうというところでございます。次回以降にヒガシについても、このをですね、検討結果を示して参りますと、
0:32:37	いうところをここでお示しをしているものでございます。
0:32:40	次にですね 11 ページ、12 ページのところが続いて、1034 ページ、ここがですね表層地盤の検討のところでございます、
0:32:52	こちらでアノシマちょっとですね全回位の説明事項と今回新たに説明した事項がちょっと混在してる形になるので、なっているのでもっとここは今後ちょっと整理したいとは思いますが、
0:33:05	概ね申し上げます。ところが、11 ページの冒頭で、今回の設計の方針をまず述べた上で、11 ページの下半分といいますか下 3 分の 2 と、12 ページで埋め戻し等の設計、
0:33:22	検討者機構と請求条件、それから 13 ページ、14 品流動化処理についての検討内容を示してるところでございます。
0:33:32	で、今回追加してですねご説明し、ご提示してる内容としては 11 ページのところの品質管理記録での検討を行いましたというところが、ざっくり申しますと、ここは
0:33:46	決定するところでそれで、
0:33:49	施行されている単位でありますね大別できたときに、これ
0:33:56	統一の定義に従ってやることが確認できましたと、そういうところをここは安心してらるものでございます。12 ページは前回の
0:34:07	木本安東様でございます。
0:34:10	13 ページは流動化処理等の施工状況管理方法でこちらはですね測候所単位が少し下がってございますんで字体ごとに施工管理状況というのを確認したと。

0:34:21	いうところでございます、そうしますとこの施工管理のですね、この基準が、大きく分けてちょっと2種類の工事があったということでこういう単位ごとに、
0:34:32	これは表層の物性値をですね、設定することにしたといったようなことを、14ページでは、%伸びているというところでございます。充実がされておるところで、最後、結論をまとめている。
0:34:47	いうところになってございます。15ページが今後の対応ということで、今回ですね、下水業者について、今後は西側東側の地震観測記録を用いた評価を実施していくということと、
0:35:02	それから追加調査として実施して参ります岩盤部分の減衰定数表層部分の分析これデータ取りまして、分析を発揮して参り、
0:35:11	それが終わった後に、基本地盤モデルとしての総合評価を、
0:35:15	言ったような流れでご説明してるところで、
0:35:19	その後ろにちょっと幾つかつけてございますけども、前の21日にお出ししたところからですね、もうちょっと状況じゃないと思って、はぐったところなんかはですね少し少しすべてちょっと後ろにちょっと残してしまってますけれども、
0:35:32	ちょっと手としまして、節を必要なものは削除していきたいというふうにご考えてるところでございます。
0:35:38	ご説明以上でございます。
0:35:43	はい。
0:35:47	一応、海越やってから08母屋やるってことなんですかね、とですね、一応そうですね会合資料を、
0:35:58	08キタノ分譲を一昨日お出ししたところですのでまだご確認をいただいている最中かとは思いますが。
0:36:08	ので、
0:36:10	今も確認いただいているところも踏まえて、ちょっとどこまで今日やらせていただくかもご相談かなとは思っていたんですけども、
0:36:19	はい。はい。とりあえず、介護資料でわかんないところは、補足も見ないというところに関して見つ、
0:36:30	一応、08については来週の月曜日になるので、それに向けて話ししておきたいようなことがあれば、今日来ますし、こちらも、
0:36:40	本文ぐらいまでは一応見て、的な話をしてってということで、あまり
0:36:47	切り分けを進めていくと。

0:36:50	はい、承知いたしました。そうしますと、ヒアリングの立て付けといたしましても介護資料の確認と、08 のヒアリングともう今、一体ともうやっていただく。
0:37:02	具体的な話で恐縮なんですけど。はい。おんなじでいいと思いますけど何か、そのの。
0:37:10	何だろう。分けたいな、大事なんですか。いや最初はね、出席者言うだけ。
0:37:16	出席者じゃあ、出席者の紹介を耐震パートってことで会長と08一緒に修正しちゃったわけですか。はい。
0:37:26	はい、じゃあちょっと改めまして地盤のパートになります審査会合資料の方と、一昨日お出ししております耐震建物08ーカトウにつきまして原燃側の出席者を改めてご紹介いたします。
0:37:37	日本原燃の李ケツク榎本、オガセヤマグチ、大林組よりワダさん東電設計より植野様三菱重工よりサトウ様と九州電力よりアカシ様。以上の1、3社
0:37:49	八名、出席して、
0:37:55	はい、そうでしょうか。介護指導の話からしていければと思いますけど。
0:38:03	まず、今回の会合の
0:38:08	位置付けというか目的というか、何の話するのっていう話。
0:38:13	一応前回、
0:38:15	もうその話はやって、減水がまだイマイテですね、ちょっと話等、
0:38:22	競争もまだ、
0:38:23	いな強かったじゃないですか。はい。で、今回、幾つか話があるんですけど、
0:38:30	何が終わるのかっていうのがよくわからないんですよ。これで、一体どの部分の話が全体の中で、
0:38:37	この話って何かね。
0:38:39	よくわからないんですけども。
0:38:42	1ページとかですかね。そうですね。その辺のまずたてつけというか、日付を、
0:38:48	今おっしゃった日本原燃の方でございます。今おっしゃっていただいた今回のステータスを明らかにする意味で8ページですねちょっと作ってみるところなんですけれどもこちらで、

0:39:01	本日説明というふうになっているところが今回のご説明事項の進捗ということになってございましてこれを今回、規制庁さんにご確認いただくと。
0:39:11	いうたてつけのものになるかなというふうに考えてございます。はい。日本原燃ケツクですちょっとサポート補足させていただきますと、タテとシマダ 4 イシイのうちの上の二つはもうこれ完了というステータスで我々考えておりますんで、
0:39:25	Cにつきましてはですね
0:39:28	前回の会合ですらね約束した観測地震動のデータをもう少し精査するといったところ、ここにつきましては、地盤でいきますと中央だけが終わって、西ヒガシもできていない状態であると。
0:39:42	言ったところ、これができれば一通り見通ししての替えられるかなと思ってやっていたところですけどまだそこができていないと、プラスしてですね、やはり田嶋ヤノ田島井というか
0:39:53	あるデータでは評価はしたんですけども少し補足した方がより精度が高くなるといった思いから追加調査もやろうと考えてます。ただし、この追加調査というのは少しボーリングを掘ったり、
0:40:05	スルー関係上ちょっと年通して年内いっぱい掘ったり、分析したりかかるので報告が1月になるかなというようなステータスになると。
0:40:15	一方Dのすみません、一旦そこで当初、
0:40:20	今説明あったのはcの減衰に関して、この表を見るだけだと、はい。
0:40:27	1月になんないと決まんないのかなと思うんですけど、そうじゃないんだよっていうことなんですね。見通しがっていうの説明があったので、
0:40:38	何か見通しがえられるらしい。
0:40:42	ということですね。今、中央は原燃的には見通しがえられた。
0:40:48	はい。
0:40:49	その見通しを我々も確認をして、うん。本当はね見通しとタテっていうのを今回やりたいと思います。見通しのところですけど中央だけで、地方の値をちょっと見通すというのは、
0:41:04	ちょっと早いかなと思っておりまして、やはり西ヒガシ、
0:41:08	と、トータル合わせて、減衰としての見通し、
0:41:12	当然、エリアに答えとしてはわかるかもしれませんが、中央のところは一応分析まで終わってました。結論をここで今回審議していただくんではなくて、西と東、できていない西と東、

0:41:25	合わせもって、来月、我々のもくろみですけども来月に、そのところいろいろ議論させていただきたいというような状況で我々今中央が、
0:41:36	一通りは終わりましたというご報告だけになって、そのぜひっていうのは次回かなと思ってる。
0:41:42	はい。そういう結果です。
0:41:44	それはあれですね今の8ページだと読めないんですね、今日は終わったそうですよね。
0:41:53	ということなので今のお話であると、
0:41:58	中央に関しても、もうちょっと待って、西ヒガシが出てからじゃないと見通しは、話ができないとなると、はい。
0:42:08	状況紹介だけ。
0:42:14	ということですね別に
0:42:16	これは駄目だということではないんですけど、
0:42:20	ちなみにですね、規制庁カミデですけど、
0:42:24	今、原燃が行っている。
0:42:26	Cポツ、減衰の、
0:42:29	見通し中央、
0:42:32	西ヒガシも見ても見ないとわかんないって言ってましたけど、
0:42:36	見通しらしきっていうのは、あれ、10ページでいう6.8%っていう件数が、
0:42:44	見通しであろうという数字なんですか。
0:42:47	結論は出してませんが、この数字ではなくて、これに、
0:42:53	現在のことです。すいませんないといけません。江藤さん、これでピンぽつの見通しが、今日でいうと6.8で、
0:43:01	そのあと設計費を設定する。そうですね。
0:43:05	なろうっていう。
0:43:07	ことになりは、すいませんちょっとナカに申し訳ないですなりはしないのかなと私はちょっと気に用いるは設計に用いると思うと、今カミデさんがおっしゃってるような見通しを得るっていうところまでは、今日は、
0:43:23	一応答えいイダ干物にたどり着いたというご報告になって、
0:43:31	うん。
0:43:32	ということになるんですけども、ただしそれを設計に用いる値ではない。それはもうBぽつの方で、はい。

0:43:40	はい、古作です。はい。すいません、こちらで議論してるぐらいだからもうどうしようもないんですけど。
0:43:46	bぽつだというんだったら、1月になるわけですよ。そう。1月になってから買い付け始めてくださいねっていうですね。
0:43:56	すいません。私どもの意見は出ませんが、
0:44:00	見通しというのは、我々、次回はたいと思ってますまだ、入戸ヒガシ出してない。
0:44:08	時点で申し上げて申し訳ございませんけど、その時には設計に用いるのはこの値で、この値を考えておりますと。
0:44:16	いう見通しは言いたいの、これは6.8ではないです。
0:44:20	全農ですちょっと私の認識が間違っておりましたここで書いてるときには、入力地震の算定における地盤モデルのパラメーターですから、これ設計で用いる値としての見通しということで、
0:44:31	書いておったところをちょっとすいません私頭がちょっとついていけないということは今理解いたしました。失礼いたしました。
0:44:37	はい。補足です。わかりました。で、Bポツで言ってる設定って言ってるのは、実態はAぽつでも設定してるんだけど、まだ仮なので、最終判断するのは、成果調査の結果も踏まえて判断しますっていう意味合いですか。
0:44:53	辨野でございます。はい。相当でございます。
0:44:58	はい、そうですねわかりました。で、追加調査って何だよっていうのはどこに書いてあるんですか。具体内容じゃなくて位置付けてことなんですけど、これでいい。
0:45:09	見ますと、
0:45:10	結果調査として上のですね①のところでは追加調査としてということで檀関川を用いた減衰評価で②のところですよ。ごめんなさい。だから、内容じゃなくて、
0:45:23	ここで追加調査としてって書いてある心は何なんだっていうところを全然説明してくれないから、ここは無理なんだって聞いている見通し終えた値の整合性を確認するためにちゅうか、
0:45:35	必要だという、
0:45:40	ちょっと必要なんだっていうことですけどね。
0:45:46	今あるデータにするには十分ではあるものの、不安はあるっていうことのような感じではありますけど、それをちゃんと整理していただきたいということです。

0:45:56	それ分はそれをどこに書くのがいいですかね。
0:46:02	素直に、出野でございます諏訪高本も都丸さんのBポツの説明のところで、ちゃんと前段として、
0:46:12	上の見通し等を十分なデータに基づいてやるんだけれども、より確度を高めるとい、言いますか確かめるために、江藤を
0:46:27	追加調査を行い、それを踏まえて、最終的な総合評価で設定するということまで、
0:46:34	何キロということなのかなというふうには思いました。
0:46:40	後続です。③でって言われると①でもう追加調査できちゃうんだけど、しません。
0:46:48	今日、マイナーな対応で言えば追加調査のところに※でも振って、その趣旨っていうのを、段階で書いていただくとか、
0:46:57	ですけど、ここであれば最初にしっかりと方針としてそういうようなプロセスでやりますよと。
0:47:03	いうのを行っていただきたい。
0:47:05	です。極力7ページだとか、もっと前だとかっていうことになりますけど、
0:47:11	まず場所は検討いただいて少なくともその趣旨は書いてください。はい。
0:47:18	神野でございます承知いたしました。
0:47:23	薄井コサクです。どうぞ。すみませんハセガワですけどハセガワですけど。
0:47:28	あまり今日はしゃべらないつもりだったんだけど、今のところはちょっと重要なんで、位置付けも含めて確認というか、
0:47:40	確認というか、したいんですけど、いいですか。
0:47:45	はい。よろしく願いいたします。
0:47:51	この追加調査、もともとの位置付けっていうのは、どこの場所で書くかも含めて検討なんだけれども、結局、
0:48:01	この6ページに書いてある流れの中でちゃんと考えていかないといけないなくて、
0:48:06	もともと等はやっぱり、ダメダメでちゃんとやりますというふうにしたわけですよ。
0:48:15	いろんな中でPS検層のデータを使うSRから求めるとか、地震観測記録を求めるとか、江藤いろいろそういうことをやりますという流れがある中、
0:48:29	これ、データが少し足りなかったんだよね。

0:48:32	だから追加的に、
0:48:35	まずS波をやることにした要するに三つしかないのは、とてもできないんで、
0:48:45	SRSを用いた評価は、追加的に、要するにデータ数が足りないから研修じゃないんだよね。もともとデータ数が足りないってことなんじゃないのかな。
0:48:55	それから、表層の地盤の物理開発ってことじゃないか。
0:49:00	それから、江藤江藤当時、それなりに取ってるけれどもやっぱりこのデータが少し足りないんじゃないかという。もともとそういうつもりで、今回みたいな地盤のモデルを策定するためのデータでないってことも、
0:49:13	有井データ数も足りないっていうのが全般的な話で、これは皆さんがよく説明時をずっと言っている。衛藤。
0:49:24	なんていうか要は、客観的なんだかっていうのをよく使ってるけど、客観的な視点に基づく一般的標準的な手法の中で、
0:49:37	これをやろうとすると、
0:49:39	データが足りないよって追加的にデータをとってきちっと考えるというそういうことではなかったんですか。
0:49:52	はい。日本原燃決得です。おっしゃる通りだと思っておりまして、
0:49:59	データがすいません、ちょっとそこでデータが足りないと言い切ってしまうと、
0:50:04	追加調査が終わるまでに、ワー、確定確定はできないんですけど見通しすらえられないとなるかなというのがありまして、
0:50:13	今のあるデータで見て欲しいって言え、はい。だから、
0:50:18	いやでしょ。それと別にその、今あるデータで見通しを経て、うん。それで進めることがあって、なんで一応後でデータをふやして、
0:50:31	全体見てもう先行で進めてるこの見通しのもので、まあ大丈夫だったねっていう、進め方もですねそうですね。或いは、そうですね。谷ないって言って、
0:50:43	はい。
0:50:45	了解いたしました。このハセガワですけど、さっき見通しの部分の話もあったときに、見通しということはがケツクさんが図よく言うんだけれども、
0:50:55	衛藤金本さんもこの見通しっていうところをもう一度考えてもらいたいですよ。はい。はい。

0:51:01	ここも何か若干ちょっと
0:51:05	違うのかなと、違くないんだけど、ロジックがちゃんとしてなくて、見通しはというふうにしたらえられるのか。
0:51:13	要は何をもって見通しを得るっていうことが前提の中で、科学的技術的な見地に立った時に、まず、岩盤の物性値はそこそこ今データが全部あって説明も終わって、
0:51:27	我々も一定のコミットはしているし、非線形性についてもある程度説明がかんできていると。
0:51:34	で、減衰に関しては多分大きいんだけど、ここも、10月ぐらいになると、もともと材料減衰っていうのはそれなりに取っているし、
0:51:48	今度はS波は三つしかないんだけどS波のデータも一応少ないけれどもありますとそれから地震観測記録の
0:51:59	評価っていうのが、大分それを下支えするには、そこそのデータが、10月ぐらいになると、えられますと、
0:52:07	いうことで、
0:52:09	うちのチーズはとか足していくんだけど、これをもって、要するに材料減衰と材料減衰+逸散減衰の評価というのが一定程度できていますと。
0:52:21	いうこととさらに表層地盤についても、この①と②が一定レベルで、データを、ちゃんと確認はもっと大量なデータで確認はスルーにしる、それ、
0:52:36	一定程度っていうのがその10月にできると。だからここに書いてあるものがすべての、基本的に内容、要するに、
0:52:46	数としては少ないものもあるけれども、この8ページに書いてあるものが、一通り出揃ってくるっていうことなんじゃないんですか。それを持っているの、
0:52:58	見通しを断つというその何をもってっていう根拠というかね。はい。クライテリアみたいなのがそこにあるんじゃないの。
0:53:07	はい。おっしゃる通りです
0:53:10	日本原燃決得です。おっしゃる通りで、そここのところの、我々の考えとかプロセスがちょっと欠けてないのでですね、
0:53:18	そこがぼやっとした状態になりますそれはちょっとよくないと、気が付きましたので、ぜひそれはこの間って話している、今日の資料だと、15ページの今後の対応の、この後の中に、はい。10月の段階になるとこれとこれとこれとこれが、

0:53:36	こういうデータが全部それなりに出揃うんで、はい。ある程度のそこで見通し替えられると、いうそういうことなんじゃないの。
0:53:44	はい。おっしゃる通りだと思います。
0:53:47	先ほどからコサク3紙、田井赤嶺さんからいただいているコメントの通りで、そこが、
0:53:54	そのプロセスも触れてないし結論のところを持ってないので、そういう、そういうことの根拠みたいな、ある一定の状態Dを説明せずに、
0:54:05	見通しとかがあって言うから、話がおかしくなってしまうと、追加調査っていうのもそういうことだとすると、7ページとか6ページとかそういうところの中から、要は、やっぱり、
0:54:20	遠い。
0:54:21	ある程度ちゃんとね、
0:54:24	科学的技術的な根拠に基づくと少しデータが足りない部分があるので、それとちゃんと補っていくのもやりますと、いうことなんじゃないの。
0:54:34	だから全部そこをかみ合うんですよ。はい。
0:54:38	我々の今の資料に足りてないところを理解いたしました。そこ資料に至り考え方の資料足りてないじゃなくて、説明の中でそういうような、これもロジックなんですよ。
0:54:51	そのロジックがしっかりこうなんていうのか。
0:54:55	できてないというか、ちゃんと。
0:54:58	飲み込めてないので、
0:55:00	それを書き下したときにそういうものが欠けていくっていうそういうことだと思いますよ。
0:55:08	はい。資料が先がないからね。
0:55:12	頭の中にある、シナリオなりそういうロジックみたいなものが、こういう書き物になっていくんで、
0:55:21	まずはそこんところをしっかりとやらないと、なので、決得さんと野本さんの話も食い違っているところはそういうところにあるんですよ。
0:55:31	はい。
0:55:33	理解いたしましたので、けれども、私どもできっちりそこ詰めて、考えを統一した後に、資料、
0:55:41	この会合資料に反映したいと思います。
0:55:46	あと時間があるから、適宜ちゃんとやっていけばいいとは思いますがね。はい。ちょっとあれ教育千田聡つもりはなかったんだけど重要などころなんでちょっと口挟んじやったけど、

0:56:01	はい、わかりましたり、ご趣旨理解しましたので対応させていただきます。
0:56:09	藤規制庁カミデです。それで、8 ページのその減衰のところでおりますけど、
0:56:16	うん、じゃあどう表現していくかって言うところで、今その 01020 冊ありますけど、これまず並んでなくてですね、僕が①と②って減衰の種類の話をしていて、
0:56:28	あれさんは、設計の段階別の段階っていうわけですよ。今話を聞いた中と、その設計の段階、10 月ぐらいには今見通しっていう
0:56:40	ましたけど前わかりねみたいなのあります。
0:56:43	一旦ちょっと基本地盤モデルをセットした引っ張りでもいいからセットしたいっていう段階と、うん。ボーリング調査等を全部して、岩石評価、
0:56:55	して、本当にその仮セットした。
0:56:58	モデルでいけるのかどうかっていう段階、二段階ある団体が 1 月っていうことだから、そういう意味だと 010203 の並びっていうのはプロセスの
0:57:09	まずはその、まず基本地盤モデルをまずセットする段階で、そのためには何が必要と。
0:57:16	タイマー基本的には減衰等表層がまたちょっとあったりですね、今あるデータは今あるんだけど、分析値、
0:57:24	③で追加調査をして
0:57:27	いう段階なんだと。
0:57:29	で、そういうふうに、はい。
0:57:34	で、
0:57:36	その上で、
0:57:38	そうなると、
0:57:39	今、減衰も、
0:57:42	多分その基本地盤まで設定するのは、6.8 じゃなくて、中央地盤においても、5%とかその辺ねらってるんだと思うんですけどそれを、
0:57:53	今回、
0:57:54	そうですね、会合で言っておくんですよ。要はそこもハマダ、また今度にして、
0:58:02	案。
0:58:03	全然ノモトでございます。非常に悩みながら、5%今回変えてはこなかったんですけども、
0:58:11	今回 6.8%

0:58:15	書かないと結局、前回から変わってないね。
0:58:19	大きな目を見たときは変わってないになるので、
0:58:22	ちょっと内部でもう一度議論はしますけども進捗、審査会合ですので進捗、先ほど話も、12の共通事業もそうですけど、何が進捗したのかというやはりそこが進捗したポイントだと思いますので、
0:58:35	ちょっともう一度、持ち帰って
0:58:38	私の今の考えでは書く方向かなと思っておりますのでちょっともう一度考えをちゃんと整理して提案したいと思います。
0:58:46	はい。江藤政調会です
0:58:49	その関連で、
0:58:51	話は、6ページの、
0:58:54	反省を踏まえた対応。
0:58:57	うん。
0:58:59	スポーツバーですけど、一つ目のポツは、一般的標準的って今までも言っていたことなんですけど、
0:59:07	そのあとに施設の実態を考慮した物性値って感じですね、あとこの前聞いてないなって。
0:59:14	その次のポツにいくと、さらに一般的標準的って上で言ってるのに、それに保守性と合理性を考慮したのが基本地盤の部分なんだよね。
0:59:26	なってるんですよ。
0:59:28	別にいいんですけどそういう考えでも、
0:59:31	考えが変わったのであれば、ちゃんと説明してくださいってことなんです。で、
0:59:40	多分ね、変わってるんじゃないかなと思って私としては、前は一般的標準的と言っていたけど、実際に設計すめいていく中では何かそれだけの説明しにくいなっていうところがあって、特に
0:59:52	工事性みたいな。
0:59:54	私と困っちゃう。
0:59:56	だから、だとしたらちゃんと説明してください。
0:59:59	で、
1:00:01	噛み砕くとこれで何言ってるかもよくわかんなかったんですけど、一般的標準的な手法っていうのをこれ減衰で言うんですけどね。
1:00:12	逆に1回いろいろ書いてあるじゃないですか、その材料減衰合算減数もいろいろやり方ありますねっていうのは、踏まずとりあえず参集やKURAMAこれは踏まえた、

1:00:22	言うんだけど、地盤、地盤の実態を考慮した物性値っていうのがこれが6.8に該当する。
1:00:31	どちらかというんですね、この今我々の頭の中では減衰でいうと、この周波数依存を、
1:00:41	考慮したリニアでのケースってこれが一番観測記録を表現できる。
1:00:49	下水であるので、一旦ベストフィットではないんですけども、一番現象を説明できるものをまずは設定しているというところに、
1:00:59	協力するというのが評価といかんのだろうなと思って、こういうですね、説明中でして、一番、アノ自体を考慮したとか反映したっていう点ですけども、分析を設定すると。
1:01:13	いうのを法律の非公開として入れてるってちょっと今そういう状態にございます。
1:01:25	答えなので、
1:01:27	踏まえと。
1:01:29	基本的な手法を踏まえまして、地盤の実態を考慮したメッセージ減衰って何ですかっていうと、周波数依存を持つてる。
1:01:39	リニア減衰の
1:01:42	直線というか、0アノ単数に、はい。池端。
1:01:48	それが設定されました。
1:01:51	その上で保守性合理性を向上してってなると同等になっています。
1:01:57	今星先生でいいますと、放出量合理性っていうことで、設計で使うことを考えるとアノet減衰。
1:02:04	例の設計用のオカアノケットク使うときには使えるというのがございますから一定減衰で、それに準ずるといいますか、ハツイゾンに、
1:02:15	をちゃんとカバーできるものをまず設定するこれが次のステップになって、それが今6.8って言っているところになります。
1:02:24	このマエダ6.8だ、これで設計するのかっていうとやっぱり、ここには設計として用いるための保守性というのを含める必要があるかと。
1:02:35	いうところでこれで、我々アノ5なりなんなりというようなところを設定していくっていうプロセスになるんだろうなというそういう頭でここは入っています。
1:02:45	えーとですね、ここのな、こういうことを言い出したところの、もう1通ありますのが例えば非線形性の考慮のところなんかで申しますと、
1:02:57	今の地盤の実態をそのまま反映するということになりますと、それは被水を考慮するなんです。

1:03:04	宇津木先生を考慮するなんですけれども、これを設計で使うときに、線形で扱っても構わないというのはこれは設計上の合理性の観点からの採用であると。
1:03:16	要旨小春になるんじゃないのかなあと。
1:03:19	というようなところがございましてそうすると、10番の実は考慮した分析等は、設置する危険性を考慮したものだけでも、その上で、今日今モデル設定する時には設計の配慮を踏まえて、渡船検証権限設定と、
1:03:34	ちょっとこういうふうな考え方がちょっと論理的イトウかなというところで今回そういうふうな作りで、補足説明資料等を作らせていただいたってというような経緯がございます。
1:03:48	以上でございます。
1:03:49	はい。政調会です。ちょっと減衰の話でしますけど、最初、さっき、6ページの最初の一つで言うと地盤の、
1:03:58	実態を考慮した物性値建水っていうと、9ページに、
1:04:05	13でいうと、青線、青、
1:04:09	ね。
1:04:10	これが、
1:04:13	施設の地盤の実態を考慮したものだと思ってます。
1:04:17	で、
1:04:19	じゃ、次にポツで、保守性及び効率性っていうのがあって、それが10ページにあって、まずは、周波数依存で傾き持ってるんだけど、これ今日、
1:04:33	設計するには傾き持っていない方が使いがいいので、すぐにしたいっていうのが一つ効率性を、
1:04:41	設計上の効率性という意味でやってシマウチです。
1:04:44	ということと、
1:04:45	なんで6.8なんだっていうと、
1:04:48	ここにもう、
1:04:50	あれですよ。ええ。
1:04:52	今度6.8っていうのは、その下のシミュレーション解析結果でいうと、
1:04:58	赤線ですか、っていう感じ。
1:05:01	ですよ。
1:05:03	多分、

1:05:05	青線とプロ点線を全周期体で上回るようにすると、6.8 になるってそういうことです。
1:05:15	ですね、6.8 そのものは、一定減衰を仮定した時に、その贈呈費として出てくる数値になっています。
1:05:29	結果として、一定減衰で、同定した結果で、このシミュレーション結果を書いてみると、リニア型で出したり診療結果を上回っておると。
1:05:42	いうことをこれは示してございます。
1:05:44	あと、規制庁紙です。
1:05:48	話戻しますが、9 ページの、
1:05:50	青線の直線ですね、図 3 の青線が、実態だと思って、これを設計的な合理性を持たせて、
1:06:02	傾きを持たせないってなったときに、6.8%。
1:06:07	でしたと。
1:06:08	いうことなんですけど、それはどうやって決めたんですけど、この直線を 6.8 の一定にしようとするということで、
1:06:16	えっとですね、いや、いや梅林やと同じように、一定減衰の仮定のもとに、それはそれで原石の同定を、いや、全部取得でした。はい、そうそう。
1:06:28	だから、林野の条件でどうせかけるHz条件で、到底かけるっていうことを別々にやってまして。
1:06:36	で、それぞれの贈呈で、選べた数値でシミュレーションをやってみたものを比較したのが、10 ページっていうそういうことになってます。
1:06:46	はい、規制庁カミデです。
1:06:48	その資料は、補足にはあります。
1:06:53	はい。何かのページですかね。
1:06:58	はい。天然のオガセです。あと補足説明資料耐震建物 08 のところでいきますと、通しの 436 ページに、
1:07:18	ページ番号別紙 2-3-129。
1:07:26	通しのページ、
1:07:28	規制庁側からない人が 6.8 って出てるんですけど、こっちは 6.7、ごめんなさい。
1:07:37	違う。
1:07:39	ちょっと、
1:07:40	日本原電オガセです申し訳ありません、6.7 です。はい。おっしゃる通りです。パウポの方決まってるという、間違っていない。

1:07:48	そこに何らかの操作はないんだったら来ちゃうわけですよ。何かの操作があって、6.8 で、
1:07:55	いや、谷、
1:07:56	パフオノロ. 8 アオキをお願いします。はい。日本原燃はすべて大変申し訳ございません。おっしゃる通り、単なる誤記でございます今補足説明資料にある数字、6.7 カセでございます。
1:08:08	規制庁ハタケちよつとついでに言うと、一定限しやすい形で同定をした結果が、120、130 ページの部分もありますけれども、
1:08:21	岩盤部分では 0.8。
1:08:23	六、七、6.7%。
1:08:25	ピッチングされたということで、この数字が出ているというふうに理解しています。難しい。はい。ある意味、結果オーライであって、先ほどのリニアの話だと、
1:08:38	この
1:08:39	リニアの傾向、リアの結果を、何らかの加工をしてっていうんじゃないで、
1:08:45	シミュレーションの結果、
1:08:47	だから、違う、減衰モデルで、
1:08:51	シミュレーションして、
1:08:54	周波数一定だと 6.7%、ベストフィットだというだけです。
1:08:58	だから、
1:09:01	します。依存の話との関連ってというのは、ここがよく見えないんですよ。
1:09:07	規制庁深見です。いやそれは管理してないですよ。管理しないんじゃない。そうですねおっしゃる通り、県のでございますおっしゃる通り、何か両方に関連を持たせてやってるものじゃないんですよ、規制庁、例えば、
1:09:22	この参考になっている 9 電の資料は、
1:09:25	例えば、
1:09:27	減衰、4 月依存の中で、
1:09:30	未満の減衰値を一滴としてとるわけ。
1:09:33	そこには関連性があるわけですね。
1:09:37	何らかの重みづけで、リニアと言って 1 項、
1:09:41	変換されるっていうなら、関連があるんですけど、
1:09:44	今ここでは、結果ぐらいで、6.7 億減ってるって理解でよろしいんですよ。

1:09:50	すいません、九州電力の明石ですちょっと補足させてください。それである、もう結果オーライのちょっと見せ方になってしまってるところはちょっと私もちょっと、
1:10:00	表現ぶりも含めてちょっと手を入れそうになったなということでもありますけどもこれ 6.8 という数字は、
1:10:07	一定減衰を仮定して同定してみたら何パーセントが出てくるって出てきた数字をある意味仮置で置いてるというふうにご理解いただければと思います。で、まずはそれをもとに、じゃあ、設計の時にどう考えるっていうのは、先ほど、
1:10:21	赤崎さんおっしゃった 9 電の場合はもう一番大きいところを取るっていうふうにしたんですけどそうじゃなくって、今後狭さに
1:10:29	合理的かつ保守性を持たせながら、設計の値をどう設定するっていうのを、大事な周波数だからこの辺だよな。そこについてやっぱり、こういう補正を考えて、こういう下水を載せるべきじゃないか。
1:10:43	だけどこの辺はもうそもそも言い方悪いんですけども、設計上、あんまり関係ない。この辺であったらばもうこれはやっそここれぐらいでいいんじゃないのっていうような整理をして上で、じゃあ設計上は、
1:10:57	結果の目指すところは 5%というのがありますけども、こういうふうにするということを決めていくということになりますので、6.8 はすいません今結果論にはなってますけどある意味仮置き数字として置いといた上で、
1:11:12	このあと設計上どうするのっていうのを、資料IIたまさに少数体と紐づけながら整理をしていくということになります。なので、先ほどちょっと神谷さんがおっしゃってたステップでいきますと、
1:11:25	実態は間違いなくリニアだと思います。そこから保守性合理性のある値としてどうなのっていう意味では、6.8 はその入口というか、入口の手前という、
1:11:38	まず借り受けの数字と、というようなポジショニングでご理解いただければと思います。以上です。
1:11:45	規制庁カミデです。ちょっと話を聞いてがっかりしてるんですけど、季にの結果があり、
1:11:55	例えばその上限値なり下限値が 6.8、あとはこの辺の周期体でとれば 6.8 っぽいので、

1:12:04	ていうのがあり、設計上のそのハンドリングのよさを考えると、傾きなしにしたいからこの 6.8 にしますねって言われると、6 ページで言っている 1 ポツ、2 ポツ、まずはこの検討をして、
1:12:18	その上で保守性井清D、
1:12:22	まさに、
1:12:23	自園っていう流れが見えるはずなんですけど、今そのリニアと 6.8 っていうか、関係がもう断絶されてるっていうことなので今の話だけ聞くとです。
1:12:35	その関係性をうまく説明する。
1:12:38	しないと。
1:12:40	6 ページのまず書いたような検討の仕方の通りにはなってませんねっていうことになっちゃいますから、そのあたりのポイントは、
1:12:56	アベでございます。
1:12:59	藤。はい。作戦を考えたいと思います。
1:13:03	はい。規制庁亀井です。なので最小の資料を主要の話でいうと、ちゃんと何かこの 6 ページの言葉に対応させて後書いてくださいね。だから地盤の、
1:13:15	実験した減衰っていうのは、これです。そのあとに高利性補助者こうなりました。さらに補正をやると、この値になります。ちゃんとその言葉、
1:13:26	の並びをとって、考えを明らかにしてもらえればそうじゃないだろうとか、また議論ができるのでそうしてくださいねって言うと思ってたんですけど。
1:13:38	今だから実態としては 1 ポツ 2 ポツの関係がトビアスちゃってるので、そうすると、どうしようかなとは思んですけどもともと持つてる趣旨っていうのはこの下水、
1:13:49	だけの話ではなくて、6 ページで言っていることへの考え、
1:13:55	6 月の対応で、この値はこういう位置付けのものですっていうのをちゃんとわかるように、資料にしてもらいたいというか、まず最初の趣旨なので、そこはちょっと、
1:14:05	はい。元の表でございますが、先ほど明石さんからもお話あったように 6.8 っていうのは、
1:14:15	それ、ごめんなさい、要するには設計の配慮なり何なりっていうので設定する前段っていいですかって言う位置付けでは、確かにあるので、
1:14:27	ちょっとそこところがちょっとそうですね。
1:14:32	ちょっと

1:14:33	ロジックを整理したいと思います。以上でございます。
1:14:39	はい、規制庁に移って、
1:14:42	ここに持っていくためにまたどうやって説明しようかなって感じですよ ね。補修性合理性、合理性と姿勢だと5点です。
1:14:52	それをもう考えると、クボとかですっていう、
1:14:57	技術の方でございます。ちょっともう全然あれなんですけれども、今回の 検討の最初からの流れでいくと、最初は日程月で頭でかけていた。
1:15:09	ですね、リニアバリアーの検討も追加でやったと思うんでこれ三つ並べ てみたときに、土居津川の家族旅行をうまく表現できるかって言ったら どうやら見合いたと。
1:15:22	それとそれぞれの同定結果が、そのアウトプットにどういうふうな影響を 与えるかというのをそれぞれですね徒弟結果っていうのを示し経過を 並べてみたら
1:15:36	それから見て気安井%最も設計に対しては不手話の値を与えそうだと、 いうのが見えたというのがあるので、この一定減衰のものを、設計で使 うベース、系統も別にちょっとしすると。
1:15:49	言ったような形でやっていくっていうのは行ってないんじゃないかという ようなちょっと紹介をちょっと持ってしまったということになっています。
1:15:59	そこが弱いんですね。
1:16:02	すいませんちょっと奥田として話して申し訳ありません。以上ござい ます。
1:16:08	はい。規制庁、最上です。
1:16:11	やっぱ、6ページの対応との関係で何をやったのかっていうところをです ね、左右等踏まえて、
1:16:21	一般教授的な色を踏まえていきなりこの時、
1:16:25	地盤の実態を考慮したって言って何かちょっと飛んでるような気がす る。
1:16:32	一般的標準的な手法イコール地盤の実態を考慮したと考えているの か、だとしたらこの言葉いらないわけですね。
1:16:40	一般的標準的な中から、実態を考慮したっていうところをピックアップす るんだっていうことであれば、そう。そういうのはそれでいいんですけど、
1:16:52	そういうステップをちゃんと一緒でも各減衰でいうと、
1:16:57	3軸圧縮試験室内試験の結果もあれば、S波もあれば、
1:17:04	うん。観測もあるんですけど、そういう一般的にはあるんですけど、この 対応方針に従うと、実態を、我々の所に行くんだから、

1:17:15	観測取引しましたよって、ちゃんと言わないと、何かふわっとしたまんま、数キロくう使っちゃったんで、そこはもう明確に考えました。
1:17:24	或いは、介護でやればいい。
1:17:31	はい。成長が何か話がいろいろ発散しましたけど、そうですね減衰はい8ページの
1:17:42	Cポツの減数のところで、話を始め、
1:17:47	あとは6ページの対応更新との関係でちゃんと話をしてくださいねというところ現世について話してきましたが、
1:17:55	これまでのところ、何か規制庁側か、これもあれも全部あれば、
1:18:00	お願いします。
1:18:04	はい規制庁濱崎です。私の方から今、判例の話にもかなりかぶるんですけども、
1:18:10	6ページには、先ほど来のその一般的な反省を踏まえた対応の最初のポチですね。
1:18:17	一般的標準的な手法となれば、やはり従来の、
1:18:21	木星、
1:18:24	フロンは一般的
1:18:26	標準的な方法。
1:18:28	普通はいえるんじゃないかな。
1:18:30	思います。で、
1:18:32	今回、
1:18:34	要はその目途違うやり方で、減衰を、或いは地盤モデルを決めようということトライしようとするわけなので、
1:18:43	そういう姿勢が見えないんで、
1:18:47	サンゴ7ページの対応方針の中で、冒頭工藤調査官の方からお話されたその追加調査の位置付けですね。うん。
1:18:58	だから、これは追加調査も必須なんだと、わけではなくて必須なんだ。
1:19:02	いう。
1:19:03	それを含めて、新たに地盤モデル、減衰を設定するんだと。
1:19:08	というのが対応方針じゃないかなと思いますけども、
1:19:12	少なくとも今そういう、
1:19:14	何ですかね姿勢っていいですか、部署、
1:19:17	なってないなというふうに思ってます。
1:19:20	それはそういう認識でいいんですかそれともやっぱり違う認識がある。

1:19:26	日本原燃決得でございますおっしゃっていただいた通り新しい手法に到来して、追加調査もして、我々減衰を
1:19:36	新しいフェンスを設定したいと考えておりますので、そこが6ページに全く現れてないとはおっしゃる通りですので、再考させていただきたいと思
1:19:46	います。 規制庁浜崎ですけども、私の方もそんなに経験あるわけじゃないんですけども、例えば宇野さんとか、和田さんとかですね或いは大町さん。
1:19:58	もう聞きたいんですけども、
1:20:00	今回、その原燃がやろうとして1番目、例えば現在、
1:20:05	ここっていうのは、
1:20:07	いや、今までの範疇。
1:20:09	やり方に大差ありませんっていう認識なのか、やっぱりちょっとチャレンジングなことやってるっていう認識なのか、その辺りはいかがですか。
1:20:18	元のオガセ今野ハバサキさんおっしゃった、今までっていうのは既認可完了してください。はい。ですか。
1:20:25	日本原燃のオガセですすみません私の認識だけを見ます。ジャックが今あって我々が今はそういう値なんですかねそういう勉強、勉強したというふうな知識があるという前提でいきますと、そういうのをちゃんとや、と呼んでやるという意味では、
1:20:40	何ていうんすかね、チャレンジぶるなところについては各検討の中では、いろいろとあるところはあると思うんですけど、やってるやり方とかについては、今思えばもう今改めて一般的なやり方を、
1:20:52	ただなぞって今やり直してるだけという認識で私はいます。
1:20:57	社長。ちょっとよくわからなくてその追加調査の日付みたいなどころですけど、結局さっきの6ページ。
1:21:05	戻りますけど、
1:21:07	話を聞いていて一番思うのは、やっぱりその一般的標準的な手法から、地盤の実態を考慮したところをピックアップするんだと。
1:21:17	いうところにチャレンジ性があるんじゃないのかって気もしていて、
1:21:21	そこを補強するためには、普通だったら、一般的標準的な手法の厳しいところでやってますよっていうのが、
1:21:31	よくある話なんだけど、今回はas-isでいくんだっていう、いうところを、チャレンジでそう宣言するのであれば、今回いろんな、
1:21:42	追加調査のデータを基に赤井さんにも協力してもらってっていうのが必須になってきて、取り組みは必須のものとしてやりますよっていう。

1:21:52	言われると、フーンて感じはします。
1:21:55	そう生徒っていうわけじゃないですけど、
1:21:58	多分大瀬が言いたかったのは、いろんな分析自体はチャレンジもないかもしれませんが、普段であれば、もう弱、坂野小岩ってなったらもう、
1:22:08	いろいろする前にもう影の山に行きましょうかみたいな世界が回りコガサイトウの元の会社がありましたので、そういうことで考えると、やはりその実態に応じて、チャレンジをやろうとそのためにも、追加ボーリングまでして、
1:22:22	やろうという我々の意識がありますので、それをちゃんとここに表現できてないというのが
1:22:28	不足していると認識に立っております。
1:22:32	はい、規制庁です。
1:22:37	当然世間
1:22:39	先ほどから下水 123 の表がJRの方に書いてございますけれども、①につきましては、これ材料減衰といいますか、履歴減衰なので、
1:22:50	実際にその材料ですね、マトリックスで決まってくる
1:22:53	ことで、
1:22:54	岩石%を追加するというのは、その一番低い値っていいですかそのマトリックスの 5%の減衰が 1 週間っていうことを確認する。
1:23:03	頑張っって違うのかなっていう確認するというふうな程度だと。
1:23:07	で、旧測定の方はですね、Q値測定板の周波数体がですね 10Hzという実際の
1:23:14	構造物の周波数からもですね少し高い周波数ですが、一応先ほどのQ値の深度依存しやすい分から考えると、一番低いところをねらう、一番減衰が低いところになるんで、
1:23:27	それが出ればそれ以上であるっていうふうな、確認的なものだと思います。ただ、今まで参考しかやってなかったということと昔の手法でやってきたということで、私も最近いろいろ加圧の方法ですとか、
1:23:42	聞いていきますと、最新のやり方だと、その辺がよくよくというか、ちゃんと分析できるっていうのは、9 電さんの試験結果からなんかもわかっていますんでそれは
1:23:52	やるべきで、そういうものを追加して、実際の結果って今今我々がやってる見通しと言ってる値が、本当にそれが見通しがあったらいいのかどうかっていうふうな判別に、

1:24:03	使えるんじゃないかと思います。あとですね地震環境についてはですねやはり今までいろいろ雑音フォローとかですねいろいろとやってるんですけども、なかなか難しい。
1:24:14	花シーズンもありまして、事前ごとのサイトの話もありますんで、それを再定義するっていうのはやっぱりちょっとやり過ぎじゃないかなということも考えますので、やはり地震、
1:24:24	シミュレーションですとか、その辺の贈呈手法とかですねその辺をベースに、減衰を考えるべきじゃないかなというふうに思います。それを補足説明資料として、今、桐原球児測定っていうものが、最低的な最低線のベースにあるっていうような考え方だと思うんです。
1:24:41	はい。規制庁山崎です今尾野さん言われたように、それぞれ今回、三つのシミュレーションよさすると。
1:24:48	岩石コア。
1:24:50	やって、追加される中でですね、それぞれのやっぱり役割をしっかりとおかないと、
1:24:58	結局再最初の減衰を取るしかない、なくなるだとかですね。
1:25:03	やっぱりそれぞれの役割、そしてその結果を、どういうところに使うのかということを確認にした上、対応方針の中でもですね、そこをうたっている。
1:25:13	謳うべきだというふうに思いますので、そこら辺今、現状の頭こう整理されてないように思いますのでですね、しっかりそこはスタートラインとして、
1:25:24	記載してもらいたいというふうに思います。
1:25:27	以上です。ちょっと、以上です。まず7ページまで行って、
1:25:33	規制庁、上出です
1:25:35	また6ページから、ちょっと話ができればと思いますけど、それまでの前段、会合の位置付けとか、点数、
1:25:44	ないですかね。
1:25:45	なければちょっとまた8ページのその、じゃあ今度で今回何の話もしたい。
1:25:53	けど、
1:25:55	8ページの2ポツ競争で、今回、これはですね①②は割と
1:26:02	並んでいて、どちらもプロセスの段階ですっていう、まず後成長設定をして最終の表です。
1:26:10	あるんですけど、この物性値の設定が、

1:26:15	決まるのが、
1:26:17	1月ってというのは、さっき聞いた話とまたちょっと違って、まずは一旦、基本地盤モデルを作りたいんだってということだと、何か話が並んでないような気がするんですけど、この辺、
1:26:29	今回どう進めたい次まで、何したいっていうのがありますか。
1:26:34	はい。原燃の郷でございます。
1:26:39	調査の位置付け、追加調査の位置付けとしては、下水と同じく、
1:26:46	不足してるデータをちゃんと取っていくと。
1:26:50	いう形にはなるんですけども、
1:26:54	現在の
1:26:57	で、ある程度見通しを
1:27:01	得るために、まず今回の説明の内容は、前回手続き切れていない、この
1:27:13	表層地盤物性を設定するなんていうかね、単位というか、
1:27:21	埋め戻し度であれば、全式一つで扱って良いのかどうかの検討結果、粒度処理場であれば、今回結果的に二つに分けましたけれども、
1:27:34	その施設そろそろ範囲の設定ですね。
1:27:38	これが今回のご説明事項であって、それぞれに対して、素直に設定したらこういう没水になりましたと。ただ、これが
1:27:51	データを拡充してもちゃんと整合できる問題とかいうのは追加していただいて、また確認して参りますと言ったような位置付けになるのかなというふうに思っております。以上でございます。
1:28:00	規制庁鏡です。まず資料の話ですよ。はい。今、①で
1:28:06	①の1ポツで既往のデータの整理をし、2ポツで、追加の物性データを採集します。
1:28:14	いうところまで含めて物性値の設定になっちゃうと、使わないと物性値が決まらないってことなんですけどそういうわけじゃないですかね。
1:28:23	は、
1:28:24	下のケツクですここの書き方はですね最小の、今日の冒頭でいただいたコメントの管理課からいただいた口頭でロジックがちゃんとできていないとプロセスできてないというところでございます。ここも
1:28:38	減衰と一緒にお考えだと思っております要は今あるデータでもって一定程度の理解があればそこで一応下窓、記載を別として、仮というのを設定したいというのが本日の

1:28:50	説明のところでございます。で、そのあとに、やはり数とか、田嶋李のところをボーリングで、追加して、それを確実にそうだよねというのは来年の1月になるところ。
1:29:01	ツーステップでやるといったところが、すみません
1:29:05	1回りに回りというような変な書き方になってるのでですねちょっと読めなくなってますのでここも先ほどの減衰と同じような見直しが必要、頭の考え方からちゃんと見直しが必要という認識でございます。
1:29:17	ただ、言いたかったのは今回の説明で、一応の見通しのところまではえられましたと。ただ、追加で、それを確認していきますといったところが、シンプルな言い方をすればそういうことになります。
1:29:30	はい。規制庁、
1:29:31	伴です。
1:29:33	11 ページ段階で表層の話もありますけど、今回原燃から言いたいことは、
1:29:41	基本地盤モデルをまずタジリセットするに当たって、緑の、
1:29:46	どう、水色の施工年代分けず、梅本首藤に関しては平均して、
1:29:53	して、
1:29:56	地盤モデルをまず、
1:29:58	基本地盤を作りたいなというところを、認識を合わせたいっていう
1:30:03	ね。
1:30:04	規制庁亀井です。その上で、まずや治療上で、
1:30:10	やって欲しいのは、6 ページに、
1:30:13	おけるその半数。
1:30:15	内容の1ポツにコストの対応なんですよ。はい。
1:30:20	結論的には、平均の
1:30:24	全体平均の物性値でやりますというのが2ポツの最後、基本地盤モデルを設定する物性値ってそこなんですけど。
1:30:35	標準的一般的。
1:30:37	ていうと、どういう値になるとか、さらに、
1:30:41	敷地の実態を考慮するとどう考えているのか。
1:30:45	ていうところが、段階的なところがあんまり説明がない。
1:30:50	ですけど、今どういうふうにも考えても、
1:30:54	保守性合理性とかも考えたのか考えてないんでしょうか。

1:31:00	県の方でございます。ですね、おっしゃる通りこの一般的標準的っていうながらちょっといきなり結論をやりたいことだけ書きちゃってるっていう、ちょっと記載になってるっていうこと等はちょっと気づいてますし、
1:31:14	直さないといけないと思ってるんですけども。
1:31:17	線としてはその
1:31:20	一般的っていうのはもともと、ちょっとここでご説明申し上げましたけども、まず、地盤物性ですから直下近傍の設計であるというのが一般的標準的。これが岩盤と同じく、
1:31:33	最初の方針に渡ってきて、
1:31:36	その次に、これ床の特性として人工材料なんで、同じ管理とみなせるところは同一として扱うことができようと、そしたら同じ管理とみなせるところが何なのかという検討はこれまで聞いてなかったんで、
1:31:49	それを今回検討いたしました。そして、埋め戻しについては、これですね施工プロセス確認したところ、全体的に、
1:31:59	それがあるんだけど、これを分けて考える人は一緒に考えていいのかという問いが次に出るんだけどこれ一緒に考えてどうやよさそうかということを検討の結果確認することができたんでこれやらいただきます。なんかそんな話の、
1:32:13	流れがちょっとうお示しできてないかなと。
1:32:17	いうふうには思う。
1:32:18	まず、
1:32:20	なので、ちょっと全体をちょっと書かない。
1:32:25	一般的標準的な手法でいうと、希望でしよって今野さんおっしゃられましたけど、それ皆さん共通認識なのか、っていうのはよくわかって、私がヒアリング聞いている限り、
1:32:38	もう平均でいいでしょう。こんな内容だったら、施工管理をしてるから、この平均でやるの普通ですよ、これも効率性もないですよって言われてるようにも思うんですけどその辺って皆さんと、
1:32:51	どういう認識ですか、皆さん、ニシカワ。
1:33:00	一言だけあれだけれど、日本原燃の方でございます。江藤は、私ちょっと今申し上げたような認識で今まで資料は作ってきていたんだという認識なんですけれども、原電側から、
1:33:13	タブレットにハタすみません、お願いします。
1:33:17	規制庁、瀬川ですけど。

1:33:20	ちょっとなんかは、3 でいうと、言ってもいい何かあまりらちが明かないんじゃないかと思ってるんですけど、発言してもいいですか。
1:33:28	はい。よろしくお願いします。
1:33:33	今ずっと聞いてたんだけど、なんか前たいいが、やっぱり原燃がまずちゃんと理解してないこの件にちゃんと理解してないっていうのは、全体像原燃が独自でちゃんとやったわけじゃないっていうのが、
1:33:46	前提にあるんだけど、そもそもみんな言葉 2Dなんか遊ばれちゃってるんだよね。
1:33:54	まずう一般的標準的な手法という言葉のを別に使わなくても、何でこの言葉を使ってるかっていうと、これが 4 ページ目に書いてあるんだよね。
1:34:05	もっともったか
1:34:10	施工人の地盤モデルで、そのまま何もしないでやっちゃいましたと。
1:34:15	だからちゃんとやりますって言うだけなんだよね。
1:34:18	それは、ごく普通に、仮にやるとしたら、こういうことをしないといけないよねっていうところに立ち返ると、それを一般的標準的な手法という名前を、
1:34:31	単につけているだけなんじゃないかと、いうことで当然、標準ってその標準的な手法については一般的標準的手法の、
1:34:43	具体っていうのが、8 ページに基本的には書いてあるわけですよ。
1:34:48	ここの内容についても我々は基本的にもう、
1:34:55	コミットを一定程度のコミットはしてると結果を抜きにしてね、やること自体は、こういうことをやり、やることはいいよねと言っていますと。
1:35:05	それは、当然その結果は、施設の一番の特徴とか、設計という中では、土肥設計上の一定の保守性なり要するに総合評価をしたときに、
1:35:21	するわけですよ。
1:35:23	手法は標準的な話なんだけれども、
1:35:34	それは最終的には施設のとか地盤の特徴とか、設計の保守性、それは合理性でもいいですけど、それを踏まえて最終的なモデルを決定するというだけであって、
1:35:49	あんまり大きなそこに意味はなくてみんなやってることなんだよね。
1:35:53	ていうことがまず 1 点、あった中に、データがやっぱり少し足りないんで、やりますということでそのデータが全部出揃ったって、通常は全部やりますっていうのが、
1:36:09	皆さんで言う 1 月ぐらいには総合的なすべてのデータがそろって、全部を踏まえた総合的評価が終わるのは 1 月ぐらいに、

1:36:20	なってしまうと、これが基本ラインなんですということだと思っんですよね。
1:36:26	それでちゃんと最終的には1月なんですと、とはいうものの、先ほど言ったように、10月の段階では、
1:36:36	データ数は少し足りないんだけどもある程度の見通しが立つことができるんですと。
1:36:44	で、もともとⅠがⅡに全部できるとそっから、
1:36:50	何て言うのかなこの後の建物とか機器のアノが、
1:36:57	評価をしないといけないんだけど、それがどのくらい、何て言うのかな、現状の出した、申請書から被害が出るかという被害想定はしないとイケなくて、
1:37:09	それを1月にできてからだと、ちょっと辛いんですよと、よって10月ぐらいに見通し替えられた段階で御リスクではあるんだけど、
1:37:23	ある地盤モデルを仮定した中で、先行して被害を想定したいと思っているというただそれだけのことなんじゃないかなと。
1:37:32	いうふうに思っんですけどそれは何か皆さんがとても難しいように言葉に踊らされた中でやっているんじゃないかなと思っっているんですけどいかがなんですか。
1:37:48	県民の方でございます。おっしゃる通りで、今長谷川さんがおっしゃっていただいた非常にシンプルな、
1:37:55	考え方に基ついて今検討してるところすいませんちょっと一般的標準的とは、みたいな、何か変な定義づけをしてしまっってちょっと話を混乱させてしまっったなど。
1:38:05	ちょっと思っっております。ありがとうございます。規制庁の長谷川ですけどそもそも、前から言ってるように、原電の資料は自活がものすごく多過ぎて、
1:38:16	メインのシナリオがよくわからなくなっってそしてす余計な修飾をつけ、
1:38:24	説明の中ではいろんな修飾をつけながら説明するのがいいんだけど、なんかね、言葉が多すぎるんで、みんなに遊ばれちゃってるっていうのが実情じゃないかなと。
1:38:36	だからよくさっきもね、決得さんも言っただけど、さっき言っったように、基本路線っていうのをしっかりちゃんと理解した中で、
1:38:48	運んでいかないと。

1:38:50	何、メインが何だかよくわからない結局 1 月まで、最終決定は出ないんですよ。
1:38:56	でも、途中でこういうことやりたいから、暫定的なバージョンで、やっていきたいってだけでそそれもどうぞってだけで、そういった単なる尽くせるってあるだけですよねってうだけだから、
1:39:09	それはそれでいいんじゃないのと、だから、我々との関係はみんな 1 月なんだよね。
1:39:15	それを決得さんが何かもう早くやりたくて見通しだとかっていう言葉を途中に入れちゃうからいけない。
1:39:23	今回その見通しの話を書かなかったんでそこにあるんじゃないの。
1:39:27	今の段階で別にそんな話しなくたって、見通しがえられたからこうしたいって言えばいいだけなんじゃないそれはだから、10 月でもいいんじゃないのっていうふうに思います。それはちょっと蛇足ですか。
1:39:40	はい。ありがとうございます。
1:39:42	理解いたしました。
1:39:50	ということですみません利用権の件ですけど、6 ページの
1:39:54	ブースを一つ、少し変な、
1:39:58	トータル見て書いてないアノン、ちょっと申し訳ございません場当たりに書いてしまって、一つ一つの言葉の意味っていうのがちゃんと定義でられてないというのが再認識しましたので、
1:40:10	冒頭から言われてる、全体のロジックなんかを見なおして 6 から 6、6、68 ですね 68、よく直さないといけないという認識になってます。
1:40:21	はい。
1:40:23	その上で、
1:40:28	平均を使うといった位置付けをどうするかね。
1:40:33	あと、規制庁カミデですけど、
1:40:36	6 ページのシマつって、今の話の中で 6 ページ直しますっていうと、オンラインでやらしてくださいっていう。
1:40:43	変わるんですか。だとしたらもう何に使ってもいいですよ。何も話を聞くことない。うん。いや。
1:40:50	当然、ウォリス下方リスクだと思うんですインフレーション最終出るまでは、規制庁さんとして、間違いないんでそのあたり間違いないよねって、我々もそう思うとは言ってはいただけないと思う。ただし、
1:41:04	そんなに間違っていないよね。言ってないとアノし、審査にもならないと思いますので、ただ、詳細的にはやはり 1 月の答えを持たないと。

1:41:13	までは我々もリスクだとは思いますが、ただ、当然マンパワーかけて審査いただきますので、全く箸の方にもかからないやつを、審査時間いただくとこれ
1:41:24	間違ってると思ってますので、その一定程度の見通しがえられてるといのが重要だと思いますので、その辺は書きたい、ノロ6ページのところからもちゃんと書きたいと思います。
1:41:37	ただちょっと、私、今言った赤嶺さんの言われた一つ私の中でも今、ちょっと疑問、思ったのが
1:41:47	表層は、だから、今回みたいな人口の梅干であるから、同じプロセス、作業時が若干違っていても同じプロセスであれば、平均で見れると。
1:41:57	いったところはえさ。最終的にはこれが我々の答えではあると思っておりますけども、その一般的とか、干してとか、そういったところどこをどう読むのかといったところまで深く、
1:42:09	議論ができてないなと思いますのでちょっと議論は必要なのかなとは思いました。
1:42:17	以上です。はい。規制庁、深見ですどこにどう当てはめるかはそちらの考えなんですけど、どう当てはまってるか。
1:42:25	ていうのは、ちょっと説明してもらいたいと思うので、
1:42:28	特に、
1:42:31	うん、競争は結構度いろんな考えがあるんじゃないかな、施工してるからもうこんなの。
1:42:38	平均でいいでしょうっていうのはあるし、本当は近くだろうけど、まあまあこうして、今度は検討してこれぐらいのプラスになってからこういう設計的な法律を持てば、ここがいいっていう、
1:42:50	その辺は対応を明らかにしてもらおうのかな。
1:42:58	うん。
1:42:58	そうですね個人的には撤回本当でリスクでやりますって言われれば難しいんですけど、
1:43:05	話そういう話をしたいのであれば、はい。
1:43:07	明確にしてもらえれば、私はできますか。
1:43:14	はい、規制庁です。何で今回何するのっていう話は8ページからお話。
1:43:22	もうちょっと話を聞きました。ここまでの、室長がありますか。なければまた6ページから、
1:43:28	それに行きたいなと思いますけど、じゃあ規制庁ハバサキですこれ、現状というより、

1:43:35	浅香管理官にもちょっと確認したいんですけども先ほど基本路線だねということで、8 ページの予定日か書いてあるようなもの。
1:43:45	話をもう少し実態に応じたといいますか、説明の流れという形で言われたんですけども、
1:43:52	今資料で言うと 15 ページ、今後の対応っていうのがありますが、
1:43:58	先ほどリスクのことも含めて、15 ページの方に原燃の考えということで示させるという、
1:44:10	ように、
1:44:12	受け取ったんですけども、
1:44:16	今ですね 8 ページと 15 ページは、かなり似たような項目があったりなかったりで、
1:44:22	その厚かいいがこれ、
1:44:24	ちょっと微妙なんですけども、
1:44:27	管理課のちょっとご意見もし聞かしていただければと思うんですけどいかがでしょうか。
1:44:32	はい。規制庁の長谷川です。まず、せっかく行ってみとうCみたいな話については、9 月の段階ではまだ全然見通せてないので、
1:44:46	それは見通せた段階でやればいいんじゃないかっていうことで、まずは今回、三藤椎野井も出てないのに、確かに中央地盤だけは、
1:44:58	今回説明をすることによって、原燃としての見通しはえられるのかもしれないけれども、我々とのあれもないし、イシイヒガシの話も一切出ない中で、
1:45:14	今回、別に議論にする必要はまずないのではないかとということで、とで、この 15 ページは確かに 8 ページと一緒にんだけど、
1:45:25	多分重要なのは、この 15 ページじゃなくて、15 ページから連動した、この後ろにある。
1:45:34	ボーリングをどこを掘る、追加ボーリングはこんなことするんだとか、岩石コアこんなことするその場所はどこだみたいな。
1:45:45	そういうスケジュールあと次の内田が 17 ページ 18 ページが、比較的重要なんじゃないかなと思ってるんですよ。だから一定のちゃんと計画を立てて、原燃やるんだねっていう説明は、
1:46:01	すると。だからこの 15 ページなくして 8 ページから飛んでもいいんだけど、うん。この 1078 をある程度説明して欲しいなと思う中で、
1:46:11	ちょっと並び方とかそういう中身の子、
1:46:15	言葉についてはちょっと別問題だけど、

1:46:20	そんな感じでいいのかなとは思ってます。
1:46:23	よろしいですか。北崎です理解しました。5、8 ページはどちらかという 要員に対する全体像のような位置付けで、そこにスケジュールが入った りということなんですけど、
1:46:35	15 ページは、それを補完するような補完といいますか、より強固にする 兵庫にするような形での追加調査の話だとか、
1:46:46	それがソフトの検討内容の話だとかですね、そういったことを、今これ、 15 ページには、その予定の期日も書いてませんし、内容も、
1:46:59	書いてあるものと書いてないものもあるんで、次の 17 ページ以降とのリ ンクを張りながら、今後の対応ということで、15 ページをまとめていくと。
1:47:11	いう。
1:47:12	ように受け取りましたので、ちょっとそれは原燃の方としても、そういった 準備をしてもらえればと思いますが、いいでしょうか。はい。日本人のノ ートでございます。
1:47:23	はい、理解したと思うんですけどちょっと 1 点確認させていただこうと思 います。いろいろ定義から今のお話踏まえますと、このですね今は岩盤 の下水道サノヒガシの話なんかも書いてますけどもこれはもう前のとこ ろでもうやめて、おしまいしてしまって、ここは、
1:47:41	1 月までに出していく、追加調査の説明のパートにして、後ろの 1078 ペ ージ。
1:47:53	いや、ごめんなさい。これは 101 はいると思ってます。
1:47:58	まず一番。
1:48:02	ミツイ。
1:48:03	規制緩ハバサキさん東西の話を、15 ページからに組んでいかない。
1:48:08	ちょっと佐治さん。すいません。ノモトの割と日本ケツクアノそういう意 味で 15 ページをは
1:48:18	いるのはわかるけど、1078 を、この参考しといていいのか、前に持って いくのかいいのかちょっとこれ、ちょっと我々厳守考えなきゃいけないか なというふうに、
1:48:28	今の話でいくと、やはりこの辺きっちりですね、説明した方がいいんであ れば、参考というよりは、本体側に持っていった方が、
1:48:37	座りがいいのかなというのをちょっと今、話してコメントを受けて、思いつ いたところでは、ちょっとそこは検討させてください。はい、規制庁の技 術アノリンクある形でもわかるんですけどやはり本体に入れ込むという のもあると思しますので、

1:48:51	そこは全体の全体でちょっと、先ほどからの6から見ると、6、6から見直し8を見直すとなってるんでちょっとデータ構成も変わってくるかと思しますので、その中で、
1:49:03	ボーリングの、今の1078を外に置いておくのかもう中に入れるのか、ちょっと内部でもう少し議論したいと思います。
1:49:13	規制庁浜崎です。ちょっと話が変わりまして8ページ、ちょっとこれも細かい話になるんですけども、
1:49:20	ポチのところ、今ステータスとして官僚ですねポチポチになってますんで、基本的には前回会合で、大枠というか、
1:49:31	我々が聞いたというスタンスですけども、完了ってのはあくまでも原燃のスタンスというふうに理解してて、
1:49:38	例えば日元支店長の話なんかはこれ来週の08のヒアリングでもですね、いろいろやはり疑問点といいますか。
1:49:47	また確認したいと思ってますので、そういう準備をしてもらいたいというのが一つです。
1:49:53	それから、これは確認なんですが、Cの減衰のところの一番上のところ、既往の繰り返し3時期、3軸圧縮による評価。
1:50:03	これ完了っていうのはどういう意味ですか。これ、建設時にやっているというんですか。
1:50:10	完了ってこういう環境って何よ。
1:50:12	せえっと、うん、これ。
1:50:15	説明。
1:50:17	済みとしないですねはい。はい。
1:50:21	みんな知ってた説明済みです。説明する、ちょっとお金が飽きちゃうわけです。わかりました。
1:50:30	説明しているかしてないか。
1:50:33	をもって完了ということ。そうですね。前説明しましたというそそういうふうになります。はい。はい。
1:50:42	正確だと完了じゃなくて、説明済みというのが、
1:50:46	そう。
1:50:49	完了時審査資料には、いつかはしないと、すみませんでした。
1:50:54	はい。規制庁浜崎です。そうですね。説明予定、説明済みの方がわかりやすいですね。はい。はい。
1:51:01	それとあと、規制庁、鴫田さん、一番下の方。
1:51:07	②のですね、

1:51:10	斑のところは、
1:51:13	うん。
1:51:15	ナツメってなってますけれども、
1:51:19	これ、後程出てくるっていう、
1:51:23	11 ページからの 4 枚物の話。
1:51:26	はい。よろしいですか。
1:51:28	宇野でございます。その通り、別紙で、今回、表層の分析、
1:51:35	では、もう設定のところまでご説明する性格でございますので、ここはこ ういう書き方になっている。
1:51:45	はい。イセチハラ技術、ステータスはに對します動き、すいません。
1:51:51	ハセガワですけれども、ちょっとだけ今、
1:51:54	資料気づいちゃったんだけど、この 8 ページとかは多分全体、もう 1 回 検索してもらったほうがいいんだけど、何か見通しを得るっていう言葉 があるじゃないですか。
1:52:06	はい、8 ページの 2 ヶ所ぐらい今見つかったんだけど、結局、この子そこ がおかしくて、見通しを得る話をしてるわけじゃなくて、
1:52:16	全体としてやるべきことが何だなんて、
1:52:20	まず見通しを得るっていう言葉は全部、
1:52:24	この資料からは削除すべきじゃないかなと思うけど
1:52:27	はい。先ほどからずっといただいているコメントで 6 ページから 8 ページに かけては見直しが必要だという認識です。それとイせていただくと、14 ページにもですね、総合評価とこう書いてしまってるけど、
1:52:42	ここもですねまだ最後はボーリングでもって、確認して決定するところの 話をちょっと、もう評価って書いてしまってる 14 ページもちょっと船が走 りすぎてますのでこの、
1:52:52	評論リーダーさんにしろ、食べてやりますという内容がこうですという中 で、今回、今日、
1:53:02	ここまで説明しまして、ただそれだけなんだよね。
1:53:07	うん。そういうふうにしといた方がいいと思いますはい。
1:53:12	承知いたしました。来年日本原燃決得です。はい。
1:53:15	はい。規制庁岡崎です 8 ページの表に関しては、今野管理官それから 冒頭ですね、カミデの方からも話がありましたけれどもCポチのところの 構成もですね、かなりこれ、
1:53:27	また見直されると思いますので、はい。

1:53:30	ある意味ここが、前段のポイントとなるところという理解しますので、修正をお願いします。
1:53:36	8 ページに関しては以上です。
1:53:43	規制庁、丹治です。この後、もう 1 回また、6 ページから、
1:53:53	そう。
1:53:54	ページじゃないか、6 ページからまたお話を聞いていって必要に応じてまた 085 を紹介してもらいながらってという感じです。
1:54:03	ないんですけど。
1:54:07	2 時間ぐらい。
1:54:09	断っちゃってるんで一旦休憩を入れる。
1:54:13	とあと、
1:54:14	振替リースにはすごい中途半端なんで、まだしなくていいんですけど、
1:54:19	一応今どんな感じか。
1:54:21	どんな形でまとまってるかっていうのだけ休憩だけちょっと見させてもらって、
1:54:28	パッと
1:54:30	振り返りの掲載だけ見て、また、6 ページから説明が出てくると思いますけど、それでいいですか。
1:54:36	はい。
1:54:37	新野でございます。承知いたしました。
1:54:41	はい、規制庁ヶ月じゃ、10 分で 35 分開始ということで、よろしく。
1:54:48	ダンロップを求めます。
0:00:01	はい。規制庁、深見です。それではヒアリングを再開します。今、
0:00:06	とりあえず現段階での振り返りという形で、
0:00:10	移してもらってますけど、特段中身の説明は不要で、今、打つ手の共通なので、ちょっと耐震オカ今どんな感じでまとまってるかみたいですが、
0:00:21	耐震の話と減衰の話と表層の話がちょっとタナカでも共通でちょっと書いてます。はい、規制庁カミイチここまでで 10 項目、はい。ちょっと共通ところ聞いてるんですか。
0:00:38	共通の、
0:00:41	はい、イトウスの話。
0:00:55	はい、規制庁カミヤアノ。

0:00:57	二つ目のところで書いてますけどロジックっていうか考え方と実際やっていくことないよっていうところでやっちゃう。
0:01:05	書いてもらうっていうことかと思います。その下減衰の方とかってどんな感じで書いてますか。
0:01:16	はい。規制庁、岡部です。
0:01:21	うん。
0:01:22	ええ。
0:01:24	いずれにしても、また金曜日対応方針という形で書くときにはこういうふうに、このページの、こういう内容、こういうふうにしますという形で出して欲しいなど。
0:01:35	今の段階だと何とかすることみたいな感じですけど、方針になるように、これからもちょっと始めたところなるべくその対応方針的なところで話が求人をもとめてもらえればと思いますので、よろしく。
0:01:49	します。はい。でしょうか。
0:01:51	とりあえず、私が規制庁さんの今減衰の0はちいの小内容っていうのは、これ。
0:02:02	減衰の話だけではないんで、
0:02:06	どちらかという共通。
0:02:07	の方。
0:02:11	はい。6ページ。
0:02:18	やってきました。はい。
0:02:21	はい。正当化ではまた振り替えや作業になっておりますので、
0:02:27	はい。
0:02:28	明日ごめんなさい。
0:02:31	振替最後にやるっていうことであれば最後でもいいのではありますけど、
0:02:36	一番最初の見通しのやつって、
0:02:39	いろいろ等議論ありましたけど最終的にはこれでいいんですか。
0:02:45	基本的に機能でございます。そうですね。
0:03:00	ちょっとまず見通し。
0:03:02	ていう
0:03:04	なんですかねと、を得るっていうゴトウを前面に出すようなご説明は、ちょっと今回は、そこまでやらないと。
0:03:15	ということだというふうには理解してます。

0:03:18	我々の、そうですね。今まで見通しって言い方しましたけれども、標準モデルをまず一旦設定するまでの、
0:03:28	その後、
0:03:31	実施上、実施のロジックについて、ちゃんとこうを補うできているという。そうですね。
0:03:44	見直し。
0:03:50	ここで言うてることあれですねまず、基本地盤モデルの一旦設定の、までに何をやって何が足りなくて、そのあと最終的に基本地盤モデルを設定するまでにやらなきゃいけないのかと。
0:04:07	いうことをわかるように、ちゃんとそれぞれのプロセスでやるべきことを整理すると、いうことをここでは言わないといけないのかなというふうに理解いたしました。
0:04:20	規制序日下です。
0:04:26	そうですね。とりあえず見通しはないっていついかながら見通しの整理をしていきますって書くのは、
0:04:32	もう余りにもナンセンスなので、
0:04:35	整理をしておいていただきたいんですけど。
0:04:39	私が言ったその対カー調査の位置付けっていうのも、元に立ち返って、データが不足し、何だろう、式の状況に応じた設定をしていきます。
0:04:51	についてはデータが不足していて
0:04:54	調査をしていきますということであれば、もう最初にその位置付けが明確になり、
0:04:59	もう一つその位置付けとして話をしなきゃといったのは見通しの関係で、阿藤。
0:05:07	見通しの後にやるものですみたいなことになっちゃったり或いはデータを反映しませんみたいなことになっちゃっていたので、それは何ですか。
0:05:16	というようなこと等を明確にしていていただかないとってということなんですけど、後段の話はその見通しと言って解析を始めるみたいな時に、
0:05:27	どういう扱いをしていくのかっていうことを言っていたらいいので、
0:05:33	大枠で言えばロジックちゃんと整理して、
0:05:36	ということになるんですけど、
0:05:39	整理を、今日話を踏まえた、しっかりとした整理を6ページでやるようにお願い

0:05:48	はい。日本エヌ警部です。了解いたしました
0:05:51	6 ページの方に、浜崎さんからも割れの姿勢が見えないとも言われてますので追加調査、特に追加調査の位置付けを明確にしていくことで、ロジックも明確になってくると思いますがその辺ちゃんと内部で議論して、
0:06:05	整理して資料に反映したいと思います。ありがとうございます。
0:06:15	はい。カミデです。
0:06:19	また資料に戻ろうと。
0:06:22	また似たような話にもなっちゃいますが、介護資料の 6 ページで言うと、
0:06:30	そうですね。直すっていうのがどこまでなのか特に特に反省を踏まえた対応の一つも
0:06:40	あまり個人的には先ほど違和感がなくて、後にこれ一に対応するものがこの源泉なんですっていうのがあれば読めるようになるしなど。
0:06:52	思うので、
0:06:55	とは思いますが、
0:06:57	対応関係が崩れないっていうところ。
0:07:02	あと
0:07:03	やっぱり前回の会合資料見てますけど、
0:07:07	一般的標準的なものが、基本自分もずっと言っていたところ
0:07:13	そこをまたちょっとチューニングしてっていうので、
0:07:17	資料にあれこれ書く必要はないですけど、介護のところで少し説明をいただかないといけない。
0:07:23	いうところだと思います。
0:07:27	6 ページのところでは他規制庁が変わりますか。
0:07:35	僕です。私も、
0:07:38	カミデの言ったこととほとんど変わらないんですけど、
0:07:41	これ、この資料、前回と何が変わったのに説明しなきゃいけないと思ってこのページ作ったのってのがすごいよくわかんないんですよ。なのでその点、明確にしておいて欲しいなと思ってて、
0:07:54	いわゆるフタミナリタその保守性合理性ってところが新しいんだったらそこにアンダー引いといてもらうとか。
0:08:02	そこで、
0:08:03	わかるようにしてくださいってプラス、口頭説明というのでそれはそれで構いませんのであんまり、

0:08:09	その文字をふやすというよりは、ポイントが明確にということで、先ほどのロジックっていうのも含めてですけど、
0:08:19	はい。
0:08:22	前回からのあれですね、追加の検討意向をこの中で明確にすると。
0:08:28	横ずれさせていただいて、ごめんなさい、検討委員会の検討事項ではないように、対応方針の方は前回から何か付け加えたことがあるのかとかっていうことなんですけど、逆に言うと、前回説明したのをもう一度説明してくれるなということなんですよ。
0:08:42	うん。
0:08:45	資料としてそういうところを明確にしないと説明しないと説明端折り上がってにしかなくて、はい。
0:08:52	だけど、説明すれば何が違うんですかって聞かなきゃいけないって言う、すごい面倒くさいんですよ。
0:08:57	はい。はい。はい。
0:09:00	なので、説明者は常に切手のことを考えて合理的にやってください。
0:09:08	はい。承知しまし
0:09:11	た。
0:09:13	そうですね。
0:09:14	今回説明すべき事項を明確にしていくということですね。
0:09:19	わかりました。
0:09:22	はい。そんなことはその通りです。よろしくお願いします。はい。
0:09:28	前の方でございます。ちょっとここ1、ちょっと
0:09:33	日本のケツクアノ6ページのところはですね先ほどから出てるロジックのところ追加調査を含めてロジックのところ、ちょっと見直しが大幅に
0:09:44	特に上段のところの曲がる漫画みたいなのところも入ると思いますので、へ、前回から何が変わったのかといったところが明確にできるのと、今日は何を説明するのかと。
0:09:55	そういったところのホリグチに当たるところだと思いますので明確にしたいと思います。
0:10:00	以上です。
0:10:07	藤規制庁カミイチオカ2ページはよろしいですかね。
0:10:13	次7ページですけど、
0:10:16	です。7ページも、
0:10:19	これも

0:10:22	そんな、何でこのページ作ったんですかっていうのがあって、ねらいとか、まず、ねらいだったり、今話があったようにここ新しい話ですっていうのがあれば、
0:10:33	まず説明してもらいたいんですけど、来年、
0:10:36	安全機能でございます。
0:10:39	ここ言いたかったことは要員機がどうやって出てきたかというところをご説明するというのもう一言でいうとこのときの目的だったと、いうふうには思っております。むしろ、
0:10:51	はい、規制庁カミイチ確かに、多分そうなんだろうなと思って用イシイがいろいろある中で四つに絞られるんですっていう説明をしたいんだと思うんですけど、今現状そうだってないんですよ
0:11:05	表では割と丁寧にこれってこういうもんですよって言いつつ、4市に絞られるのって3ポツのところ、いきなりポーンって言っているだけ。
0:11:15	ですから、どういう工夫がいいのかなっていうのはあるんですけど、本当だったら表のところですね。ええ。
0:11:26	形で、
0:11:28	こういうところが論点になりますと言ってABCDで出てくれば、組みやすいのかなと。
0:11:36	けど、ちょっとそのあたり
0:11:38	工夫をしてもらいたい。
0:11:42	もう一つ言うと前、ヒアリングで話したときには
0:11:49	岩盤表層後さらにその下の値、解放基盤でいいか。
0:11:54	3×3になりますよって話をしましたけど、その一番下はいいんです。補足レベルで説明してるから開口ではそこは言わなくて言えば、
0:12:05	表層と岩盤だけで話できればいいかなと、まずそんな感じですか。
0:12:10	日比野でございますはい。おっしゃる通りです。
0:12:15	はい。清長官わかりました。いずれにしても、そういうことであれば、2ポツで登場人物、全体を相撲さんで、四つに絞られるっていう様をですね、もう少し表の中を、
0:12:29	工夫するなりして、表現できればしてもらえればなど。
0:12:35	いう形です。どうもあれですよ。下のパートの人たち、伊勢さんまでだけがいるのか、その
0:12:43	今話をしたいっていうと、多分いらないので、
0:12:47	取捨選択をして表現してもらおうと。
0:12:52	ことでお願いします。

0:12:54	了解です。
0:12:55	ございます。周知いたしました。ちょっと目的に、向かっていく説明できるような、ちょっと表現を、すいません。工夫されて、
0:13:07	はい、規制庁水間一直線。
0:13:12	はい。
0:13:13	他7ページで規制庁が変わります。
0:13:16	はい、規制庁ナカザキですこれ表は消すんですした。
0:13:20	派遣の方でございます。今消すということを明言はしませんでしたけれども、この表から説明し始めるのはちょっと、
0:13:30	冗長かなというふうには思います。ちょっとわかりやすいやり方、工夫しようと思います。はい、規制庁岡崎です特に右側の説明のところを、
0:13:38	部長が説明されているように思っているのと、あと例えば単位体積重量 γ_t で、ディーゼル出す時にわろうになってっていうかですね。
0:13:48	ここ、やはり数ならしっかりと、
0:13:51	正しく書いてもらいたいと思います。
0:13:55	県の方でございます。ちょっと書く必要がここであるのかと言うことを含めてですね。はい。
0:14:02	わかるよ。わかる人はわかるんですけど。はい。
0:14:09	補足です。
0:14:11	わかる人はわかるけどわからない人はこれでもわからないっていう状況。
0:14:19	できればどこかでわかるようにして欲しいんですね。
0:14:22	この効能、図面とかでも、G0が出てきたりろうが出てきたりとかってくるんですけど、これが結局食う。
0:14:30	どういう影響が出るの。どっちがどう考えると、必要があるのっていうのを、
0:14:37	言ってもらった方が理解しやすいと思うんですよ。
0:14:42	それで言うと、今図、単位体積重量のところG0剛性に寄与ですけど合成って、
0:14:52	耐震評価でどう効くのっていうのはっていうのは、
0:14:56	このG0行くと、
0:15:00	形、こういう計算に用いるものですけどだけになってて、企業が書いてないんですよ。
0:15:06	いうところで結局、書いてないんですよ。

0:15:10	なのでここで書かなくてもいいですけど、そのあたりのそのパラメータの意味合いとかっていうことは、耐震上の影響がどう出るものなのかっていうのは、
0:15:22	検討いただければと。
0:15:25	現実でございます。はい。
0:15:27	今いただいたコメントを踏まえますと、
0:15:32	もうその説明自体は、ちゃんと残して、説明を、そのパラメーターの位置付けを含めて、ちゃんと書き下すと。
0:15:42	言ったような形でこれは、これでセットして、そのよ、4市に絞られるというところに対しての説明を
0:15:55	もう少し
0:15:57	ぱっと見てわかるような、説明をちょっと加えるという形になるのかなというふうに理解いたしましてちょっと工夫を考えたいと思います。以上でございます。
0:16:13	はい、規制庁カミイチコサクです。
0:16:15	どうぞ。
0:16:16	あとですね、
0:16:19	このページの意味合いちゅうことになるんですけど、
0:16:24	容認しようっていうところは前も、こちらからも言っていて、わかるんですけど、これ一つ目のポツの、
0:16:34	記載がこれも前々から言ってますけど、
0:16:37	けっきょく。
0:16:40	設計に用いる地震入力地震動を12グループで作るんですかと。
0:16:47	いう質問に対して、この記載だと、もう12グループでやるんですっていうことで読むんですけどいいですね。
0:16:54	県の方でございます。これはこの、今までのシステムを受ける検討を12分でせ、開始しておりますので、そのところを、事実関係として、括弧つもりでは書いたところなんですが、
0:17:08	ただこの内容ですね、先ほどのコメントをいただいた前回と何が違うのかっていうと前回、何も変わってないところではありますのでちょっとここに書いてるの座りが悪いなというふうには思い始めたところでございます。
0:17:25	はい。
0:17:27	ちょっと、そういったこれもロジックなんですけど、

0:17:31	確かにここに書くことではないかなと思いますけど、この関係は、じゃあ、
0:17:39	もうあれですかね、話をしてるから今回話すものじゃないってことですかね。
0:17:45	前の方でございます。そうですねもう 12 グループプーの設定を、全然もうちょっと検討進めてきているというところにまた戻るとそれわあ、ちょっと、
0:17:56	御説明としてちょ、かなり標準なのかなという気もして参りました。ちょっともう、
0:18:04	ちゃんと続けたいう意味では言わないというのも一案かなというふうには思い始めております。
0:18:11	はい。古作です。12 という数字が大事というよりは、プロセスとしてこれは
0:18:18	地盤モデルの設定をするというアクションなのか多くはいえ、大きく言えばそうなんですけど、
0:18:25	そこまでいってなくてまずは敷地の特徴を把握するっていう、
0:18:30	フェーズだと私はずっと思ってたんですけど、もう設定にあたってはと言って設定をやりますみたいになっていて、
0:18:39	何の話してんだってのがごちゃごちゃのまんまなんですよ。なので書くときはちゃんとそのフェーズがわかるように整理をしてください。
0:18:48	はい。原因の方でございます。表記いたしました。赤くならばアオキあとそのところが、整理ができないということではい。
0:18:58	ちょっと検討させていただきます。
0:19:03	規制庁コサクです。同じく、現時点におけるデータを用いていうのはとりあえずあるものを使いますよっていうのはその通りなんですけど、すべてという言葉がない等、
0:19:15	申請、
0:19:19	モデルでの
0:19:22	不十分さで、今回何をやるかっていうところが表されてないと思うので、結局書く場合は側面をつけてください。件ございました。すいません。全く同じことを私も思っておりませんアノたします。ありがとうございます。吉田。
0:19:51	はい。岡部です。他、7 ページ、よければ、
0:19:55	次は原口です。
0:19:58	衛藤。

0:20:00	ですね、何だっけ。これもあれか。
0:20:05	ちょっと今後いろいろ細かくなってくんじゃないですけど一つのポツなくなると思っているですかね。
0:20:09	2年ノモトでございます。私は今なくす方向で、心が傾いております。ちょっと社内で議論させていただきます。
0:20:18	わかりましたこの文章本当に一つ、
0:20:21	1区切りずつ疑問がある、用語ばかり使われてるので、はい、整理をしてください。
0:20:29	以上です。
0:20:31	はい。規制庁加賀です。他7ページはよろしいですかね。
0:20:37	なければ8ページですけど8ページは最初に大分話をしましたが、何かありますかってポツ1ポツも含めてですけど。
0:20:52	補足です。
0:20:54	でも結局どうなるんだかよくわかんなくなっちゃったんですけど、
0:20:59	追加調査っていうのは、そもそもデータが足りないからやるんだっていうことからすると、
0:21:10	何ですかね、既往のデータを何とか、追加でこういうのを取ってきます。1現状の書きぶりでも何となくいいような気もするんですけど、
0:21:20	結局どうするんですしたっけ。
0:21:24	見通しっていうのを消すっていうことからすると、
0:21:28	住民の方でございます。すいません、今おっしゃっていただいているのはCポツの一番下とかいうこと書きましたとか、
0:21:36	いや、一番下じゃなくて全体。
0:21:40	8ページのですか。
0:21:42	はい。
0:21:44	その結果、先ほどカミデが構成を変える方がとかっていう話もしてたような気がしたんですけど、私の勘違い。
0:21:53	おっしゃる通りです。今Cポツであれば、123というのはこれがプロセスに基づく、1になっていく、12123%ということになっていくということだと思っておりますし、
0:22:05	市が今、厳しく言い方しますけれども、基本地盤モデルの仮設定といいますか一旦設定に向けてのプロセスとそれから、一旦設定したのに対して、ごめんなさい、補足です。はい。それがそもそも違うだろうって管理課に言われたんじゃないの。
0:22:22	あれですね見通しを得るっていうことじゃなく、

0:22:27	出るためのワーク。
0:22:30	うん。
0:22:30	うん。だから見通しのつていうこと自体はもう、これ記載から削除するということにはなりません。
0:22:37	で、検討ステップで進んでい
0:22:40	て、パラメーターを設定して、一旦基本基盤ホテルを設定して、一旦設定したものに対して、追加の足りないデータを出し、
0:22:53	そういった形で最終的に妥当だとかの総合判断を行って、最終的には決定すると何かそんな書き方になるのかなというふうに思っていました。
0:23:07	コサクですけどすみません一旦設定してつていうことも見通しを得るみたいな話に繋がるような気がするんですけど。
0:23:15	規制庁河辺です。
0:23:19	あれですよ、まず前段でデータは足りないですよってなっちゃうんですよ。
0:23:25	なんだけど、鍵とか見通してという言葉は、なぜ使わないという、
0:23:32	なるともう基本、足りない中だけ、事業者のオールディスクで、この基本地盤高アノ作っちゃいますと、そんな感じなんじゃないですか。キーワード。ただ、
0:23:47	つなぎ合わせようと思うコサクコサクですけど、そもそもここは二つあって、
0:23:53	結構データを集めますつていうことだけ書けばいいんじゃないですか。
0:23:58	データを集めます分析しますので、8 ページは見通しとかいう話ではなくて。うん。見通して仮設定言葉はちょっとすいません。考えますそれは、
0:24:08	15 ページ最後の話であってここはやるべき内容を書くだけですので、見通し得るとかいうワードもおかしいですから。要は、見通しは田井ですけども見通しを得るためにせなあかん事しなきゃいけないことのリストアップで、
0:24:22	ほんで本日説明かどうか住んでるか住んでないかといったところがわかるように、見直したいと考えてます。
0:24:29	はい、長田です極論言うと、モデル設定自体もあんまり、
0:24:34	いらぬような気はしてて、
0:24:37	各種データの嘘。
0:24:40	関係性なり、設計に用いるにあたっての、

0:24:44	総合評価というか検討というか分析というか、
0:24:49	いうことをやりますよっていうのは、ここの中だと思うんですけど、それを踏まえて決めるっていうのは、外でもいいような気はしてますんで、さらにその決めるっていうのの順番として最後とか何とかって言わなくても並行して検討してればいいんであって、はい。
0:25:05	並行して検討してる中で、仮に、こうしてみたらみたいなことを、原燃が考えてってるっていうことだと思うので、
0:25:14	その点も含めてこの表の書き方っていうのを整理をしいてもらえればと。
0:25:20	住民の方でございます。ありがとうございます私今すごくスッキリしたんですけれども、この中ではパラメーターの決め方の最終結論に至るまでのプロセスを書くと、
0:25:31	いうことで基本地盤モデル云々っていうのはもうここから切り出すといったような整理でやると、この4ヒライスベンということですかっきりするのかなど。
0:25:39	いうふうに理解いたしました。
0:25:58	はい、規制庁、伊丹さんほか8ページでありますか。
0:26:09	はい。規制庁。
0:26:12	次9ページで、減衰の話ですが、
0:26:18	日本語が変なところはチェックしていただきますねと。
0:26:31	はい、清町カミイチアノ。
0:26:33	規制庁側から、中身について、
0:26:37	お願いします。
0:26:45	何ですか。規制庁浜崎ですちょっと定性的な話になってしまうんですけれども、
0:26:50	中央地盤については、一応こういう数値でっていうのが、
0:26:55	成果として、現時点でられたということで、それが9ページ10ページなんですわね。
0:27:01	それと今流動化は、
0:27:03	話なら、先の話なくて1034、これも2ページです。
0:27:07	要は、
0:27:09	県庁考えると、
0:27:11	10ページ10ページの話でもう少し中身をしっかり説明が必要じゃないかなと思うんですけども。

0:27:20	文字をふやすとかページをふやすのは、必ずしも得策じゃないんですけども
0:27:27	例えば、6.8をどうやって作ってきたんだろうな。
0:27:31	そこら辺の説明だとかですね、
0:27:34	現時点この時点での中央の。
0:27:37	結論、ある到達点という説明。
0:27:41	は、
0:27:42	少ししっかりと、
0:27:43	内容説明が必要だと思ってますが、
0:27:46	はい。ないですか。元年度でございます。はい。承知いたしました。確かにそうですね検討の、
0:27:54	県庁から考えると申す。
0:27:56	根拠なんかをもう少し丁寧にちょっとご説明できるということで受けました。はい。
0:28:07	衛藤コサクです。今の点ですね。はい。
0:28:12	そもそも9ページと10ページどう繋がってんだっていうようなことがあって、
0:28:17	9ページ一通りネタをそろえ、
0:28:23	9ページ、或いは前回までっていうことでネタをそろえそれを踏まえて、
0:28:28	10ページで分析してるっていうこと。
0:28:32	の構成をしてるかのようにも見えるんですけど、ハバサキが言ったように、ここ6.8って書きちゃってますけど6.7っていうのが何ぞやとかっていうところがなくいきなり出てきてるとか。
0:28:48	室にこのページでシミュレーション解析結果が出てきたりと。
0:28:52	というようなことがあるんで、
0:28:55	その検討のプロセスなり何なりとで出していくものっていうのが、何かアンバランスなような気がするんですね。
0:29:03	定例。
0:29:05	その点ではどう。
0:29:09	すればいいとかっていうのをお考えありますか。
0:29:12	辺見でございます。
0:29:14	これ多分、清さんの方の議論でもありましたように、
0:29:19	ですねえ、この

0:29:23	周波数依存原水Dやるのが最も同定が適切だという話と、それとですねこの井清についての同定の結果の扱い等の
0:29:36	位置付けのですね再整理が必要なんだというふうに思ってます。今のちょっとこの記載はですね、周波数依存がよくありますんで一定ケースは保守的です。で、
0:29:48	いうので、6.7が
0:29:51	それは保守的値として一旦は設定できますみたいな、ロジックで書いてたんですけども、ちょっとその位置付けも少し変わると思いますので、ちょっと検討させていただきたいと思います。
0:30:05	はい。補足です。この整理をした上で述べていただくということが確かに大事なんだろうと思うんです。記載ぶりだけの話でいうと9ページワー
0:30:18	基本、ポイントだけを矢羽根で書いてあって、
0:30:25	先ほど、ハバサキが言ったように、
0:30:29	評価結果を示す通りとかっていうところだけになってて、それ方が良いつて、
0:30:36	ただ言うっていうので、何があったかっての全然わからないっていうのは説明が足りないっていうことだと思うんで。
0:30:43	ええ。
0:30:45	整理していただきたいんですけど。
0:30:48	それと、次の矢印で書いてあることと上の矢羽根とはどういう関係になるんですか、上記の通りとかってますけど、二重に行ってるような気もするし、
0:30:59	必要性がよくわかんないんですけど。
0:31:01	元の大戸でございます。えっとですね矢羽根の三つ目のところは右方バイリニアが整合性がいいということ言ってるんですけども、その矢印の後で言ってるところはですねどっちかと言えばやっぱりIPニワより守屋だよねということ言いたくてここは、
0:31:16	ちょっとくどくど説明すると、いようなところにはなっています。
0:31:24	ここ変えたときの意図はそうです。ですけれどもちょっと先ほど言ったような位置付けの整理をすると、いろいろ変わってくるかなというふうには思ってます。
0:31:33	はい。補足です
0:31:35	その自問自答してるようなところ文言と書かれてもこちらは読み解けないので、

0:31:42	最終的に整理をして、何を説明すべきかというのでまとめていただければと思います。
0:31:48	次のページにも関係するんですけど、
0:31:54	これまでのヒアリングとかでの話でもうリニア。
0:31:59	よりは、物理的にはバイリニアの方がいいはずというような話をして、
0:32:05	いたり、さらに自身は各商法で言えば、
0:32:12	周波数依存性がないような感じのデータになっていたりと。
0:32:17	というような古藤なんですけど。
0:32:20	そういう状況を踏まえても、単純にその地震観測記録でのシミュレーションのデータだけでこうであるって、なぜいえるんだろうというのがよくわかんないんですけど、いかがでしょうか。
0:32:35	はい、原燃のオガセです。こちらすみません今会合資料には正直書いていないというところははい。実際のところでございます。その辺の考えというのはすみません一応この耐震建物 08 の補足のところでは、
0:32:47	一応考えは書いているつもりでございますのできちんとこちらの対応資料にも書くべきだというふうに認識をいたしました。一応ちょっとご説明をいたしますとちゃんと介護資料に後で反映するというのは当然といたしまして内容としましては、
0:33:00	まずリニアとバイリニアがあって、物理的に現象論的に佐橋さん、磯です。ごめんなさい。せつくなので、耐震建物 08-7 ページですずっとおつき合いいただき、かしこまりました社長。
0:33:21	はい。日本原燃のオガセです耐震建物 08 の通しページの 433 ページのところでございます。
0:33:36	どうぞ。はい。はい。日本原燃の長谷です。こちらの 7 ポツ 1 のところに書いておましてここではこれまでやった検討を、もう何ていうんすかねこの流れ的にまとめているところですので個別はここで、
0:33:47	各パートで引用されている 5 ポツとか 6.3 とかっていうようなところに書いているデータとかは書いているところでございますけれども、まず今回この地盤の、すみません地震観測記録を用いた同定というところで、
0:34:00	現象をよく説明しそうなものとしてリニアがバイリニアというものがあると、どっちがよさそうなんだろうというふうなことは当然考えるわけですが、リニアのバイリニアも観測記録の何ていうか再現性という意味では遜色がなかったと。
0:34:13	一方でその時に他の調査を見てみようというところで、この 7 ポツ 1 の 1 段落目に書いてあるところ、S波検層の結果っていうところがあるんで

	すが、これが高振動数側で信頼性を持っているようなデータであるというところを踏まえて、
0:34:27	そいつで何ていうんすかね。周波数依存性があるかないかというところを見てみましょうというところを確認した結果、どうやら、今のところ獲られているデータではその進藤翠造成というところが、ちょっとうちの敷地ではあんまり明確には見えなさそうだとこのところ。
0:34:41	さらに、実際に地震観測記録の整合性を見たらリニアのバイリニアも遜色がないこと、その短周期側に与える入力地震動の算定に与えるような影響というところがない、そういったところを確認したことで、
0:34:53	うちの敷地としての実態としては、さっき申しましたSR検層といった調査の結果、あと乾燥記録という観点その両面から見ても、バイリニアというようなところの元、現象論的な話としては、あまりそれが顕著なものにはならないつまりリニアで考えておくのが、うちとしての
0:35:09	いわゆるas-is的な考え方であろうとそういうようなちょっと結論に持っていたというようなそういうようなところの考えでございます。
0:35:18	補足です。何か言ってることが
0:35:21	ちゃんと理解できなかったからなのかもしれないんですけど、何か逆転してるかのような気がしていて、
0:35:28	高周波数側
0:35:31	依存性が認められないというんだったら、高周波数側大井、横にして設定しているバイリニアの方がいいような気がするんですけど。
0:35:41	日本原燃のオガセすみません、もしかして日本語を逆に言ってしまうして申し訳ございません。高周波側で、一定になる傾向が見えない。ずっと、何て言うんすかね単周波数依存が、井清が続いていくというそういうような意図でございます。それをちょっと今、
0:35:55	お示ししますけれども、
0:36:03	少々お待ちください。
0:36:10	はい。すみませんお待たせしております。日本原燃のオガセです。里耐震建物 08 の通しページの 337 ページをご覧くださいと思います。
0:36:28	はい。こちらのグラフをお示ししておりますけれども、この前のところの例えば 335 ページで文章でもその考察は書いているんですが、特に今回
0:36:39	ある程度、大体観測記録再現できてるねというような中央地盤のところに着目すると、この 337 ページの真ん中段のグラフになるわけでございますけれども、

0:36:49	その中のちょっと画質もちょっとよくなくて申し訳ないんですが、バツでプロットされた、右肩下がりのやつ、これを見ると、高振動数側で一定になるというような傾向というのは見られないっていうようなところが見られますので、これはやはり我々の敷地として、そういうような傾向というところが明確には見えないところリニア型に近いような状況になっているというのが長佐川から指示、
0:37:09	出ているというようなそういうような状況になってございます。以上です。
0:37:15	補足です。これはあれ。土肥。
0:37:17	宇井。読み解けないですけど横軸はヘルツ、D。
0:37:21	20 何ヘルツ。
0:37:24	ていうところにデータがあるってことですか。
0:37:27	はい。日本原燃のオガセですおっしゃる通りです 20、2020 日 14 から 30 まで入っていたがあるということです。
0:37:36	家族わかりました。そうする等、介護用資料での 9 ページの
0:37:42	図で言えば、もう、
0:37:46	はい。構内右側にあるってということですね。はい。日本原燃オガセですおっしゃる通りですただやっぱりこれがわからない。各調査の位置付けが、評価官の位置付けがわからないとご指摘をいただいているところの、
0:37:59	話だと思うのでやはりこの時のリニアでいいよねっていうところの判断にあたってはこの今示してるグラフの右の先の方の話もちゃんとしてますのでそこもちょっと見えるような形にして、どういうプロセスで僕らが判断我々が判断したのかというところが、
0:38:13	ちゃんと書いていくと、おのずとページなんかもちゃんと分かれていって、はいバランスのとれた資料に、
0:38:19	イマイました。以上で、
0:38:23	はい。補足です。今みたいな話を、
0:38:28	細かくしなくてはいいいですけど、大枠こうこういうようなことを考えてや、特徴を、自分たちの敷地の特徴っていうのを
0:38:39	理解していってまですって言うことは言っていたきたいと思うんですね。
0:38:45	国井アノ保守性云々と言われたときに、
0:38:48	10 ページの、単純にその応答を見て大きいからいいでしょうみたいな。
0:38:55	カンジダ等の特徴。
0:38:58	ハックと繋がんねえじゃんっていう。
0:39:01	感じになるので、結果オーライじゃんみたいになる。

0:39:05	だから、今みたいな分析が必要かなと思ってて、
0:39:08	基本減衰わあ、
0:39:12	小さいほうが保守的なわけですよ。
0:39:16	はい。元オガセですおっしゃる通りの認識でいます。
0:39:20	はい。補足です。そうすると、
0:39:24	周波数がワーリニアなりバイリニアでもオッスでるところを低く抑えるってことで保守的でPAそうな感じするんですけど、
0:39:34	本周期があって、いや、リニア小さい値にしてるのに、なんで、
0:39:40	大きな値で保守的っていうことになってたりするので、
0:39:45	そのあたりの説明も必要かなと思うんですけど、どんな感じなんでしょうか。
0:39:50	はい。日本原燃のオガセでございます。ちょっとそこは、すみません 9 電さん、今、学部等カトウアノご相談してのちょっと話になってくるとは思っておりますので、社内社内ないし 9 電さんとの調整は引き続きやっていますんで、
0:40:03	その上で今の考え方といたしましては、今確かにアノコサクさんがおっしゃいました通り、減衰定数の値というところに着目すると、それというのは、確かにおっしゃる通りで短周期側では必ずしもすべてが、
0:40:16	下回るように小さくなるように設定されているわけではありません。一定減衰とかそういったところを考える時には、あくまでここで考慮していることというのは、最後この
0:40:26	今この 10 ページの枠で書いていることというのは、実態を踏まえ実態的なパラメータを出した上でそれを設計に用いる上で、保守的になるかどうかという観点の話だと思っております、その保守的になるかどうかというところは、一つは今おっしゃったような減衰定数自体の値を全部すべて包絡するという考え方もあるんですが、
0:40:46	やっぱり設計にあたってはここで入力地震動を出すっていうことを行為として設計に使うわけでございますので、そのせんと入力地震動の算定結果に対してどんな影響を与えるかというようなところの観点で確認をするのがよからうというのが、
0:40:59	こちらの 10 ページの趣旨でございました。ちょっとまずそういう位置付けが書いてないってのもあるわけなんですけれども、そういう位置付けで考えたときに、その減衰定数の高振動数側、短周期側が、
0:41:11	若干減衰定数の値としてはちょっと大きくなっているようなところではあるんですけども、その入力地震動を算定する上では保守的なことを確

	認することによって、設計上はこれをこの値を用いることには問題はなさそうだというようなそういうようなちょっと意図で今は書いているところでございます。
0:41:26	なんで、すいませんそうそういうのは位置付けがちゃんと明確にならないといけないなと思いました。
0:41:32	はい。コサクです。国はそうだと思うんですね。ただ、それ、それであっても結果オーライじゃ駄目なんですよ。で、実際結果ぐらいではなくて、ちゃんとう、
0:41:44	こういう影響が出てきているから、設定はこうであっても、結果として10ページに示すように保守的になるんですよ。
0:41:54	いうことだと思うので、そこら辺をしっかりと分析をして説明いただくということかなと思ってます。
0:42:01	で、その点でよくわかんないのが、10ページの話になって申し訳ないんですけど、
0:42:07	赤の線が、図の左側。
0:42:11	半周期、高周波数領域において、
0:42:18	ウエダに出てるんですよ、これって何ですか。
0:42:20	はい。日本原燃のオガセでございます。これ応答スペクトルっていうところが各周期体での地震動の最大振幅を周期ごとに周期成分ごとにプロットしているというようなところの、
0:42:32	計算で当然出すものであるんですけども、この音スペクトルというのは、いろんな周波数成分の波のかさ、なんていうんすかね重ね合わせみたいなのが非常に効くところです。なので、
0:42:43	何が起きているかという、僕、短周期の振動っていうところは確かに減衰が大きくて、成分としてはちょっとちっちゃくなる傾向というのはどうしても出てくるかもしれないというところ。
0:42:54	だけれども、例えば0.1秒とかそれぐらいで減衰定数が大きく大きくじゃないなすいません、小さくなるような周期体のところというのも、当然その揺れが大きくなれば最大振幅とかそういったところには当然響いてきまして、
0:43:07	必ずしも短周期が小さくても他のところの周期で大きく評価しておけば、地震動全体としては大きく評価してあげることができるというようなそういうような特徴を応答スペクトルを持っております。

0:43:18	我々設計する時にはご存知の通り応答スペクトルで最終的には設計するというようなところの考えもありますので、その一部周期が下回ってれば必ずしも
0:43:29	非保守側の設計になるわけではないというところがはい考えとしてはございます。それを中、何ていうか、定量的に確認したのがこのグラフというところでございます、一部減衰はちょっと大きいんですけども、それは設計に使う地震力に対しては保守的に与える方向、カバーできる方向であるというところを確認しているというようなそういうような位置付けになるかと考えております。以上です。
0:43:51	補足です。すいません。何か食い違ってるような気がして、
0:43:56	この前に管理官からもありましたけど周期と周波数で、
0:44:03	向きが違う。
0:44:04	うんですよね。
0:44:08	はい。日本原燃のオガセです。そうですねはい。
0:44:13	衛藤。
0:44:14	日本、どうぞ。
0:44:17	赤字は依存なしの、
0:44:22	なスペースを持つピーターになっていて、
0:44:26	なので、高周波数側の設定としては、
0:44:32	本当は小さいのかなと思いつつ大きめの状態に入れてるってことなんですよね。
0:44:40	全農でございます。その通りでアウトプットで見ると、本即効周波数が小さくなると思いきや、大きい側に今応答が出てるということで、
0:44:53	今オガセが説明しましたのは、その周波数、その単色の退職っていいますかいわゆる主周波数の
0:45:04	何て言いますかね、一つの周波数しか持たないような波が来たときの応答としては今コサクサーンご理解の通りですね。
0:45:15	そういうものが来たときの応答だとそういう傾向になるんだとは思いますが、実際にこれ観測記録ですので、いろんな波の成分を持ったやつがやっています。で、
0:45:28	そうするとですね、その観測記録は、がパワーをってる周期体。
0:45:40	で、減衰を保守的に設定してると。その全体としてはですね応答として、大きく振れてくることになるので、短周期側も底上げするような効果が出てくるみたいなの。
0:45:53	まだずれては、話をして9ページをちょっと映してもらえます。

0:46:00	9 ページの、
0:46:02	図 3、
0:46:05	を見ると、
0:46:08	緑のバイリニアと青比べると、公衆、
0:46:13	高周波数体のところでいうと、
0:46:16	リニアのほうが減衰ちっちゃいですね。言説ちっちゃいってことは応答が大きく出たろうと予想はできるんだけど、
0:46:26	10 ページの結果を見て、
0:46:29	さらに、
0:46:33	10 ページの結果の定修北井様は固いところ。
0:46:39	を見ていくと左側死ねを見ていくと、赤がオビタおつきくなってるんで、
0:46:47	本当は固いところの減衰っていうのは、赤の方がちっちゃいはずの 2、結構大きく出てるね、これなんでっていう、そういうことに端的に答えてもらったんです。
0:46:59	うん。
0:47:00	はい。日本原燃のオガセでございます上出さんが今おっしゃったような数字の大小関係だということはい、おっしゃる通りです。その上でなんですけれども、減衰が短周期側が小さくなっていても、夜中周期側でのいわゆるリニアの方が、
0:47:14	すいません、一定減衰のほうが減衰定数が小さい領域、中から長周期のところでの地震の成分が大きく評価されると、最大加速度の方もかなり大きく評価される、ゆえに地震動全体として最終的な応答スペクトルとしては大きく評価されると。
0:47:30	ということになると思います。で、ちょっとすいません 9 図ちょっとちゃんと後で張りかえなきゃと思ってるんですが、の話だと、リニアとかリニアで、
0:47:41	そもそも何か地震は違うみたいないように聞こえちゃってるんですよ私なんか要は周波数に対しての減衰の関係だけが変わってるんだと思う。
0:47:52	何ですか。何かそれ以外に、花王っていうんでしょう。衛藤。日本原燃のオガセアノそれ以外は一切変わらないです。はい。はい。そうです。なんだけど、こういう傾向が出ちゃう。
0:48:05	それがなぜかっていうともう 1 回教えて。
0:48:08	はい、丹下オガセです。
0:48:11	ず、別の参照してもよろしいでしょうかちょっとあの周波数と周期がすいません既往知見に重ねてる以上ちょっとすいませんあのこういう逆の絵になってしまうんですが、08-439 ページ。

0:48:37	はい。ちょっとまず今のすみませんまずここに寄り道させていただいたのはまずこれは先ほどの旧アノ会合資料パワポの資料の9ページにある図を、
0:48:47	周期にも直しているようなところ既往知見は重なっておりませんが、1周波数、一定の減衰というのは短周期側で減衰を大きく、0.2秒ぐらいよりもサカイで、それよりも長周期側では減衰を一定の方が小さくなっているというような状況になっています。
0:49:04	で、その上でちょっと伝達関数その前のページも見たいんですけど、437ページ。
0:49:14	はい。
0:49:15	で、これがいわゆる同定された伝達関数の、その比較でさっきの青と赤が色を対応しているところでして赤が一定減衰、青がリニア型の減衰と、
0:49:26	ところになります。その減衰の傾きの違いというのがこれにも、ちょうどその通りに表れることになっておりまして、これも横軸周期なんですけど、例えば一番右上、
0:49:36	上の図なんかが多分一番わかりやすいと思うんですけども、長周期側でかなりこう過大評価する形になるんで、短周期側では確かにおっしゃる通りこの伝達関数の数字だけで見るとちょっとちっちゃく評価しがちというようなところになってございます。
0:49:50	ですけれども、地震動の振幅っていうところにつきましては、長周期側の方がかなり大きいというような傾向があるというのは、大体感覚的にも、はいあるところだと思うんですけども、やはりこちらの中から長周期の伝達関数を大きくしてあげると、短周期が多少またついたところで、地震動全体としてはあんまり効かない。
0:50:08	むしろ長周期が大きくなることによる地震動全体の保守性というところが、最終的には応答スペクトル上出てきますので、例えばここの地震の、ここの437ページのところの話でいきますと、
0:50:20	例えば0.3秒とか1秒手前ぐらいのところを大きく過大評価して、してあげるといいうい方なんですけどすることによって、最終的な地震動全体の応答スペクトルとしては、いわゆるリニア型の減衰よりも大きく与えることになるというような、そういうようなところがございます。
0:50:36	岩谷の地震の感度みたいなのところがございます、短周期があつて実際そんなに音スペクトルには効かないんですというようなそういうような位置付けになっているというところがございます。

0:50:46	はい、清長官です。
0:50:49	うん。ちょっと勘違いしたんで、何となく言われてることはわかりました。はい。
0:50:56	はい。コサクです言われてる古藤は言いたいことはわかったちゅうことですかね。
0:51:03	あれなんですけど、結局は
0:51:06	何ていうんすかね減衰としての特徴をぐ俗に入れる。
0:51:14	よりも、
0:51:15	夜のつていうかそもそもの目的は耐震評価であり、応答を、実際に、
0:51:24	出てくるよりも多めに評価をすることによって耐震性を確保すると。
0:51:29	いうことで考えると、今言われたようなところでハンドを強みにしといた方が、評価としては、
0:51:40	耐震評価としては扱いがしやすいと。
0:51:43	いうことで減衰統制の特徴としてはうまくY入らないけども、これで評価ができるんだということを説明されるということですね。日本原燃のオガセです大変申し訳ありません翻訳していただいてありがとうございます。ありがとうございます。ちょっと、
0:51:59	as-isというところから離れるんだけれども設計上はこういうふうな評価をすることで、設計に使うパークステータスとしては大きくなるというような、そういうような思考回路でございます。以上です。
0:52:11	はい。高速です。そうすると、今言われたその08のページで、感度としては当然そういうことで状態違うけど、逆にそうだからこそ、
0:52:23	応答スペクトルとしては保守的に出てくるんだということをしっかりと説明いただくということだろうと思いますし、応答スペクトルって、
0:52:34	結構耐震の人以外にはしっかりと説明いただくと、わかりにくいところなので、何でコガで、
0:52:45	感度高くなるとそっちの周波数周波周期のところまで引っ張られるんだみたいなのところも少しかみ砕いて説明いただくとわかるようになるかなと。
0:52:56	日本原燃のオガセですかしこまりました
0:53:01	そうです。
0:53:03	引っ張れるみたいなことをしていただけると。
0:53:08	すいません日本原燃のオガセすみませんちょっと音声見られました申し訳ございません。かしこまりました。そういうふうな傾向になるというよう

	なところの定性的な説明と、あとは今実際 08 の方で示している中央地盤の複数地震やってますけどもそれに対して
0:53:24	どの地震も大体同じような傾向がえられているというところもちょっと同士になるかなと思いますのでそういうようなところの根拠として記載と記載を、はい。拡充したいと思います。
0:53:36	規制庁上出です。10 ページの、
0:53:40	今、6.8 って書いてあって、実際は、
0:53:44	中ですけど、
0:53:45	何でその辺り、レイヤーだと思いつつ、円谷西田って何でそういうさんっていう、
0:53:51	例えば 6.6、6.5、あとは何とか、いろんな数字あるじゃないですか。
0:53:58	どうやって 6.86. 7 に決めたんでしたっけ。
0:54:01	はい。日本原燃のオガセでございますそれにつきましては先ほどの冒頭の時の説明ともちよつとかぶりつつも、それでの反省を踏まえてお話ししますけれども、まず、
0:54:11	いわゆる、いわゆるアズイズ実態は、いわゆる林野の青線というところになっていますそれは押さえた上で、設計としてリーズナブルな一定減衰をするとき、リニアで決めたas-isなものと同価なものをまずは出してみようというところのアイデアでまずは進めています。若干ちよつと、
0:54:29	後付なシナリオですけれども、はい。そうなった時に 1 回その出したas-isと同じ条件で行って減衰で、一定減衰過程で再同定するというふうな形で、
0:54:40	同じネタで同じ条件にして減衰の設定の過程だけを変えてあげるっていうことにすることで、その青線で出したリニアと同価な一定減衰というものが出せるだろうというふうに考えた次第です。で、
0:54:51	それでやって、最終的な確認としてはやっぱり入力地震動に使うものなんだから応答スペクトルで比較しなきゃというようなところで確認して、その上で結果オーライになったというようなそういうような位置付けになってございます。
0:55:05	成長
0:55:06	結果オーライの様が、10 ページの表。
0:55:09	日本原燃岡瀬下様でございます。
0:55:14	大都市はパラスターやって、
0:55:16	このちっちゃかったら、あとはちよつと、

0:55:19	引っ込んじゃうところがあつと。
0:55:21	いうところがあるから、何と長くこう包絡する、多少はいいけど、大体、
0:55:30	青谷青が本来のものだから床を暴落するようなところという、0.1、
0:55:39	徳永でしたということですか。はい。日本原燃オガセですおっしゃる通りだと通りです。
0:55:48	させていただきます。
0:55:49	オーライっていう言い方しましたけれどもさっきのアノオガタの説明でもあったように、実際にやってもらう地震動の、そこでもまずおそらくこうなるだろうなど。
0:56:00	一応推定もあって、そういう意味で、一定減衰というのがソフィアの件数に対して、実際の技術地震耐性は保守的な値を、
0:56:11	与えるだろうなというような、そういう見通しもありつつですね、これ比較するという実際にそうであったと、いうことをお示ししてるということであつて
0:56:23	そうですね。はい。ちょっと今の説明だけ。
0:56:27	トリリニアと。
0:56:29	周波数依存なしの話をされたんで傾きを持たせるか持たせないかっていう話をされているのか。はい。その 6.876. 7 っていう数字にもう一定のその根拠があるのかという、どちらの今説明
0:56:44	松井さん説明したつもりでありますのは想定進む話なのではい。
0:56:50	はい。清町カミヤアノそそこは何か、
0:56:53	1.8 は要はパラスターだったんですねパラスターで、これでいいだろうっていう、見た目ですよ。何を、ヨシダ 6.9 でいこうと思ったかという、
0:57:05	結局このスペースを見ていたんですね。例年のことでございます。えっとですね、6.8 はそれぞれ見てこうだと決めたわけではなくて、リニアの場合と同じように、
0:57:17	どの元へと 6.8、すいません、そういうふうなパスなんすけども 6.7 が一番観測記録を再現できるか 6.5 が一番観測記録を再現していくかというのこれは
0:57:30	分析して結局同定の計算をやって、その時に 6.7 が一番アイザワよかったというそういう、ざっくりとそういうふうなことございまして、
0:57:41	パラスター計算してとかわかると言われると思ってしかもスペクトじゃないんですって言われると、何見て判断したんですか。
0:57:52	真野さん、川岸耐震 08-437 ページ、4 月依存なしのケースで、

0:58:02	減衰定数の同定をしましたと。この岩盤部分については、0.067、この辺りで、せ、出てきましたと。この値をそのまま使ってますということです。
0:58:14	その通りです。
0:58:15	電話かかって、アウトプットですね。その通り。はい。
0:58:20	やってることはそうです。
0:58:22	そう説明お願いします。すいません。
0:58:26	はい。布施町カミデで、この 437 ページの値はどうやって出したかっていうと、
0:58:32	はい。はい。衛藤。437 ページの辺りにつきましては、これどうやって出したというよりかはこの
0:58:39	何ていうんすかねこの黒線の記録に合うように、この赤線をゴリゴリこう動かして行って、
0:58:45	最終的に一番誤差が小さくなったのがこの 0.67 ですよ、そういう意味合いです。そういう意味だとスペクトル見たんじゃなくてデータを使う。
0:59:07	もう、
0:59:08	編が開いてるつもりなんでしょうね。
0:59:22	古作です。それで言うと、これの何が。
0:59:26	フィッティングとして合ってたって思えるのかっていうのが、見込みには全くわからない。
0:59:32	はい。日本原燃のオガセでございます。その辺がちょっとすいません先ほどアノモトもお話してきたところで私がちょっとすいませんちゃんと伝えきれてなかったところです。実際、減衰定数がやっぱりリニアで持った方が適合度が、
0:59:45	当社で高いというのはこの前段の青線を作る検討でわかっていました。一定減衰にするというのは先ほど申し上げました通り、そのas-isからちょっと離れた行為になるということはわかっているというところ。
0:59:57	ございます。で、減衰定数というのはご存知の通り地震動の縦軸の大きさに効くものでございまして、横軸には基本効かないものでございます。で、この一定の仮定を与えたときには当然こういった 437 ページに出てくるような縦軸の
1:00:14	乖離というのは出てくるかもしれないんですが、もしかしたら同定するときに、下手をしてしまうとですねこの速度の方を無理やり動かしてしまつてこそ、この山のピークの、横軸の位置ですねこういったものを変えてしまうような可能性があるわけなんです。

1:00:27	ですけれどもそういったところの影響というところはやっぱり出てこなくて、いわゆるか、また、先ほど申し上げたようなもくろみ長周期では過大にこう評価する、でか短周期では、
1:00:37	ちょっと小さめに評価するというようなそういうような、もくろみもくろみ通りの形状を示したというところでもって、これはある意味等価なものとして位置付けとしては出てきたらうというところを考えたという、判断したというところですか、あとはすみませんちょっとこれは書くかどうかは悩ましいところなんですけども、
1:00:54	今の建物の周期とか何か、2とか0.3ぐらいのところシミュレーションが上回ってるというようなところを最後に、最後の
1:01:02	10ページの会合資料の10ページにも書いてるんですが、この伝達関数のこの赤と青の比較でもそういう観点ではちょっと見てまして、それぞれ0.2秒から3秒のところ、青野黒野、赤も大体同じぐらいになっているというところございまして、
1:01:16	そういう意味でも、設計に用いるためのパラメーターとしては、主要周期体って言ったらいいんですかね、そういうところでは大体綺麗に同定されてますというようなそういうような判断はしているところございまして。ちょっと、
1:01:27	はい。それはすみません今書いていなかったところなんですけど。はい。そういうことはやっていました。以上です。
1:01:34	とコサクです。
1:01:37	そうですね。
1:01:38	結局その同最初のハバサキからのコメントになるんですけど、
1:01:44	どうやって求めたのっていうのはちゃんと説明する、していただく必要があって、
1:01:49	そうする等、先ほどの08の方の、
1:01:57	資料で言っても、
1:01:59	リニアの方は合うようにでいいんですけど、一定の方は合うようにと言われてもって感じであって、
1:02:09	小形さんの説明だとリニアと同効果になるようにっていうような話を、
1:02:15	されてましたから、やっぱりそここのところのプロセスなり考え方っていうのを言っていたかかないと、
1:02:21	この図だけでも理解できないんだらうなというふうに思いましたので、確認いただければと思いますけどそういうことでもいいんですかね。はい。

	日本原燃のオガセですそういうことを今おっしゃっていた通りのところで す。なので考えの流れとか、各
1:02:37	アートでのいわゆる判断の、
1:02:40	根拠まで言うちょっと細かいですけども、そういったところの考え方を 順番に整理してあげてそのアウトプットを順番に出していくということ をすると、何かこう、そのパワポの資料の流れとして読みやすくなるの かなと思っています。以上です。
1:02:56	はい、わかりました。よろしくお願ひします。で、そういった検討なり、分 析っていうのが、まさに、8 ページとかでやった総合評価に繋がる。
1:03:07	分析で自分たちの
1:03:11	敷地の特徴だったりどうすべきかということの検討だと思いますのでよ ろしくお願ひします。
1:03:17	はい。日本原燃大瀬です。かしこまりました。ちょっとちゃんと考えては いきたいと思います。以上です。
1:03:24	規制庁神ですけど。
1:03:26	ちょっと教えて欲しいんですけど、この
1:03:29	今、437 ページ、伝達関数で減衰が変わったときに、その山野井地質の 周期体は変わらない。
1:03:39	単純に、山の高さだけ変わるもんですか。
1:03:43	はい。日本原燃の岡先生のおっしゃる通りです。
1:03:47	はい。
1:03:49	一応、
1:03:50	勉強のためってわけでもないんですけど、1 ケースぐらいそういうもんで すよっていう、ちょっと示してもらって、こういうパラスターをしていくん ですという、
1:04:01	例えば 3%とかになっても全然ヤマダタニグチは変わってなくてっていう
1:04:08	ただ単純にこう押しつぶさETIC感じっていうのが、SRSとかってそうい う感じだと思うんです。
1:04:14	そういう傾向にあるのかっていうのがちょっと、一応見ておきたいなと。1 ケースだけでも、
1:04:19	そういうものです。
1:04:24	オガセですアノやること自体は可能です。結構大変に、
1:04:30	全然やること自体は今
1:04:37	江藤、今おっしゃったすいません。
1:04:39	いる趣旨。

1:04:41	趣旨を踏まえて、どういう絵を具体的
1:04:43	作りましょうかという話だと。
1:04:46	今このアウトは、
1:04:48	ちょっと、
1:04:49	図を拡大していただけますでしょうか。
1:04:58	これがいわゆるリニアと一定の6点、
1:05:03	7番。はい。の線、リニアと、6.7%っていう線になるわけですが例えばこれを今6.7%だからそれを例えば543みたいな感じでパラスターして
1:05:16	い。 打線を重ねていくというようなそういった意味合いでしょうかね。となると、赤線とが一定減衰の6点なのでそれに行って減衰の5、4、3みたいなのが下がるというところになりますので、赤線から徐々に徐々にこう変わっていくようなそういう上に、
1:05:30	見えていくと思うんですがそういうイメージでよろしい。
1:05:33	はい、規制片数イメージはそんな感じで、赤線の減衰をプラマイちょっと振った感じでどれぐらいにカセばいいのかっていうちょっとえんじあるジャッジで、0.1刻みの方がいいのか、2ぐらいでけ、刻んだ方がいいのか、もっと姫でテングウとかで、
1:05:49	既存の方も傾向があるのか、ちょっとあるんですけど
1:05:53	少し線を見させていただいて、こんな傾向にあって、そういうところのパラスターやるんです。
1:06:01	いうことですね、もう説明、実際でもやってるのはですね、0.1単位でもうバランスしてるんですよ。私たちが同定というか、収束解析ですけど、日本原燃、加瀬です。はい。
1:06:11	そういうレンジ単位ではあります。はい。
1:06:14	それはあれなんですかいろいろパラスターを見てっていうよりはもう計算上でも出てきちゃうんです。
1:06:21	はい。日本原燃オガセです1ずつコースパラスタして近いのはどれかなんて選んでるのではなくて、計算収束計算をまさにかけてましていわゆるGAで遺伝的アルゴリズムの方で収束計算かけてますので、
1:06:33	1個ずつの、その数字のによる伝達関数を見て決めているというわけでははいないのが実態です。ただ当然後から、仮にこのパラメータを与えてみたらってのは後から計算することは可能ですので、
1:06:46	何ていうか今ご希望のあった図というのは別に作ることは全然可能です。

1:06:50	規制庁亀井です。
1:06:52	ただ、あれですね、実際に設計行為としてやってないこと等であれば、見なくていいので、そしてその収束計算でやる方っていうのは補足系に載ってる。
1:07:02	どうですか。はい。ウノ原料が清さんおっしゃる通り、
1:07:06	何、何ページぐらい。
1:07:08	はい。日本原燃を忘れたの遺伝的アルゴリズム法で収束かけてますと いうところの話ですので、
1:07:19	300、
1:07:29	ああ。
1:07:31	はい。お待たせしてすみません。日本原燃和製 378 ページ。
1:07:40	はい。
1:07:41	提供もありましてこの辺はあれなんすかね、ある程度実績あって、それ ぞれ説明しておけば、大丈夫です。
1:07:49	はい。はい。日本原燃のオガセでございますいわゆる同定解析の手法 としては非常に一般的な手法でございますんでその上で、ご指摘いた だいた上でこういった世代交代するとか個体数とかそういう同定に関す るパラメーターの方は、すいませんこれご指摘を受けてからだったんで すけど。はい。
1:08:08	やり方も決まってるし一般的。
1:08:13	東と西ができてない。
1:08:16	普通に遺伝的アルゴリズムでヒガシ谷しあった結果、
1:08:20	出せば件数出てくるんじゃないと思うんですけど、何か、何が困るんでし たっけ。
1:08:26	まさにちょっとそこについては、今、補足のところの 08 のところでも結構 記載をさせていただいたところですが、端的に言うと元の伝達関数がち よっとよろしくないかなっていうのが一つと。
1:08:39	あとはもう 1 基の伝達関数っていうのは、青ササキ、
1:08:45	日本原燃の瀬下アノ。
1:08:47	オンダです。
1:08:49	医師。
1:08:51	なのでちょ
1:08:52	ウダ 08 の資料の方でちょっとお示しさせていただきたいと思うんです が、
1:08:57	江藤 360 ページをご覧ください

1:09:04	今うまくいってない見込みだけちょっと。
1:09:13	360 ページでございますが、これの
1:09:18	ちょっと、
1:09:21	はい。はい。まず良い例って意味で中央をちょっとご紹介いたします 360 ページもちょっと見やすいのでいくと、
1:09:28	図の②っていうところになってます中段の左側だったりするんですけど、
1:09:34	これを見ますと、割と短周期側までですね小山谷っていうのが見えるんですよね。そういったような旧状況が見えますと、やっぱり速度を結局これって速度と減衰をどっちも動かして、
1:09:46	地盤の伝達関数のアノミヤマ谷というものを再現して、それを一番よく説明する物性値地盤のVsと減衰を設定する、同定していくっていうような話になっています。
1:09:57	そうなりますとやっぱり 1 次元波動論で評価してますので、山田にはこういうふうにある程度明瞭になっていると、すごくこう説明性のいいモデルができるという、最終的な同定値が出てくるというところになるんですが、
1:10:09	一方でちょっと今うまくいってないって言ってます、西側のところを見ていただきたくて次が 362 ページをちょっとご覧。
1:10:24	362 ページの同じように②の図 - 125 分の - 2 というところのちょっと拡大していただければなんですが、
1:10:33	さっきと比べてですねちょっと何か小山谷が細々してるというようなそういうような状況になってございます。本当ですとこれ大和谷を何ていうかね
1:10:43	地盤の定常振動みたいなところをきちんと評価できるような伝達関数であれば、それというのは基本的にやっぱり地盤のVsを多少
1:10:51	今のPS検層データベースで多少いじくってあげると山谷がうまく再現されまして、それに合わせて減衰定数も入れ、合わせやすくなるというところなんですが、どうもやっぱりこれを見るとですね、山谷がかなり
1:11:04	なんていうかあまりこう明確に見えない子大体ブワーツとこうなんかこう一定の数字になってしまっているというところですので、これというのがちょっと多分ノイズの大きい地震を選んでしまっているとか、ちょっと、そもそも退職金信頼区間がないとかそういうようなところの影響だと思いますのでその辺をちょっと分析しないと、

1:11:21	ちよつとこら辺の信頼区間はとてもじゃないけど取れないなというよう なところをちよつと考えているというものでございます。そういった中央と イシイヒガシの違いというところがありまして、それが私が先ほど申しま したちよつと伝達関数自体の作りが良くないんじゃないかというところ に、
1:11:35	やり方自体は普通でもそういったところの生データの扱いのところではちよ つと悪さがあるのかなという、そういうような状況でございます。以上で す。
1:11:43	規制庁上出です。そうすると、
1:11:47	要は、これをインプットに、遺伝的アルゴリズムって計算すればいいん だけど、まだ計算をしてなくて、
1:11:57	インプットの伝達関数見ただけで、もう設計者としておんなじの計算でき ない。
1:12:03	ずっとしてません。計算もしてません。日本原燃のオガセですそれにつ いてはノーでございます。伝達関数の同定と、減衰定数の
1:12:14	いわゆる駄目駄目そうなりますよね。何を見て、駄目だって言ったんで すか。駄目だと思ってるんですかということになってないでイマセて原因 を一生懸命言って何か、
1:12:26	自分が思った答えになっていない、正しい答えになっていない原因って いうのは多分地震は取れてる人は、こういう辺りの問題、キザギザだか らってということ。
1:12:36	と言われたと思うんですけど、その1個手前に何でこのぎざぎざにこ う見ることになったんだ。あれ何かおかしいなって思ったからそういう説 明をしてると思うんですけど、何が。
1:12:47	うまくいってないって感じですか。わかりました。すいません日本原燃オ ガセちよつと説明の順番を閉じたなと今、今更気づきました。申し訳あり ません。実際にやったこととしましては、こういう、このさっきご紹介した 西側の伝達関数もまずはあのやっぱり取れているデータですので、使 ってみようというアイデアで、
1:13:02	実施、その伝達関数の同定つまり減衰定数の算定はしました。その結 果は389ページにちよつと載っています。
1:13:11	すいません。データが多くて行ったり来たり、
1:13:14	389ページをお願い。
1:13:23	これの、うん。ちよつとすいませんは今わかりやすいのが0。

1:13:27	うん。5、5 ですね。中段右側の、はい。ところを見ていただければなんですが、
1:13:34	先ほど申し上げました黒線の実際の観測記録の傾向山谷があまり明瞭じゃなくしてこうだ一っとしているというような傾向。
1:13:44	が、やはり同定された結果を見てみますと、あまり再現できていないというようなところもあります。元的アルゴリズムの方で、最適解というものを求めた結果であってもここで収束してしまって、
1:13:57	この何ていうか、今ずれている例えば 0.1 秒よりも手前のイシイ 0.2 秒辺りでの、観測記録よりも小さく評価しているというところを、解決するに今は至っていないというようなところになっているというところがございます。
1:14:14	だから、うまくいかなかったところだと思います、結果を見てうまく結果がうまくいきませんでしたと判断をしたところでは。
1:14:22	はい。成長
1:14:28	が難しいなっていうことですね。
1:14:31	もう、
1:14:34	さっき見た、
1:14:37	周波数依存なしの赤線等、
1:14:40	リニアであった温泉ぐらいのずれなんてもっと前停止。
1:14:47	ものを見るものを目的関数等、リニア型っていうか確からしさという意味ではもう、もうちょっと整合して欲しいということなのかもしれないですけど、
1:14:57	タナカ。
1:15:00	合格ラインっていうのは難しい。
1:15:04	椎名に見て、
1:15:06	さっきはあれですよ。何見て 6.8 にしたんですかって言ったらいや計算で出てくるんで当たり前の話なんですけど、グラフなんか見なくていいんですよ。
1:15:15	羽賀さんみたいな。
1:15:16	やるものもないんです。
1:15:18	決まった計算ですからって言われたんですよ。で、
1:15:22	一方でこっちは決まった計算でやったんだけど、結果のアウトプットの開き具合を見たら使えないんだって言われちゃうと、何か結局何を見て判断しているのかなっていうのが、
1:15:35	何かよくわかんない。はい。

1:15:37	日本原燃のオガセです。ございます。すいません資料をスポットスポットでご紹介しているので、すいません
1:15:44	そういった疑問を持たせてしまいました。今としましては中央地盤につきましては、まず今ここで示してるような青と黒の比較がかなりうまく
1:15:53	いっていますこれはもうかなり適合していると。
1:15:56	言ってもいいと思っております。シミュレーションの結果を見ても、基本的に地震観測とかなりよく合っているというところがございますので、いわゆる中央についてはこの青線を作ったことによって、地盤の実態をとらえたパラメーターっていうところがわかったというところになってます。
1:16:11	その実態っていうものが一旦フィックスしたっていうところで、それと等価な若干設計で使えるような、まっすぐの一定減衰というものを同定したらどうだという等価な減衰を作ってみようというふうなところになる。
1:16:24	の流れでやっておりまして、やっぱりその赤の一定減衰を作る上では、1回やっぱ地盤の実態というものを1回フィックスさせる必要があると思っています。中央はそれが変わったんですが西ヒガシについてはちょっとまだそこに至れていない。なので、赤の一定減衰を、
1:16:38	やるというところに、ちょっとまだ行くには早いですねともう少し実態をちゃんと掴み切ってからじゃないと、はい。厳しいですねというようなところの位置付けになってると思って、そういう認識で説明してございます。
1:16:53	はい。政調会です。
1:16:56	この一つ一つ細かいのはまたヒアリングでやればいいんですけど、前から言ってるのか、その何を見てOKとこのデータを、
1:17:06	どうい、この数字でいいと思ったのかっていうところは、北井所ですから
1:17:13	資料で読めるようになってればいいと思いますし、私さっき言いましたけど、
1:17:18	さっき若生さっきの小出ミズタじゃん、今度はこれで見ちゃうみたいなふうに思えちゃうところもあるんでセット行がアノなっちゃうと、同じ目線という、思います。
1:17:28	こういう目的で見ると別にいいんですよっていうところが書き込まれればそれは作り込みの話。
1:17:37	段階なんで、会合どうこうっていう話ではないですけど、
1:17:41	わかるようにしてもらってという感じだと思いますちょっと長くなってしまいました、はい。あとで、すいません。
1:17:52	介護書の10ページに戻るんですけど、

1:17:56	イイダウノ方向の、
1:17:58	赤のスペクトルですね。
1:18:01	イイダ分だけ結構おつきくて、ピークのところだけ見ちゃうと 500 までいってますねと、N-Sは 200 ぐらい援助の 200 ぐらいと思うと、N-Sがちっちゃいのかって感じもするんだけど、まあこんなもんな。
1:18:16	ですか。
1:18:17	日本原燃オガセです今、赤嶺さんが 200 とおっしゃったのはどの数字でしようか。すいません、規制庁カミデセットN-S方向の、
1:18:26	赤の最大の加速度が 200、200 ですねはい。
1:18:32	はいどうぞ。増本そういうぐらいの地震なんでしたっけ。はい。日本原燃オガセさんのおっしゃる通りでもともとそのぐらいの地震ですねEWの方が卓越してましたんで、さらに、
1:18:43	周期成分のやっぱり各地震の持つ特徴というところもありまして、まさにこれって 1 秒、EW方向の 1 秒手前の 0.89 秒ぐらい。
1:18:53	どうでしょうかね。大きく角が立っているところがございますけれども、
1:18:57	ここがですね、
1:18:59	さっきの、
1:19:01	さっきのリニアと一定減衰での伝達関数の差でか、いわゆる
1:19:08	一定減衰することで伝達関数を大きく終了する周期と当たることによって、こういうふうにならざるを得ないところになってございまして、それで地震の特徴も入ってくるようになっていまして、
1:19:22	はい。政調会ありました。周期の漢字は 1 回やってるのは、
1:19:29	はい。
1:19:30	はい。すいません、長くなるでしょう。
1:19:32	10 ページ 9 ページ 10 ページの
1:19:36	成長がある。
1:19:39	小浦プレスまさに今のところのピークが、
1:19:43	保守的キーなんですけど、それでいいんですかって言うのとカワウという検討してるんでしょう。
1:19:52	はい。日本原燃のオガセでございまして。あくまでちゃんと説明を書け書かなければいけないんですけれども、この 10 ページに書いているところの目的が、
1:20:04	入力地震動の算定を大きくする設定は赤と青、どっちでしようという目的を踏まえまして、青に対して赤が大きければ、

1:20:14	はい。それは問題ない。しかもさらに、どの地震を入れても概ねそういう傾向が共通的に見れば、はい。最終的に我々SOSSを入れて評価するわけなんですけれども、
1:20:25	青の条件よりも赤の条件でやったほうがSs入れて評価するような場合では全然どの地震でもこういう傾向が見られるということは入力地震動の算定上保守的な設定であると、そういうような位置付けになっていると考えております。
1:20:39	違う。
1:20:40	今日は三菱いるんですけど。
1:20:43	入ります。
1:20:45	泉サトウです。
1:20:48	これ一保守的だったただ言われたんじゃ困ると思うんですけど、どういうその負担の、
1:20:53	何ていうか上の押さえ方をするっていうことって話をするんですかね。
1:20:58	うん。
1:21:01	うん。
1:21:06	難しい。
1:21:11	佐藤さんでは、
1:21:15	佐藤さんぐらいしかこの意味合いで見てくれる人いなさそうなんで、サトウ説明したんですけど、
1:21:22	っていうのは保守的って青展張じゃ困るでしょうと、実際は泉サトウです
1:21:29	実際にはおっしゃる通りです。ただ、青天井じゃ困る。
1:21:36	そうですね。
1:21:38	現状の入力地震動の設定の時の、今の
1:21:42	作業でのロジックなり判断基準で出てくるこの保守性というのは許容可能っていうことで、大丈夫。
1:21:52	減アノ。
1:21:54	ちょっと、
1:21:56	設備の評価まで行く、行った時どのレベルになるかっていうのはちょっとここだけでは庄司判断つかない。
1:22:02	ていうんですけどそう規制庁カミデおそらく多分このEWのこのスペクトル 6.8 がIIを直接見るっていうよりは、この先におそらく、
1:22:14	尾花西田、湯川リスクがあって、それ見てサトウさんとかのレベルだとそれを、それ、それを見てっていうことだから、そういう意味では今のこと、

1:22:25	6.8 でもあまり過剰ではないってことぐらいは判断できるそうですね 対照関係としてそういうふうにはか言えないんです。
1:22:34	ていうぐらいですか。はいどうぞ。
1:22:37	そうか。
1:22:41	確かにこれ、6.8 でやっているデータだから、実際は 5 にしたらもっと大 きくなって、
1:22:48	それとの対応だから、
1:22:50	英語でやるのっていうので割り切っちゃうんだったらもうそれでしかない ってことですね。
1:22:56	泉サトウです。そういうことになろうかと思えます。
1:23:01	うん。
1:23:07	ここへところですよ。それで言うと、ここの部分にピークが出ちゃうって いうのはもうその一定でやろうという関係においても、そうなってますっ ていうことではないんですかね。
1:23:19	はい。日本原燃のオガセでございます先ほど伝達関数の赤と青を見比 べていただいたときの通りでございますけれども一定減衰する以上長 周期側というのは、
1:23:31	て定常的に保守的な設定、
1:23:34	はい。間違いなくなるという方向には
1:23:38	規制庁、わかりました。
1:23:46	はい。
1:23:47	はい、ありがとうございます。他大丈夫ですか。規制庁浜崎です最初 に、よく見ておいてくださいみたいな話をしたんですけどちょっと細かい 話をします。8 ページに戻ってですね、
1:23:59	今までの話を聞いてて、今日の 9 ペー、9 ページ 10 ページの位置付け がはっきりしにくかったのがまずまずかったということで、
1:24:08	8 ページのcポチの減衰の中で、代表減衰だとか、ここに書き、構成変 わりますけども、散乱減衰だとか、えさ検層だとか、
1:24:18	の中で、今回、9 ページ 10 ページっていうのはあくまでも地震観測記録 を用いた評価の中の伝達関数の中の中央地盤について、
1:24:29	の位置付けだということをもっとはっきりさせてください。
1:24:33	その上で周波数依存以外のしやすいという話も入ってるわけですね、 まずそこは正確に書いてください。
1:24:41	で言いたかったことは、

1:24:43	地震反証による検討も、今回中央地盤については説明しているという位置付けでいいんですか。
1:24:51	はい。9 ページ 10 ページ見ると、ピンクの線が 1 本入ってるだけです。
1:24:56	それ以外の説明がないように思うんですけども。
1:24:59	はい。日本原燃のオガセでございます。
1:25:02	申し訳ございません指針案商法の中央につきましては概ねのめどが立っているというふうに考えてございますので、今回の説明の対象になると思っておりますのでこういうことになりました説明は、
1:25:13	すいません。今ないですね。ちゃんと入れないといけないというのはい。はい。認識いたしました。
1:25:18	はい。規制庁阿部ですその時に自身は干渉法の場合は、次回、
1:25:23	次回理事会の会合資料で同じような、8 ページの資料表を作った場合に、地震干渉については説明済みになるんですか。
1:25:33	はい。日本原燃のオガセでございますコジマに関しては、中央ですか。
1:25:38	日本原燃のオガセです基本的にそうだと思っておりますが、
1:25:44	当然今、08 の方でも書いてますが西ヒガシって今うまくいってない状況なんで西ヒガシこれからチューンナップかけますがそれを逆に中央地盤、逆輸入しなきゃいけない評価の整合性の観点でそういう変更はあり得ると思うんですが、それで
1:25:59	今回のこの資料でご説明する内容が大きく変わる場合には、よう説明だと思えますただそれが
1:26:04	今、今回お出しする結果と整合的なのであれば説明済みと中央については説明済みというふうにするのかなというふうには考えてございます。はい。室長、もし説明済みとされるならば、
1:26:15	今 9 ページ 10 ページで伝達関数だけでみんなつくって使ってるわけですから、地震は干渉法に関してはましてや晶出の内容ですので、そこはしっかり説明が、
1:26:26	あつてしかないと思います。
1:26:29	準備をお願いします。はい。日本原燃オガセです。かしこまりました。
1:26:35	以上です。
1:26:38	規制庁の竹田です。1 点だけ細かい話なんですけど、8 ページじゃない 9 ページの左下の図 2 の、
1:26:48	凡例のところなんですけれど、

1:26:51	これ補足説明資料で上から順番に見ていけばわかるのかもしれないんですけど、黒線が目的関数となっていて、これ、正しくは観測シミュレーション。
1:27:01	の結果ということでよろしいんですね。
1:27:04	日本原燃のオガセです。すいません。08 が間違っていたら申し訳ありません。正しくは目的関数です。これフィッティングの結果でございますので、
1:27:15	地震観測記録から作った目的関数の黒線、これに合うように、青と緑を作ったという位置付けですのでこの記載が正しい。
1:27:28	補足説明資料も目的関数でなってると思うんですけど、これっていうのは関すつまり観測記録というわけではないんですか。日本原燃オガセアノ今竹澤さんおっしゃった通り、まさに観測記録です。
1:27:43	これの図に田井横野黒瀬に対応するものはアノ 08 の 363 ページからここを目的化するという表現でええんかという、
1:27:52	ご質問やから、観測。
1:27:55	記録から作ったというか、わからない、明示してないってことです。はい。すみません、理解が足りませんでした日本原電オガセアノをタケダさんのおっしゃる通りこれは観測記録から作った目的関数ですので、いわゆる機器記録に該当するものだということがわかるように、はい。
1:28:11	記載の方は、
1:28:12	直させていただきます。
1:28:15	はい。規制庁の武です。すいませんこの決得さんの補足で伝わったと思いますので、はい、そのように対応いただければと思います。
1:28:22	私から以上です。
1:28:26	すいません。規制庁の岸野です。
1:28:29	会合資料というよりは補足説明資料になるかもしれないんですけども、介護事業でいうと先ほど 8 ページでちょっと確認やりとりして、
1:28:40	Cポツの①の材料減衰で 3 軸のところは完了じゃなくて説明済みに直しますということだったんですけども、
1:28:48	何の説明を受けたのかってちょっと思い当たるところがないね。
1:28:52	補足説明資料を見ても、
1:28:56	3 軸圧縮試験、例えば、補足説明資料の 321 ページなんかにはですね、試験結果が載ってます。
1:29:08	1 γ 曲線とかがずらっと。
1:29:12	いるんですけども、

1:29:14	これをもって何か説明するっていうことなのかもしれないんですが、
1:29:18	今回、その中央地盤についても 6.7 とか 8 だかっていう、
1:29:24	結論を導くにあたって 3 軸圧縮試験の結果で、どういう位置付けになっ てるかとか、補足説明資料見ても全然わからないんですね。
1:29:35	一応建前というか、一般的標準的な方法に従いますので、
1:29:42	19 の 3 方法で、
1:29:44	検討させますということで、3 軸試験でもその一つ目が上がって、補足 説明資料の別紙の 3 を見ると、
1:29:54	それぞれ、目次更新統 39 薄は件数を観測っていうような三本立てで整 理を進めていってるんですけど、
1:30:04	まだ結論は、観測から来た 6.8% で 3 時間ってのを、
1:30:09	まず 39 でどういう減衰定数になるのかっていうのも、
1:30:13	何かちゃんと触れてないまま、
1:30:16	それを検討にも生かさないまま、何か、
1:30:19	何か無視されてるといふか自然消滅しちゃってるような印象なんですけれ ども。
1:30:24	今回の前提の中で、30 具志堅位置付けとか使って、どうなってるのか 教えてください。はい。日本原燃のオガセでございます。申し訳ござ いません会合資料で、確かにすいません自然消滅してる感じがありまし て前回はデータぐらいは示しましたけど、その、
1:30:39	なんででしょう実態に対しての位置付けとか基本モデルの位置付けみ たいなところは確かにそこまで説明してないので今回説明に入れなきゃい けないと思っています。それ書かれていますのが、08 の資料のすみま せん 434 ページになりまして、
1:30:53	正直これをちゃんとこのパワポの資料に戻してあげなきゃいけないとい うふうに認識をしました。ここで書いているのが、先ほど岸野さんもおっ しゃっていた、各岩種ごとのひずみ依存特性のデータがこうなってます よっていうところの結果を踏まえまして、
1:31:08	地盤の実態として、この自然形成ってどうなってるのでしょうかというよ うなところの章になってございます。ここにあります通り、ハバサキさんか らも今までもご指摘をいただいていたところだったんですけども、やっ ぱり実態としては非線形性ってのはあろうと。
1:31:21	というようなところの記載を書いているというところでございます。実態は 非線形性あるんですけどもそのあとで、この 10 ページのところにあるよ

	うな記載ですね。パワポの方の 10 ページにあるような記載、いわゆる設計する時にある意味リーズナブルのやり方として、
1:31:36	一定減衰みたいなどころの考え方もあるんじゃないかというところを、今までもご説明しております Ss 地震時のひずみの大きさとか、あとはですかねそういったところの検討でもって、設計を用いる上ではどうやら線形条件でもよさそうだと。
1:31:51	というようなところがいわゆる 10 ページの内容になると、いわゆる実態と設計というところにフェーズになるというのがここでも当てはまりますので、今減衰の
1:32:00	傾きの話だけちょっと改造事業で書いてるんですがこの点検の話も同列で書いてあげる必要があるとは認識をいたしました。
1:32:08	先生の機能ですなんかよくわからないんですけども、今 434 ページだけで 3 軸試験の評価を行ったというそういう理解でいいですか。
1:32:17	日本原燃のオガセでございます。すいません。だけと言われると違うと思っております、実際には、
1:32:25	すいません。
1:32:28	327、すいません 327 ページですね。
1:32:33	でしょ。はい。3 軸圧縮試験による評価結果というところの章がございまして、各パートでの、各岩種ごとのデータをきちんと整理して、それらがきちんとばらつきが下の仕事に大きくない。
1:32:45	というようなところ定量値として評価できるでしょうというようなところの確認をした上で、これらのデータをもって、実態モデルとしてどういうふうに扱うかというようなところを、先ほどの 434 ページで書いているというところになっています。
1:32:59	なさい、今言われてる 427 ページってのはさっき私も申し上げたように、試験結果を再掲してるだけなんですね。
1:33:07	試験結果はこうですよ。それに、それがこの動向に繋がる箇所 434 ページということで、434 ページで言ってるのは、
1:33:18	何か線型線形、これは、
1:33:21	ひずみ依存特性の話ですけども、について述べている、ここで終わっていて、30 ヶ所しか試験の
1:33:30	ひずみ依存特性からえられる、一番の曲線からやる、1 は幾つ幾つですよ。この値を最終的に、重要地盤の減衰定数の設定、どう生かしているかという点では、どこに説明がありますかっていうのはないという説明だったということでもいいのか。

1:33:50	当日本原燃のオガせてございます実態のパラメーターとしての数字をどこかで改めて謳っているかという、
1:34:00	確かにすいません。ないです。ないというかすいません 328 ページ以降に書いてあるグラフの数字をそのまま使うのが実態であろうというのが、はい。今のご質問の答えになりますその位置付けは確かに書いていないので書く必要があるかなと。
1:34:15	規制庁の記述位置付けは、ここ 328 ページ、位置付けを聞いてるんじゃない、
1:34:21	中央地盤 6.7%とかいう結論を導くにあたって 3 軸圧縮試験による減衰定数ってのはどういうふうに扱われたんですか。
1:34:32	規制庁甲斐ですけど、使っていないんだと思いますしそこが、6 ページの、
1:34:39	下の最初の 1 ポツなんだ。
1:34:43	ツーツーということでもいいですよ。はい。日本原燃オガセすみません 質問の趣旨を履き違えていました。はい。おっしゃる通り
1:34:52	はい。先ほど 6 ページの下の 1 ポツに戻るとですね、先ほどから出てくるというふうに一般的標準的になります。
1:35:03	言った上でさらに、敷地地盤の実態に合ったところ、徒歩 5 ということで、観測記録による評価にも軸をこういったものになっていて、
1:35:14	その方向転換をした時点でも 3 軸圧縮試験っていうのは、多分、脇脇ニノミヤられちゃってですね、ここ減衰定数の設定に使っていないように、
1:35:24	思いますけどまずそういう理解なんだろうなと思っています。何でそうなのかっていう説明もない。
1:35:31	以上。
1:35:32	D市なんか自然消滅したような説明だと思って、なぜ 30 大脇横谷っていいの、それはもう先ほど言っていた、地盤の実態に合った方法つまり、
1:35:44	いわばチャレンジングな方法ですね。
1:35:46	第 1 回のマックでやったようなものが一般的漏れるんだけどそれを超えたさらに先行ってるというような、
1:35:53	ところで、多分、
1:35:55	すいません見落とされちゃってるんだけど何で不要とするかっていうの説明も当然あるべきか。
1:36:00	んですがそこら辺ってのは、説明はできるんですか。すいません。規制庁上出ですけど、ちょっと時間も時間なんでちょっと他ちょっとカットしちゃいますけど、

1:36:12	ただ和氣にをやるだけじゃなくてっていうところだと思うんすよね。
1:36:17	その話をしましたけど一般的標準的っていうところからして、敷地の実態に行くとやる場所にチャレンジがあるんだったらその分汗かけますよ、汗かくっていうのはどういうことなんですかっていうと3軸とか岩石試験とかもしっかり
1:36:33	自分たちの敷地をいろんな角度で見ると汗かくからっていうことに、
1:36:40	落とし込まれるんじゃないかなと思いますけど、今日の指摘での話だから多分今回答ができないっていうことだと思うんで、
1:36:48	対応方針とか、わかりました。
1:36:52	はい。はい。日本原燃のオガセですかしこまりました。ちょっとすみません。おっしゃる通り、今ちょっと答えが明確に、
1:36:57	なっていなかったんで、はいちょっと対応方針等、記載できるように考えますいいたいことは材料減衰でやるっていうか、はい。はい。はい。ちょっと考えます。はい。以上です。
1:37:08	規制庁の岸野です。はい。ちょっと私も端的な指摘ができなくてすみません。今言った方、
1:37:14	検討の方進めていただければと思います。
1:37:18	季節ハバサキですけども今はそのオガセさんが言われようとしてるのは、
1:37:23	さっきの8ページのCポチの流水の評価ということで、
1:37:27	あと気がしますと、で、今の9ページ10ページは、さっき言いました、あくまでもBポチの伝達関数ミーティングは06.7になったというだけの話であって、
1:37:40	さはあの西畑の消防の話もありますので、
1:37:43	先ほど来、キシノ言ってるのは、材料減衰として使用のものとしては30のものがありますと、で、さらにそこに岩石コアの結果を、これから追加します。
1:37:53	それを踏まえて、材料減衰若生君。はい。そさらにその先に、
1:37:58	地盤モデルの減衰として、設計としてこうきますというのが、
1:38:02	見えるような形にしないと、あくまでもさっきの6.7もわかったかも1人歩きするようになってしまう。
1:38:08	はい。
1:38:09	そこをしっかりと
1:38:11	してもらえればというふうに思います。

1:38:13	はい。日本原燃大橋難しくもありましたおっしゃる通りの位置付けでございました。
1:38:27	はい。清長官、そこは円錐。
1:38:30	絡み。
1:38:32	以上、思い残すことはないですか。
1:38:37	はい。表層も全然話をしない中ではもう全然あれですけど、
1:38:42	6時ぐらいまでに対象、我々は何でもいいですよ、あそこ対処される、月曜日。
1:38:52	はい。社長がまだ月曜日もあるんで、補足の中、細かい話はまず事実確認を持ってきますから、開放して欲しいっていう意味なので、手短に。はい。ジャンケン性はいいとして、
1:39:08	競争の方ですね。
1:39:10	ページで言うと、
1:39:14	11中です。はい。
1:39:16	はい。1031ページからですけど、まず最初に、
1:39:22	13ページ14ページ、流動化処理の話があるんですけど、
1:39:28	いるのかなと思って、何か会合で話をしたいのか、我々としては、何か埋戻しどうか。
1:39:37	整理できれば誘導箇所でも普通にありますよっていうことなんじゃないのかなと思ったんですけど、特別何か話をしたようなところってあるんですか。
1:39:45	網野でございます。どちらかというんですね、前回の流動化処理どうを、設置しますということは
1:39:55	ご提示してるんですけども、今回ちょっと変わったところとしてこれ、グループ分けしてちょっとそれぞれ設定しますというところにきましたからちょっと、
1:40:04	変化ではあるので、御説明かなと思いつつ入れております。
1:40:10	規制庁神です。
1:40:13	前回の会合からの変更点という、どういうポイントになるんですか。
1:40:17	特にそもそもなかったような気はなかった。流動化やってない。流動化処理と前回もですねご定義はしてますしてですね、
1:40:28	はい。
1:40:29	で、全基盤一律の平均式で設定した値で、覚えてるところですけどもこれ競争と同じくですね品質記録の確認等と、

1:40:41	インフラで今までやってきたところなんですけども、その過程で、このですね、今の資料でいうと大規模のプラングループという形で、この1ホアシ5強の共有の管理基準においてグループ分けしてるんですけども、
1:40:56	これもう二つに分けてやろうよねということで、我々ちょっと設定し直したので、ちょっとここは変更というのはなっております。
1:41:04	はい。清長官、わかりました。確かに前回もありますね。で、
1:41:10	もしそういうことをすると、前回資料の17ページにあるんですけど、ここに全体で採取された物性値データを使いますって言うところを、
1:41:22	個別に設定しますとって、下線でも引いておけば、一番、
1:41:28	話が通じるんじゃないですか。
1:41:31	何かそれ以外に何か。
1:41:34	前回の会合資料説明資料の9本ありましたかどうかってご説明イシイた方がわかるよねっていう、そういう形で、ちょっとそういうことでいいんじゃないかと思えますけどその変わったことの根拠でまたデータを積んでそれも説明したいんだっていうんであれば、
1:41:52	あれですけど、ポイントとして一番わかりやすいのはそういう形なんでしょう。
1:41:57	辨野でございます。おっしゃる通りですけれども、なんてなり、
1:42:03	なるかなというふうには思ったんですが、
1:42:06	はい。なんでっていうのは当然、
1:42:11	ファイナンスだから6ページの対応表ソウノとらなきゃいけないんで、それを取った時点、何でってわかるはずだと私は思ってます。
1:42:20	そういう意味でもう少し言葉を足されるかもしれないんですけど一般的な標準的でやるんですとか、敷地の間、現地盤っていうことで、
1:42:32	これをやるんですとか勝手に
1:42:35	6ページの方針でどうやったかっていう
1:42:38	やると、
1:42:39	なんていうか説明できるはず。
1:42:42	と思ってますけど、
1:42:44	そうです。
1:42:44	安全基準前回の会議資料17ページに、変更点を変更、カセ店させて書いて追加されたあれですね。
1:42:54	この地盤物性の、それからもう一つ、出されることありますがそれに対してこれが追加になりますということを書いてと。

1:43:01	はい。それであのグラフで書いた。
1:43:04	そんなイメージ。
1:43:05	で、ちょっと準備させていただくということで、
1:43:09	はい。
1:43:13	という形でちょっと変えさせていただきます。はい。規制庁管です。そういう、何か、14 ページから見ると何かグループが分かれたから第一グループ第二グループみたいになってますけど、何かこれで。
1:43:25	各グループで何かをしたっていうわけでもないんです。
1:43:29	藤堂です。野元でございます。その通りです。分けて、データそれぞれ設定しました時田です。
1:43:35	はい。
1:43:36	それは別にいいんじゃない
1:43:38	はい。
1:43:39	特段は特に 13 ページはいっぱい説明し過ぎかなと思ってポイントだけ押さえたようにしてもらえればと思います。
1:43:48	はい。政調会であと表層で大きい。
1:43:54	わあ、二つぐらいかな、12 ページ見てると、
1:44:00	何個。
1:44:02	前もこんなた会合で見せられて、おんなじだと思ってますって言われ、我々はそういうなんでも同じでいいんだっていう、消えて、
1:44:14	なんですね、2ヶ月たつていう、何かまた同じ状況なんですけど、何が進捗したんですか。
1:44:21	ものでございます。これちょっとすいません用語御説明の順序ちょっと間違えたかなというふうに思ってますとおっしゃる通り 12 ページで一緒だということをちゃんと品質記録等で説明することというのが前回いただいたコメントだとは思っております、
1:44:36	それに対応して、説明するのが 11 ページの方の話なので、その 11 ページ
1:44:41	話を前面に出す話、ちょっと 12 ページははい。
1:44:46	前回ノー。
1:44:48	介護の責務。
1:44:51	12 ページにあったようなグラフを指してですね。
1:44:55	なんでこれでいいんですかっていうのが、最初の、
1:44:59	プレッション。

1:45:01	はい
1:45:02	なので、
1:45:04	施工記録の話だけしてくださいねって言ったわけじゃなくて、なんでこれでいいんですか。
1:45:10	て言ってるんですね。
1:45:13	そのあとのヒアリングでも、
1:45:15	セ施工プロセスもいいけどさ、結局、結果なんじゃないんですか、試験とかそういうものから。
1:45:23	ええ。
1:45:24	説明されないと。
1:45:26	計画だけで話しされてもねっていうのは、ずっと話をしてるんです。
1:45:31	なんだけど、結局ねえ。
1:45:35	生施工の話だけなんか増えてますって感じなんですけど。
1:45:40	どういうことなんですか。
1:45:48	当然設計のものでございます。
1:45:51	えーとですね、実際には
1:45:54	前回ですね、殊、この 12 ページにあるその図 5 というやつですね、これに対して、これワンシグマに入ってなくても、これ平均でいいんですかっていう話が、
1:46:05	ございましたんで、これは実際には、審査会合のときにそういう話があったんですけどその他にいろいろと小崎さんの方からですね、いろいろご指摘を受けて、
1:46:17	実はこれの解析をですね、情報解析なんですけども、
1:46:37	通し番号で 523 ページ、別紙の 2-4、2-4-20 というところなんですけど、
1:46:59	図面、
1:47:00	出ないんですが
1:47:06	523 ページ。
1:47:21	いいですか。
1:47:22	それですね、ここに出ております先ほどの図の 5 のところですね、これ 1990 年以前 2000 年以降の、
1:47:32	このこれを通して、俯瞰した分、VAハバノG0 時って言ってるんですけども、

1:47:39	この赤いのですね、1メートルごとのこの値を入れて、解析を実際にして ございます。
1:47:46	それで今回ですね、この補足説明資料の方ではですね、
1:47:51	この1999年以降の解析をアベエース2000年以降の解析が赤で±ア ンシングマを、紫色と緑色。
1:48:04	で書いてございまして平均値を黒、
1:48:07	で、この解析をしました結果ですね、1999年のところなんですけどもこ れ、
1:48:15	プロパーが今重なっておりますけども、この青というのが、
1:48:19	この赤赤間鶴よりも下にきてる。
1:48:23	塩谷カミデすみません、止めちゃいました。中身はあれなんですけど、 進捗があって説明できそうなものとする、これぐらいですねこれをもし 入れると、
1:48:34	説明ができるんですが、ここで応答スペクトルの話をですね、審査会合 ですのかなということもあったものですから、ちょっとこの辺の問いに 関してはですねその応答スペクトルで±3σであれば設計、
1:48:48	に関しては、包絡できるというふうなことで、話をさせていただこうとい うふうにして、図面としてはですねそのままのものを入れさせていただ いて、
1:48:58	はい、規制庁カミデです。
1:49:01	て感じなんすよね進捗として説明するのはこれなんでしょうけど、
1:49:08	大分疑問もあるところで、しかも、大分専門的な話なんで、飛び飛びで ですね、会合でどこまでこう、
1:49:17	きちんとやれるかお互いが、
1:49:21	どうなのかなと思う。
1:49:22	ちなみに、8ページに戻りますけど、追加調査っていうのは、
1:49:30	どういう位置付けなんですって、この表層、
1:49:38	じゃあ、
1:49:39	次回はですね。
1:49:41	これ、ちょっと前からちょっと言わせていただいているんですけども、
1:49:45	梅本城というものに対しては、私としては十分なデータがとれるとい うことで、計算の数ですとか、一応確認はしてございますが、
1:49:57	今回1593個のデータがとれています。で、埋め戻しの全体としてのデ ータはとれてるんですけども今回ですね、がん、地盤モデルとい うことで、

1:50:07	それを、その地盤モデルということで深さ方向に依存性があるかどうか、その平均位置的に違いがあるかとかっていうふうな話をした時には、やはり少し足りないんじゃないかと。
1:50:18	ということで、全体的に網羅されてない部分ですとかあと頻度がですね深度依存というふうに我々もしてるんで、その深さ方向のデータがとれてないもんですから、そういうものにとって、今の我々が設定しているばらつきの範囲内にそういうものがありますよということを、
1:50:33	確認するというので、調査をさせていただきたい。
1:50:37	ということで、位置付けとしてはですね新たなデータを作るというよりか、現在我々が適用した値というのが、今回追加分をしたとしてもですねその中にばらつきが入っているというふうな確認をしたいというのが目的です。
1:50:53	規制庁、五味です。
1:50:55	今日の最初の方の話を思い出すと、あと、もともとちょっとデータが足りないんですっていうところから始まるんですね。
1:51:03	メモとしてLowerから来てます。
1:51:08	足りてるけども、
1:51:10	その取れてないエリアもあるっていう、そうですねだから梅本日野として我々が基礎地盤安定でやってた部分については、十分にデータを満足してるとは思ってたんですが、
1:51:20	今回いろいろと年代ごとに違うってのはそれわかってましたけども、同じ管理をしてるっていうふうなことでやってたんですけどもそれをちょっとお開け分けるというふうな作業今回ですね。
1:51:31	こういうことに分けるというふうな作業をしたときに、やはりその面的にも深度的にも足りないものが幾つかあったので、そういうものを補充して、今我々が設定してるっていうものは
1:51:41	統計量には十分あると思ってますんでその中に入るということを確認したいと。
1:51:49	政局です。どうしますかって話なんですけど、とりあえず、前回の指摘に対して、今の会合資料と、50、
1:52:02	結果の話が全然ない。
1:52:04	足りませんよっていう認識を聞いた上で、原燃としてはそのあと、やっぱりさっきスポットの話をしたかったっていうふうになるのか。
1:52:14	また別の話の追加調査と絡めて、こういうことでやりたい。あとは

1:52:19	話が出た本リスクでまずはこの平均でやって、その追加調査こういうデータを取っとるんだ、やるからここに行くんだ。
1:52:28	だってあったり、
1:52:30	あとは今問題になってんのはその、
1:52:34	中、
1:52:37	12 ページのこの赤と青なんですか、違うんですか。
1:52:42	足が。
1:52:44	これでスペック、
1:52:47	知れてます。
1:52:49	全然、青でも赤でも黒でも教えてますよナカヤマ別じゃないですか。
1:52:55	ていう話もあると思うんですけど、どういう戦略を通りたいかっていうのが、今日話をしたかったことない。
1:53:05	当然設計のものでございますが私としてはですね、この赤赤、
1:53:11	赤と青と平均の黒で、
1:53:14	それほど本当は変わらないね。
1:53:17	ていう話を、
1:53:18	だから、平均でもいいんじゃないっていう方向に持ってきて、ただ、
1:53:22	それをもう1回調査試験をしてきて、我々が言ってるそのばらつきプラスアルファって設計のときに使うですね、ばらつきの中に入ってますよっていうのを確認したいっていうふうな、
1:53:32	そういう位置付けでいきたいなとは思ってるんです。
1:53:36	はい。規制庁算です。それって結構わかりやすい話じゃないですか。へえでコミコミちっちゃければ、非線形性もそんな感じですよ
1:53:47	笠井が言っても、堂々とみたいな、それが出てこないからやったら結構違うのかなと思って私は見てたんですけど、そんな感じでもないですか。割と説明性がありますね。
1:54:00	実はちょっとこれを入れといたんですけども、
1:54:04	作る場合、
1:54:06	今回出す前にですね、どうですか、です。
1:54:09	ちょっとあまり専門的ですね、一般の人にわからないんで、ちょっとカットしてしまったんですけど、
1:54:16	はい、規制庁わかりました。もしそれであれば、
1:54:20	何だろう。今補足にもついてないんですよ。コサクに入ってます。補足だけじゃ、ちょっと教えてもらえますか。

1:54:27	補足説明資料の方はですね。
1:54:33	そうです。523 ページに、
1:54:36	本文で入ってましてその解析についてはですね、
1:54:44	五味さん。
1:54:47	五味さん使ってますけど、
1:54:49	ミイさんに入ってましてそれも細かい話ですよ。
1:54:56	573 ページのところからですね。
1:55:06	施工年代別の保管時 0 による加速度応答スペクトルの比較というやつですね。
1:55:12	今回やったですね、内容ですね、モデルですとか、そういうものを物性値を入れてですね、先ほどの 500、
1:55:23	523 ページと同じが 575 ページでございますが、これの一連のですね、説明をここでさせていただいています。
1:55:33	ですので、
1:55:35	実際には審査会合資料ではもう、平均です。平均でいいんですって言うけども、補足説明資料としては、ご説明させていただいているというふうな形でですね、作らせて、
1:55:47	いただいたというカツラ会社なんですけども、ちょっとそういうふうになってしまいました。
1:55:51	規制庁可児です何か不思議だなと、573 ページと、さっき見たら 100、
1:56:05	新居さんですか。似たようなのが二つついてこれ何が違うのかなって思ってたんですけど前我々が見たのは新居さんですか。
1:56:15	森井さんはお兄さんは永見の方はご覧ください。何ですね、これ音声管理モンテカルロ。
1:56:23	言ったときに、
1:56:24	平均値から安心はを振ったんですけどもはイシイが降ったとしてもですね、ほとんど平均値と変わりませんよと。
1:56:30	泉南アダチ事業化後から入ってきて、周辺の、
1:56:35	地盤を揺らしながら組んで平均値になりますよっていうことをまずこれでは説明させて、
1:56:40	はい、清長官です。それだとお前ヒアリングで聞いた話ですね、今回はそうじゃなくて、表管理じゃなくてですね完全相関でですね。
1:56:49	平均と±ワンシグマと今回の 1999 年の保管時 0 という 1 メーターの平均値、2000 年以降の平均値。

1:57:00	赤田ムタ大山、それをそれぞれ解析モデルの中に入れてですね、それ 573 ページに書いてございますけども、解析モデルの中に入れて解析をしたとしてもですね、ほぼほぼ同じ範囲に入ります。
1:57:13	規制庁神菌回帰とか言われたという、わかんないんですけど、12 ページのその赤で作った赤赤の直線の是正のモデルと、青の直線の物性のモデルで、
1:57:27	直接のモデルじゃなくて、この点々が入っています、1 メーターごとにこの点点のG0 がですね。
1:57:36	はい、規制庁ですから、例えば 10、当然関野ですけども、8 メーター、七、八、これ 7.58. 59.5 っていうところは、
1:57:47	ワンシグマから出てますけども、このワンシグマから出た値を使って、
1:57:51	はい、清理事長わかりましたそれって何かモデルの諸元とか、その下にですね、モデルが、すみません、573 ページに、
1:58:02	そのモデルが書いてございまして、
1:58:07	その諸元がですねその次のページのですね、参考 4-3、参考 4-3 ページ。
1:58:13	所見が書いてある。
1:58:15	数値を確認する。
1:58:18	何か諸元っていうイメージだと、
1:58:21	あれなんですよ。
1:58:24	これで見れば、
1:58:28	所見でいうと、
1:58:31	もうちょっと構想相当速度みたいな。
1:58:35	はい。あと、
1:58:36	すみません、ちょっとそれを割愛してですね、参考 4-6 図参照というふうにしちゃってるもんですから、数字も影というんであればですねツチヤズキの方ですね、書かせていただきます。
1:58:47	3 参照って言っているとそこわかる。いや、これはただ、この絵を見せてるだけなんで。
1:58:57	の向こうの、こういうのを取ってるっていうのがないとわからないので。はい、わかりました。はい。だからこの図でしか、今これの説明はしてございませんので、
1:59:08	赤田の田尾玉野ですね速度構造ですとか、G0G0 の辺りですね、それを表現の中に書き込む。
1:59:18	はい、規制庁川満アノさん。イメージセット 265 ページですけど、

1:59:28	165の右上にあるような、
1:59:32	成長と、
1:59:35	これと、あと、その赤青のプロットしたもの、
1:59:41	介護資料でいうと、
1:59:51	介護しようと、12ページの、
1:59:54	通行。
1:59:55	を対応すれば、見せてもらえばこの深さに、ディーゼル入ってるんだなっ ていうのがわかるんで、それでも出る見せてもらってそれで書いた、
2:00:08	そういうことですよっていうのをまず見せてもらってそれで、黒ってどん なものか、それは関谷スペクトルもそうなってるでしょうから、ちょっとそ この紐付けだけ。
2:00:19	拡充してアンモンまずですね。
2:00:23	はい。
2:00:24	藤堂関野でございます。はい、承知いたしました。はい。政調会です。で できればそれ金曜日とかの対応方針につけてもらって、月曜日それも見 ながら、08のヒアリングができるようだと。じゃあこれで、
2:00:38	あの会合で話しましょうかとかっていうので、何か間に合うかなと思うん ですけど、時間的にですか。
2:00:49	明日、
2:00:53	アマノ月曜当日でもいいですよ。
2:00:56	すいません。ちょっとですね。はい。
2:00:59	スマダで追加説明集として見られる。
2:01:03	いやいや、
2:01:04	はい、わかりました。はい。遅くとも月曜日
2:01:07	の朝に、
2:01:12	はい。
2:01:13	そうします。
2:01:19	藤規制庁カミデアノ私から、表層最後ですけど、前回の資料だと、
2:01:26	今日ソウノABタテヤタaイシイタテその直近でやってみましたっていうの と、平均でやってみましたっていうスペクトルを比較して、ABはそこ
2:01:37	結構ずれてますねみたいな話があつてそこもちゃんと考え直すみたいな 話だったと思うんですけど。
2:01:45	その話今回の会合資料からまるっとなくなっちゃったんですけど、それ。
2:01:50	どういう。

2:01:51	扱いになったんですか。
2:01:55	これ、これですね。
2:02:06	こんなあれですね。いや、現年ノモトです。衛藤。
2:02:11	前回ご説明をして、
2:02:18	そこから参集していないというのは確かですね。
2:02:27	話の流れで、
2:02:29	そうですけど。
2:02:30	ちょっと話の流れ的にこれが唐突にもともと出てたもんですから、
2:02:34	必要なのかなと思って、
2:02:41	アサノへ。
2:02:43	すぐや、
2:02:46	β がすごいため、このデータがすごい。
2:02:49	違いますよ。
2:03:07	はあれですね、ヒアリング
2:03:10	はい。
2:03:12	お話は、
2:03:14	もう
2:03:15	最終的にはですね、補足説、
2:03:21	華々しいね。
2:03:30	そう。
2:03:30	はい、秋野です。ちょっとこれは扱いを持ち帰らせてください。
2:03:38	はい。規制庁加茂です。今回、
2:03:42	会合の議事録も出てますから、
2:03:45	話をして、能登さん。
2:03:47	分析、ちゃんとシバつってということに対して、
2:03:53	まずはですね、会合でどこまでやるかっていうのは、メインのロジックに対して、もう元になるんだったら、補足でもタカミチかもしれないですけど、
2:04:04	会合があって、
2:04:07	蓑田です。はい。先発対応としてまた聞かせてもらう。
2:04:12	私から表層、
2:04:14	絡み合う以上です。
2:04:17	他、規制庁が何か
2:04:23	規制庁の千葉です。

2:04:28	秋元さんどうぞ。
2:04:29	いいですか。さっきです。衛藤先ほどのやりとりで補足説明資料の500、
2:04:38	いや、それに似たスペクトルが添付されることになると思うんですけど、そうすると、12 ページの、
2:04:50	最後のポツのまとめの
2:04:53	まとめるっていうことを書いている部分なんですけれど、現状の記載だと、均一の目標に施工されているという点と、
2:05:03	平均のステージがマイクのバランスに入ってる的な記載はあるんですけど、それに加えてその応答スペクトルにも相違がさほどないみたいなそういった、
2:05:14	記載も提起されることになると思っていてよろしいでしょうか。そういう感じですけど、とりあえずは来週月曜のヒアリングでどんなもんかまず、
2:05:24	見みて、ちょっとモデルの不正を見ながら、ちょっと話を聞くんだろうなと思ってます。
2:05:33	実際スペクトルはもうさっきの 520 何ページにあるので、それはそれで、我々見とけばいいのでっていうことだと思います。
2:05:43	はい、わかりました。ありがとうございます。
2:05:46	いう、ちょっと補足説明資料で目に入ったので、教えていただきたいんですけど。
2:05:53	574 ページのモデルの諸元のところで、
2:06:03	表層地盤のところで値が 0.03 ってなっているんですけど、これ、Hは非線形特性、これをせずにもう一律にしてるっていいことですか。
2:06:17	解析をし、
2:06:21	非線形ですと、1 が大きくなって表層でするので値が大きくなって、これはもっとなまってきますんで、もっと合いが良くなってきちゃうんで、一応線形の方で出させて、
2:06:34	はい。規制庁の土岐です。わかりました。じゃあ、非線形性を考慮した方が
2:06:40	合いがよくなウノで、この 0.03 の方が割と乖離が大きく見えるということで理解しました。
2:06:50	はい。私から確認以上です。
2:06:56	成長キシノです。表層地盤についてですね、19 ページとか後ろの方に前回会合のコメントに対する対応方針、

2:07:06	いるんですけれども、11 ページ 12 ページについて、前回から何が変わってるのかなってところの観点でちょっと確認したいと思います。まず 11 ページなんですけれども、
2:07:21	友田町の施工状況管理方法って、見だしがある下の四つのポチなんですけれども、
2:07:29	二つ目のポチん。
2:07:33	99 年以前の材料と 2000 年以降の材料を連動して埋め戻すって書いてあるんですけど、これって、そんな説明受けたっけな、っていう話と、
2:07:44	ストックファイリングにより均質になるようにっていうふうにとちょっと、
2:07:48	これまでヒアリングで何度も確認してるんですけども、ストックファイリングという、
2:07:54	の方の言葉をつければ均質になっちゃうのかっていうような説明が、
2:07:59	できるなっていうところで丸具体的になってないなっていうところがまず 1 点目です。
2:08:06	あと 2 点目がですね、下のポツで、2 番目に、両者と思ってるんですけど、
2:08:13	これが 99 年以前と 2000 年以降のことを指してるんだとすると、
2:08:18	両者とも締固め材料基準に基づいてっていうのは、右側にある図の 2 と不整合で、
2:08:25	99 年以上は、ダブルコーンと店扱い数で 2000 年以降は締固めずと、三ツ橋で管理してる。
2:08:33	なんでこんな書き方になっちゃうのかなあと。
2:08:38	等、
2:08:39	結局、99 年前以降って管理方法が違うとっていて、
2:08:45	その水を埋めるつまり違ってても結果的に同じになるんですよっていう説明があるのかなと思っていたんですけど、どうも読めないんですね。
2:08:55	それと同じく最後のポチもですね。
2:08:57	今言ったようなことが書いてあって 99 年以前休止、2000 年以降に DC と流動分布、これを確認することで、一定のばらつきっていうのは、
2:09:08	それぞれの時期の中では一定のばらつきある止まってるかもしれないけれども、
2:09:12	この二つの異なる時期について、
2:09:17	それらを全部ひっくるめて、一定のばらつきの範囲内に入ってるとは多分思えないんですけど、これらの説明から、事業者は、

2:09:27	どう、その時期の違いによる水をどうやって埋めていると説明しているのか、ちょっと行間を読めなかったので説明いただければ
2:09:46	当然設計のものでございます。
2:09:48	幾つかちょっとご指摘をさせていただきました。
2:09:53	連動というのをこれちょっと初めて出てきたような格好になっちゃってますけども、2000年以降のですね六ヶ所贈答鷹架層、
2:10:04	についてはですね、二つのものを入れてるということで、ブレンド材っていうふうな言い方をしたので、ちょっとこれ今今回ですね補足説明資料の方にちょっとこの辺のところ、
2:10:17	細かく書かせていただいているんですが、ちょっとそのところを抜き出したものですからちょっとこういう言葉が入ってしまったので、それについてはちょっと見直しをさせていただきたいというふうに思って、
2:10:28	あとす。三つ目のポツのことでございますが、木野さんがおっしゃられた両方ともということで、これ、最大乾燥密度とですね、
2:10:38	最適含水比についてはですね、同じ締固め危険ということで、
2:10:43	一番締め方なる材料条件というものをですねそれぞれ出してございます。で、やっておりますので、あとはですね、牧田シアツにつきましてはですね、
2:10:54	使うセトのキシノですね、すみません、
2:10:58	一緒の方法でやっていますって今おっしゃったんですけど、色刷りって99年前と902000年以降で、
2:11:06	inch管理の方が違いますよね。一緒ってのはどういうことを言われている材料基準が一緒ということ。
2:11:12	最大乾燥密度等、最適含水比という材料基準は一緒ということです。ここではですね、品質基準比品質管理基準が一緒と言ってなくてその下に、
2:11:24	品質管理については、高温試験、1990年以前はコウノ試験で、2000年以降は締固め増設です。すみません。
2:11:36	すけど、材料基準が同じだということはわかったんですけど、つまりこれ、図2の、
2:11:43	品質管理っていう、
2:11:46	見だしの四角が三つありますけど、その一番上の品質管理と書かれたところに、
2:11:53	最大かつ物理的含水比というのは99年以前、2000年以降も両方あると。

2:11:59	だからどちらも材料基準としては同じものを使っていますよという、
2:12:03	ことかと思いましたが、これって、材料の管理であって、
2:12:09	修理品質、低圧の進出には使っていない、2000年以降は使ってるけど99年度を使って、その乖離があるというのは、これは、
2:12:18	理解終わってますか。はい。すみませんちょっと図2のですねこの品質管理という、括弧書きになって三つ同じの書いてございますが、ちょっとこれ
2:12:28	そのまま、そのままでもいいですとですね、ちょっとこれ書き直すの忘れてるので、ちょっとこの括弧の中をですね書きさせ、書き直させていただきます。
2:12:40	村長の岸野です。それはわかったんですけども、
2:12:44	その材料基準として最大かつ最適含水量両方等を使っているということが、はい。
2:12:51	何に繋がるんですか。99年以前と2000年以降が、
2:12:56	同じ材料になるんですか。
2:12:58	一番閉め方がある。だから強度的にですね一番高い強度がえられるっていうことを、ここでは言っております。
2:13:07	今日の説明内田です。はい。それは理解できます。
2:13:12	最大乾燥密度という、締固め試験から言われた基準値に対して90%とかに仕上げるので、
2:13:19	土地上げるというか仕上がり品質の管理はこれでやってないから、実際の仕上がりはまた別なんでしょうけど、材料的にはそういうのを目指した材料を使っていると。
2:13:29	いうことかなと思いましたが、
2:13:34	だから、同じ材料になるって、緩ん
2:13:37	ですかね、当然設計のものでございますが、それでですね、補足説明の方には前からちょっと書かせていただけてるんですが、
2:13:47	この1999年とですね2000年以前と、2000年以降のですね、周試験強度がですねほぼ同じ影響度になってるということで、強度特性からするとですね、ほぼ同じ状況になってると。
2:14:01	てことは、高さが同じであるということですね、それに追従する動的変形特性もですね、同等であろうというふうなことで書かせていただいております。
2:14:13	説明の中でサカイわかりましたそれはこの11ページには多分出てこない説明ですよ。

2:14:19	この補足説明資料だったらパッケージ。
2:14:39	辨野先生、少々お待ちください今ちょっと探してます。
2:14:42	はい。当然重野でございますが、補足説明資料がですね、説明が 502 ページから表層に関する記述が始まってございまして、
2:14:53	先ほどのちょっとそストックパイルの話につきましては 505 ページ。
2:14:59	記載させていただいております。あと、強毒性の方にはですね、5132、N1 の話と、514 ですね、市有試験強度で、1990 年以前と、
2:15:12	2000 年以降の心配がほぼ等しいというふうなことで記入さツジさせていただいております。
2:15:20	はいわかりました。つまり、
2:15:23	99 年以前と、2000 年以降が同等と見るするってということで、説明はこの 514 ページ。
2:15:31	どうぞ絞られるということでもいいんですか。
2:15:36	はい。当然、
2:15:37	今のところはこの紙紙資料っていいますこのデータで示させていただいてると。
2:15:42	いうことでございます。
2:15:44	はい、わかりました。まず、11 ページについてはですね先ほどといいまして、
2:15:52	レポート 3 ポツ 4 ポツのそれぞれの中でちょっと説明がおかしいところがあって、
2:15:58	前提均質で、同じ部数が使えるんだというような説明に繋がる説明にはなってないと思いますので、
2:16:07	そこは前回のコメントをちゃんと反映していない。
2:16:10	そこはまず改めていただきたい。
2:16:14	具体的にはその 2 ポツで、99 年以前と 2000 年以降、連動してるという説明だったり、
2:16:20	ストックファイルって何で均質になるのかっていうのが、説明が抜けてるとか、3 ポツ目の業者と思って、これは何か誤解を招く説明して、さらに材料基準が一致しているということであって、
2:16:35	それで同じものになるといえるのかは、実は言えないという、
2:16:39	次、いえるのは先ほど言った、何かCu強度があるんだっていうところだっというんだったらそれをちゃんと明確にさせていただきたいというところかと思えますけれども。

2:16:50	あと4ぽつはあれですね、99年2000年以降それぞれの中で行ってるばらつき範囲内で管理されていることを感じ、確認したのであって、全体が一定の範囲内であるということは多分ここでは説明できてないところということも踏まえてですね。
2:17:05	説明はちょっと正確にさせていただいた方がいいのかなと思うんですけども。
2:17:10	いかがでしょう理解いただけますか。
2:17:13	はい、当然設計のものでございます。はい、承知いたしました。そのようにですね。
2:17:17	記述をですね、検討させていただきたいと。
2:17:22	検討され、修正させていただきたいと思います。
2:17:26	社長の陳ですはい。
2:17:29	乳井の結論は多分12ページにある衛藤シンボ依存の平均物性値を使いたいということかと思えます。で、
2:17:37	11ページからはそれが読めないんで、もし読めるような説明ができるのであればということで、今のことを検討いただければと思います。
2:17:48	これまで何度も言ってきたことなので、またこの程度なのかなということで、ちょっと無理も出ないのかなと思いましたが、検討いただければと思います。
2:18:00	はい。
2:18:03	説明します。はい。あと12ページについては先ほど上出の方からですね重要なことについてやりとりがありましたので、私の方からちょっと、もう書きっぷりだけの話になってしまいますけれども、
2:18:15	衛藤10ページの説明もですね、前回コメントしたように、各図のもとデータですとかどのような処理を行ったか。
2:18:25	各図の繋がりが道路で結論等がっていうあたりがですね、このページを読む限り、理解しがたいところがあって、もう一度説明を再度検討いただければと。
2:18:37	まず、まずう例示しますけれども、12ページ、1ポツ目で、
2:18:43	辻井さんはカツコPS検層によるVsってありますけども、フジイさんはG0じゃないんですかねっていうことですね。
2:18:51	2ポツ目にある1行目、G0ノモトDたと、前方。
2:18:58	全部。
2:18:59	さすんですか。

2:19:00	今回の資料で 16 ページに平面図ありますけどそのドライブが 1 点です。
2:19:05	教えていただきます。
2:19:10	すいません。関野でございます。ちょっと
2:19:14	後の方のもう一度お願いできますか。
2:19:17	はい。規制庁岸です。2 ポツ目の一行目、全厚で減速されているVs分布ってあるんですけど、全厚というのは何を指すのかです。
2:19:27	16 ページに平面図があるんでこれで説明いただけますか。
2:19:33	関本でございます。
2:19:35	ですね。
2:19:39	お願いします。
2:19:47	でちょっと、
2:19:49	これは 11 ページ。
2:19:52	11 ページ、11 ページです。
2:19:57	うん。
2:20:01	すいません、ちょっとこの図でございますけれども、図 1 がですね、物性の項でございます、
2:20:11	部位、麻生宇井です。わかりちょっとこれ
2:20:16	確認いたします。月と整合をとります。はい。
2:20:20	ちょうどですねと、図 1 って、
2:20:23	留置プール水 1 って 16 ページを、
2:20:28	労働者の緑丸というシステムじゃなかった。
2:20:39	規制庁の金です。いいです。確認してください。すいません。要は前方って簡単に言ってますけど、ところがわからないので、そういったところを明確にしてくださいねって言ったのが前回の指摘の一つだと理解して、
2:20:53	いただいて、他にもそういったところがないかというのを見ていただければと思います。
2:21:01	はい。はい。
2:21:02	続けて 11 ページに戻るとですね、3 ポツのですね、図 5 の説明なんですけども、これもちょっと間違ってるんですね。
2:21:13	1 行目に、図 4 部 1 メートルごとのBSの平均値括弧白丸と。
2:21:20	次の、何々から算定した時 0 重ね書いた部分ってありますけど、
2:21:25	そうじゃなくて図上部の白丸ではなくて、図 4 の赤線田尾線それぞれの 1 メーターピッチの、

2:21:34	平均値をまあわかるなり青丸なり、
2:21:38	にして、それを加工したものが図 5 だと思うんですけど、私の理解は間違ってます。
2:21:43	は当然設計のものでございます。
2:21:45	岸野さんのおっしゃる通りこれはタグチが書き間違いしておりますございました。申し訳ございません。はい。
2:21:53	はい、わかりましたということなんですよ。サイトウでします。
2:21:57	ちゃんと、
2:21:59	データの出どころなり、どういう加工をしたのか。
2:22:02	どういうふうに展開させていってどう結論に繋がるのかっていうその結論が先ほどアノカミデからいろいろありましたんで、それ以外の部分についてもですね、まだまだ、
2:22:13	ちゃんと反映されてないなというような印象がありますのでもう一度、
2:22:18	見直して、
2:22:20	適正化をしていただければと思います。私から以上になります。
2:22:24	藤堂関野でございます。はい、承知いたしました。もう 1 回見直しですね、間違えないように、書かせていただきたいと思います。ありがとうございます。
2:22:38	はい。規制庁管です。他、規制庁が変わりますか。
2:22:47	はい。清長官、特になんて言えば、透明部分。すいません。規制庁岸野です。1 点だけ忘れていました。
2:22:57	武質問させてください。
2:23:00	13 ページの流動化処理の説明なんですけれども、
2:23:04	結局、借入基準が違うので、2 グループに分けますよということのようなんですが、
2:23:12	これについては、
2:23:15	7 月のヒアリングでですね。
2:23:18	結構管理人、基準値が違うらしいけどとこちらからして、
2:23:23	したのに対して、何かあっさりとそれに、
2:23:26	返ってきた印象なのですが、なぜ変える必要があるのかなと、といいますがそれは 7 月のヒアリングの時ですね。
2:23:39	宇野さんのご説明だと、どちらも最初添加量ぐらいのセメント添加量レベルであってっていうご説明だったので、つまり分けるほどもなく、それぞれそんなに大差がない、つまり地盤モデルに反映する。
2:23:53	剛性という観点では、0. 数

2:23:56	3メガ以上なのが0.6メートル以上だろうが、全然響いてこないのかなというふうにも説明を聞いて理解しましたし、
2:24:05	またそれぞれの物性のばらつきもあるんでその中に吸収されてしまう程度なのかもっていうことに、
2:24:12	話を聞いてと思ったんですが、そこら辺の説明がないまま、8月7日時間がなくて全然聞けなかったんですけど、
2:24:20	ないものも、転換してきたというところが、実は渥美に近いところがありますので、どうして変えたのかっていうのをご説明いただきます。
2:24:33	はい、東西設計のようでございます。
2:24:35	前回ご説明した時にですね流動化処理動が大体Vsで480ということで、
2:24:44	この第二グループのVsがですね、ちょっと私の方で把握してなかったもので、
2:24:51	実際にこの辺の資料をですね集めて整理しますというふうな話を、ヒアリングの時にさせていただいたんですが、
2:24:58	実はですねこれ、この辺のデータを集めたところですね、VSの平均値がですね、700ぐらい。
2:25:05	あったんですね。そうするとG0で、前の流動化処理度が400380で今回は
2:25:14	800、812名で、かなりですねG0が変わるってということがですねわかったものですから、これはちょっと我々もそのデータの取得のちょっと不というものもございしますが、
2:25:28	ということでですね、ちょっと二部2グループに分けた方がいいというふうに思いましたものですから、ちょっといろいろとコメントを
2:25:38	ヒアリングのときにコメントをいただいております。
2:25:40	だったんで、ちょっと二分化させていただいたというものでございます。
2:25:45	説明ください。わかりました。そこら辺姿勢と補足説明してるんですけどありますか。
2:25:51	その辺のですね
2:25:56	経緯とか経緯についてはですね、書いてございませんが、補足説明資料の中にはですね、その辺のVsの平均値、或いはそのG0の平均値等の記述もしてございます。
2:26:08	ひとつよくします。ごめんなさい。
2:26:11	経緯はないけど平均値があるってのはどういう意味なんですか。

2:26:16	今おっしゃったように、昔はこうしてたつていうふうなそういう言い訳みたいなことは書いてございます。
2:26:24	はい。規制庁の岸野です。
2:26:27	見直す合理的な理由があったと今のご説明で理解しましたので、そこは説明を入れていただく必要があると思います。というのは、
2:26:37	先ほど野口さんもちよつと気にされてましたけど、これまでの説明と違って方針を変えたと。
2:26:44	あと、極解析用物性値も多分一般でないことなので、なぜ見直すのかっていう理由の説明が当然必要になっていくのかというイメージでそこをきちんと整理した上で、
2:26:56	まず補足説明資料の方に加えていただければと思いますけれどもよろしいですか。
2:27:05	はい。当然関野でございます。はい。その辺のところを書かせていただきます。はい。
2:27:11	はい。室長の木島です。状況はわかりました。
2:27:16	資料上の補足説明資料の対応の方をお願いします。私からは以上です。
2:27:26	規制庁、佐保規制庁側から大丈夫そうですか。
2:27:31	は、
2:27:35	15 ページの今後の対応とかでも大体話をしました。
2:27:47	特になければ、
2:27:49	振り返りを簡単にしたいんですけど、準備の状況
2:27:56	うん。
2:27:57	ちよつと最後の 3 を見てもらいたい。萩野さんもそんな時間かからず、
2:28:02	室さん、
2:28:04	いえ、大丈夫ではハマダ。
2:28:07	あとちよつと、何と何とグラフ。
2:28:10	大丈夫。10 分でいいですか。よろしければ。はい。所長じゃ
2:28:18	5 分ほど。
2:28:20	18 時 10 分から再開します。
0:00:01	はい、規制庁カミヤそれでは再開します。
0:00:05	の方じゃ、簡単でいいですか。なしです。ありがとうございます。これは、赤いところは、前半以降の、
0:00:15	出したところになって、

0:00:18	すいません。すいません。失礼いたしました。
0:00:20	規制庁澤です。前半もちゃんとやってるわけじゃないんで、はあと見せてもらって。はい。
0:00:29	前のところからは、サイトウ。
0:00:36	まず 1 番目。
0:00:39	これ、
0:00:43	で今年作業のセトとそれから追加調査と、その 3 者の関係性をちゃんと整理した記載することというのが大きな話となっております。
0:00:54	2 番目の 0 の話ですね、これは最終的には一番モデルの単身向け者を取りこぼしということでこここのところは、要員の設定の見通しと、見通しといますか、ロジックということで、そのモデルの話までマツモトいけなと。
0:01:10	またいただきますからそういうことで、記載していくんだというふうに思っております。
0:01:15	①ですけど、何かいまだにやっぱクドウという言葉を整理するような書き方ですけどそうそうではないんですよ。そうですね、正直。
0:01:25	はい。
0:01:29	構成として、
0:01:37	はい。
0:01:38	そうですね。これが、
0:01:42	全体ロジックの系統については、そういう 9008 ページの追加調査について、イクタマに行きます。
0:01:54	ということで、これは違う調査っていうのはテラダから通達するんだということも、流れも含めた、ちょっと
0:02:02	いうことで、
0:02:07	はい、そう。
0:02:09	あ、すいません。
0:02:13	ちょっと聞かしていただきたいんですけども、現として今後その対応を図る審査を進めたいという思います。
0:02:21	はい、どうぞ。
0:02:23	金井ですよ。
0:02:29	そしてですね、今後の透析に関する審査をいただくというところの考え方については、このですね、本来その見通しが練られた段階でちょっと
0:02:45	説明しました、ああいうお話と、いうことだという理解だという共通認識わかりますけど、これそうですね。

0:02:56	ますか。はい。
0:02:57	進めたい。うん。うん。進めるものについては今回会合では示さない。
0:03:02	もし書くとすれば、
0:03:12	何をどう隠された、こうこうですよ。
0:03:14	6 成長紙ですけど、8 ページの表は加来スミダ氏何て言うのって感じだけど、
0:03:21	15 人今後の話でそういうことかと書くかどうかを立てて、見通しを持ってやりますっていうのは書かないんでしょうけど、何も触れないっていうわけではなくて、
0:03:33	まずデータをセットして
0:03:37	わかりました。
0:03:50	また、
0:03:55	今後、
0:04:05	皆、
0:04:27	何かね。
0:04:30	これ何か。
0:04:33	見込みと言わないけれども、説明は、はい。
0:04:44	そうですね。はい。細井課長そうでしょう。椿さんについては今の参考に戻しますけどもこれ本体の位置付けとすることということにするかどうかよく検討することは別に、
0:04:58	結局、はい。
0:05:02	これだから、それはもう見直すこともあるけどさ。はい。
0:05:13	検討するっていうと、
0:05:19	3 番目がですね、とりあえず今はそれでいいですけど、対応方針というところでは、
0:05:28	何だろう。
0:05:29	こういうところの不足が、
0:05:32	対して、こうなってんだとか、一体何ヶ月対応として、対応関係ですね。
0:05:45	追加調査のときに、地価調査は何が不足だから、これは田井大越。
0:05:51	2、これぐらいのふわっとした記載じゃなくて、ちゃんと二重に返してくれないと、
0:05:58	金曜日の対応方針を出してもらって意味そのものがなっちゃうんで、
0:06:03	結局、何だろう。

0:06:05	月曜日行っちゃミギタよかったじゃんという話になって、ある意味からいうと、ちょっと意味を持たせた、そういう出してます。
0:06:12	衛藤。これを出して、ところ、これを書きますということ、大分買うとそういうことです。
0:06:21	規制庁んな、もっと言うと
0:06:24	よく共通順位で口酸っぱく言っている対応法人っていうのは、これから原燃としての取り組みをどうしていくのかっていうのを書いてくれ仕様の話は冷蔵って口酸っぱく言ってますけど、
0:06:37	介護しようとし、
0:06:38	については資料等ではあるのでこう書けますってそこはちょっと資料の話であれば資料の話ですってということで、
0:06:50	はい。こういうふうにしたりしますという形で退職数が対応。
0:06:54	あります。こういう紙が来ますと、いうのがイメージわくような形で書くという利益だなどは思いました。はい。あとはちょっとその下もちょっと雑感で飛ばしちゃっていいんじゃないですか。
0:07:12	その辺も何か、大分、後半3件あって大分整理をしなければいけないような感じなんですね。はい。
0:07:22	減衰が
0:07:28	ですから、丹奈良。
0:07:30	わかりました。書き方として、
0:07:34	最終的な、
0:07:39	あ、そうですね、5%まで考えがちょっとわかんないんだ。
0:07:44	うん。はい。そういう感じじゃそこなんじゃすまそこっていうかそういうどういふつもりなのかっていう。
0:07:51	はい。
0:08:03	ドア、規制庁からですこれは、
0:08:05	違うか、全部介護しようと思うのもつもりで書いてる。
0:08:12	原燃の和気です。基本的にはベースは今会合資料に対するご指摘をいただいたところだったんですけども、さっきのそれぞれの実態決めてそのあと保守性を決めているところを書いてはいるつもりなんですけど、今日のお話を踏まえてちょっともうちょい綺麗に整理すべきだと思ったので、そういう意味で補足への展開も
0:08:30	考えるようにします。はい。鳥瞰図で、一方でちょっと細かすぎる話をしていて会合資料返すようまでもないようなこともあるので、

0:08:41	その辺は対応方針と、どこの市さんのお話会合と補足何か補足だけなのか、それから別の何か関係対応だけなのか。
0:08:56	はい、山越のところちょっとそういう上げ乗ったところで、どちらか、どこに何をやるのかというのがわかるように式です。
0:09:08	はい、そういうことかと。
0:09:10	それぐらいで件数もあって、
0:09:13	規制庁ハバサキ 15 番そのまま。
0:09:16	新干渉法の話。
0:09:19	については、評価の考え方について説明っていうか、
0:09:23	地震干渉法自体の内容が外れて、はい、はい。
0:09:28	だから、もちろんそうです。内容について説明そうそう。はい。はい。
0:09:37	はい。
0:09:42	はい。
0:09:43	17 番。
0:09:46	あれですね、一定減衰をやった方が
0:09:49	大体保守的になるんですよ。
0:10:04	はい。
0:10:06	何ですか、17 本っていう
0:10:10	何とか法でやるから、
0:10:15	いや、いや、
0:10:16	4 関係、公衆電源という話ではなくて、もう一度振動を決める上での応答スペクトルを比較するときには、
0:10:29	オーバーして、
0:10:31	何とか法とかいうお話のところは、19 番かもしれませんね。減衰定数を変動させたときに、
0:10:37	横軸は変わらなくてタテ時間変動しないですよ。
0:10:42	オダ向けの話、草野話ハタ向けの話は、
0:10:46	ことも気づかない方、
0:10:49	17 番ははい、その話。
0:10:53	はい。
0:11:00	尼子考察という言い方っていうよりは、真鍋さんの判断基準とか、
0:11:05	話もあります。
0:11:13	この辺なんですという説明なのかな。
0:11:16	説明説明だと思います。はい。

0:11:25	まだ不足でっぽい話。
0:11:29	岩下。うん。
0:11:33	パワーポイントに書いてみると、ちょっと上じゃないかもしれないなどは 思いますけれども、
0:11:41	なお、はい。
0:11:45	お話もあり、
0:11:48	にしてもそれも対応方針、ロジック。
0:11:52	も付けて説明が必要ない。
0:11:57	大きくするためにするような方針なんであればそこでやればよいと思 いますけれども、関係ない。
0:12:06	どっちかというところの大きく評価することで入力ドウの設定としてとい うか設計用いる上で良いという判断基準とした考え方
0:12:20	何か、
0:12:23	今日、関。
0:12:24	塩水でたまたま大きくなっていうかこっちの方がいいんだっていうけど、 何か、結局、それを表層とか他のところのって言ったら、何かまた別の 価値観で決めてねえかもしれないそんな気がしますけどね。
0:12:37	そういうところをちょっと、ちょっと局長じゃなくて全体見てるっていうの方 が大事です。
0:12:44	はい。
0:12:50	はい。
0:12:51	そうですね。うん。
0:12:54	規制庁岸野です。
0:12:56	10 何%。
0:13:02	16 番なんですけれども、
0:13:04	39 の位置付けを見直すことってか行ってますけれども、位置付けを見 直して 30 行も主軸に減衰キ口数を検討するっていうんだったらもちろ ん、
0:13:15	止めませんけれども、位置付けの見直しを求めたのではなくて、
0:13:21	一行目により 3 軸試験の位置付けが不明確なので、明確に説明してく ださいというつもりでお伝えしました。
0:13:30	あと 2 行目の原因がトライしている検討の関係性っていうそのあたり は、今原燃が今回チャレンジングなことをしているということを踏まえて、

0:13:40	どうしてそういう位置付けにするのかを好機を持ってちゃんと説明してくださいねという趣旨になりますのでそういった内容。
0:13:48	と思いますけれども、
0:13:50	認識は違いますか、今日明確にすること。
0:14:02	位置付けも今、もう何か自然消滅してるのを、ちゃんと浮き上がらせなきゃいけないと思っているので、
0:14:12	明確にすること。
0:14:15	ですよ。なんか行くと、
0:14:25	前、その辺は。はい。はい。はい。はい。
0:14:29	はい。
0:14:30	感じですか。
0:14:34	はい、北井。
0:14:37	休憩、19 ごめんなさい、ごめんなさい。
0:14:40	はい。
0:14:43	竹花。
0:14:49	はい。
0:15:06	うんは前担当のあの辺固定というところで、今回ちょっと考え方変えたところの理由を説明をして、
0:15:20	書き込む。
0:15:23	ABCの話を受けて、
0:15:32	前回、前回審査会合時の宿題をちゃんと
0:15:39	該当せなあかんということを書いて欲しい。はい。
0:15:42	そうです。新しく起こして。はい。そうですね。前回審査会合資料の、
0:15:49	15 ページの指摘事項というよりも指摘事項は全部安全ホームページまで決まった方がいい。前回の 17 ページか。はい。
0:16:03	ふうん。16 ページから 16 ページの、
0:16:07	扱い、うん。
0:16:11	パラスターね。うん。
0:16:14	どう、どう処理したのか。
0:16:17	明示することですけど、どこに目にするか。はい。ですよ。考え方を、に応じたパラスターでしたっけ。
0:16:26	ちょっと日本語でちゃんとするとして、
0:16:29	いいですか。
0:16:30	に対する、

0:16:32	の結果、その後のその後の
0:16:38	検討については、
0:16:41	示すこともあります。
0:16:47	もしそれが粗末やったら参考でもいいと。
0:16:50	メインでなかった。
0:16:56	これで全部、
0:17:01	これで終わります。
0:17:03	はい。
0:17:04	長キシノです。
0:17:07	流動化処理土嚢グルーピングを変えてきた経緯は補足説明資料でちゃんと説明をしていただきたいと思いますので、それは残しておいてください。
0:17:18	はい。
0:17:20	新山で 28 後半に入ってグルーピングを変えた理由については、グルーピングはもうすでに入っていました。はい。その理由についてはここで書いたつもりなんですけど、今おっしゃったグループ理由というのは結構です。
0:17:34	グルーピングの考え方を、はい。
0:17:37	グルーピングを変えたり、
0:17:39	また理由ですね。はい。
0:17:41	はい。はい。はい、では、これでいいです。
0:17:48	あとすいません。下から二つ目の 11 ページについてというところですけど、
0:17:54	結論、
0:17:55	何だ、平均井清でしたっけ。
0:17:59	平均物性を使えるという結論に結びつくように、
0:18:04	正確な内容を記載する、してくださいということ。
0:18:38	はい。やっぱ全部、
0:18:40	規制庁わかりますか。
0:18:47	はい、瀬藤ですがなければスケジュールとしてはもう、isコウノ醜態をホシノしてもらいつつ表層地盤のやつは来週の月曜日、
0:18:57	モデルの諸元としても、
0:19:01	Φ募集も月曜日に、
0:19:03	返したものが、
0:19:07	はい。

0:19:08	採用方針、月曜にオダし、金曜日に出して、お話して行きヤノ時に確認 いただくと。
0:19:18	いうことになっていって、なぜその時点で、もうすでに翌日のヒアリング いただく介護資料は出せる状態になってしまうというちょっとちょっとテレ コになっている。
0:19:32	何かなというのはいわゆる、
0:19:33	ないところなんですけど、次の審査会合後、
0:19:38	スケジュールー3。
0:19:40	はい。どうしようもない。
0:19:44	何回も言ってますね。はい。
0:19:48	はい、規制庁全体として、規制庁アベ係数今日お話出なかったんです けど 17 ページ以降です、犯行資料、
0:19:59	10 ページ集めて、
0:20:01	特に 10
0:20:03	20 ページ。
0:20:04	これいらないと思います。これはもうさっき言った、作った後だけです ね。はい。20 ページに関しては、そうです。
0:20:14	それと、17 ページ。
0:20:16	これは、
0:20:19	先生の前の方にあれですかね。
0:20:21	東京コマーシャルっていうか入れ込むっていうんですかね。いや、ちょっ と気になってるのは、うん。
0:20:28	③の常時微動の計測の話っていうのは、今日も話出てないで、はい。や るのはやるんですか区画かどうかと言うのは、中でちょっと
0:20:40	キタノユフミヤマやるならやっぱり鯨の方がいいと思いますしですね、ち よっとこの扱いを、はいわかりました。ありがとうございます。
0:20:49	それから来てたわけ。18 ページのスケジュールはこれは行きで、
0:20:53	考え、
0:20:54	すいません、実は立もともと日本にケツクズ、17 ページの下にちょっと ちょっと調査が 12 月までと、こう書いてたんですけどもちょっともう 少しあった方が言って、今あるやつちょっと急遽張りつけました。
0:21:09	で、ここまで細かい細かく出すのかという時、公開の会合に出すの かという、もう少しなふうな場にしたい方が私には思ってます。ちょっとす いません。この資料そのものは、補足のほうに入ってるんで、別に隠す もんじゃないんですけども、

0:21:24	審査会合で出す時にそこ、こんな細かい話があるのかなと、もう少し申告したいなというふうに考えております。
0:21:31	はい。
0:21:32	社長です。
0:21:34	あと最後に 19 ページこれ前回のヒアリングで行った全体会合の指摘事項と対応方針ですので、
0:21:40	この機能管理カーンが言われたのは、
0:21:44	資料によって対応資料によってはステージに応じて、こういう前回会合指摘対応方針っていうので始まる。
0:21:53	はい。はい。ただ、今の前の状況は、はい。そのステージではないんで、ただ、一応残しておくということの後になるという位置付けですんで、そのステージに応じてそこは使い分けています。
0:22:05	はい。考えてもらえればと思います。はい。以上です。
0:22:10	はい。おはようございます。ちょっと 1 個だけちょっと 17 ページのツーカ一の通りちょっと警察、今のちょっとアビルだけの報告なんですけれども紛争のところの、
0:22:26	調査のこれちょっと地図出してるんですけども、これボーリング 1 丁です。
0:22:32	ちょっと非常に暫定的に書いてるんですが、
0:22:35	これ
0:22:38	だけです、スベン決算を固めながらちょっと前後するかもしれないので、ちょっとここができるかなというのを、ちょっと慣れてるところであります。ちょっと書き方がまた
0:22:49	我々ちょっと相談してですね、もう少しちょっと楽なパターンというのを考えたいというふうに思ってます。
0:22:55	すいません。ちょっと 1 クボタ 2 でございます。はい。規制庁です現状この図に関しての位置付けってのは、はい。お願いしました。はい。
0:23:09	はい。
0:23:10	本当に。
0:23:12	19 ページの全体の施設、或いはもうちょっと
0:23:16	ちょっと賠償化してる感じ。
0:23:27	終わると思います。
0:23:30	はい、郷でございます。
0:23:31	はい、じゃあ、